

2022年4月新聞書評に掲載された本



幸村を討て

今村 翔吾 著

中央公論新社

何年にもわたる真田父子の企みを読めず翻弄される諸将。徳川家康、織田有楽斎、伊達政宗、ついには昌幸の長男信之までもが叫ぶ。「幸村を討て!」と…。エンターテインメント巨篇。『読売新聞オンライン』連載を加筆し書籍化。

産経新聞 2022/04/02

2022:3/ 527p

978-4-12-005515-7

¥2,200〔税込〕



アキレウスの背中

長浦 京 著

文藝春秋

公営ギャンブル対象のマラソンレース。出場するアスリートにテロ組織から脅迫状が届く。警察庁が極秘に立ち上げた組織横断チーム MIT を率いる女性刑事は、アスリートを守れるか。『別冊文藝春秋』連載を加筆修正し単行本化。

産経新聞 2022/04/02

2022:2/ 322p

978-4-16-391496-1

¥1,980〔税込〕



どんなおべんとう?

麦田 あつこ 著

小学館

しろべん、ぶるぶるべんとう、100 にんべんとう…。それって、どんなおべんとう? ページをめくると、ユニークな楽しいおべんとうが現れる! 子どもたちの想像力を育てる絵本。

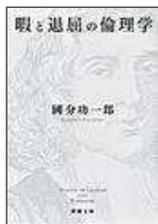
産経新聞 2022/04/03

2022:3/ 1冊(ページ

付なし)

978-4-09-725140-8

¥1,430〔税込〕



暇と退屈の倫理学(新潮文庫 73-1)

(新潮文庫)

國分 功一郎 著

新潮社

ウサギ狩りに行く人は本当は何が欲しいのか? 暇と退屈の問題を歴史的、哲学的に論じ、ハイデッガーの退屈論などを紹介。それらの知見をもとに、<暇と退屈の倫理学>を構想する。

産経新聞 2022/04/03

2022:1/ 508p

978-4-10-103541-3

¥880〔税込〕



- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2022年5月時点での税込み価格です。



17 音の青春～五七五で綴る高校生のメッセージ～<2022>: 五七五で綴る高校生のメッセージ, 2022

学校法人 神奈川大学広報委員会 編
KADOKAWA

17 音の俳句に凝縮された高校生たちの青春の日々…。第 24 回神奈川大学全国高校生俳句大賞の入選作品を紹介する。応募高校一覧、団体賞受賞校、一句入選作品、選考委員の言葉なども収録。

産経新聞 2022/04/03

2022:3./ 149p
978-4-04-884469-7
¥770〔税込〕



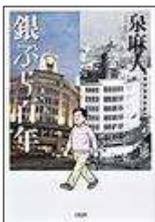
オリーブオイルでとろけるやわらか野菜

朝田 今日子 著
文藝春秋

じっくり加熱するから、かさが減る、消化に良い、うま味が濃い! 長寿で知られるイタリア・ウンブリア州に長年暮らした著者が、オリーブオイルをたっぷり使った野菜料理のレシピを紹介する。

産経新聞 2022/04/03

2021:6./ 127p
978-4-16-391376-6
¥1,650〔税込〕



銀座百年

泉 麻人 著
文藝春秋

現在も続く老舗の頑張り、伝説の名店の思い出、グルメ、ショッピング、個性的な建物…。震災も戦災も乗り越えてきた、華やかな銀座の歴史を記す。『GINZA OFFICIAL』他連載に加筆修正。

産経新聞 2022/04/03

2022:1./ 213p
978-4-16-391493-0
¥2,200〔税込〕



一生モノの物理学～文系でもわかるビジネスに効く教養～: 文系でもわかるビジネスに効く教養

鎌田 浩毅/米田 誠 著
祥伝社

ビジネスパーソンをはじめとする物理に苦手意識を持つ人に向けて、物理の法則を図とともに高校物理の範囲内でわかりやすく解説。最先端医療の話題など、日常にある技術に活用されているトピックスを紹介する。

産経新聞 2022/04/03

2022:3./ 285p
978-4-396-61741-7
¥1,760〔税込〕



その下ごしらえ、ホントに必要?～段取り少なく美味しくできる、家庭料理の新常識レシピ～: 段取り少なく美味しくできる、家庭料理の新常識レシピ

〈教えた人〉松本仲子/〈教わった人〉野田真外 著
幻冬舎

アクって取らないとダメなの? 「本当はやらなくていいこと」を省いて美味しい料理を作るコツを、家庭で炊事担当になった男性 TV ディレクターと女子栄養大学名誉教授との対話形式で紹介する。かんたんレシピも掲載。

産経新聞 2022/04/03

2022:1./ 229p
978-4-344-03894-3
¥1,650〔税込〕





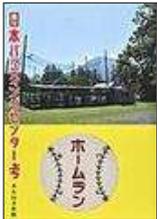
本当に大事なことはほんの少し〜料理も人生も、すべてシンプルに考える生活術〜：料理も人生も、すべてシンプルに考える生活術

ウー・ウェン 著
大和書房

「毎朝、500mlの白湯を飲む」「ものはすべて使うところに置いて手に取りやすく、戻しやすく」…。シンプルに、すっきり気持ちよく暮らす著者が、自身が実践する暮らしの工夫と考え方を豊富な写真とともに紹介する。

産経新聞 2022/04/03

2021:9./ 191p
978-4-479-78541-5
¥1,650〔税込〕



日本バッティングセンター考

カルロス矢吹 著
双葉社

国民的スポーツ・野球を、ロードサイドから、繁華街のどん詰まりから支えてきた謎多き娯楽施設、バッティングセンター。北海道・網走からタイ・バンコクまでのバッティングセンターを訪ね歩き、そのオーナーとともに紹介する。

産経新聞 2022/04/03

2022:2./ 175p
978-4-575-31701-5
¥2,035〔税込〕



神になった武士〜平将門から西郷隆盛まで〜(歴史文化ライブラリー 546):

平将門から西郷隆盛まで
(歴史文化ライブラリー)

高野 信治 著
吉川弘文館

平将門、菅原道真、徳川家康…。彼らはなぜ、死後、あるいは生きているうちから<神>として祀られたのか。祭祀・神格化の過程を読み解き、地域守護、治病利益、国家の忠臣など、さまざまな役割を担った<神>の全体像に迫る。

産経新聞 2022/04/03

2022:4./ 7p,257p
978-4-642-05946-6
¥1,980〔税込〕



はやぶさ2のプロジェクトマネジャーはなぜ「無駄」を大切にしたのか?

津田雄一 著
朝日新聞出版

9つの世界初を成し遂げた「はやぶさ2」のプロジェクトリーダーが、絶対に失敗できないミッションを成功に導いたマネジメント法を解説。リスク管理とメンバーの自主性を両立させ、チーム力を最大化する方法を明らかにする。

産経新聞 2022/04/03、日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 382p
978-4-02-331929-5
¥1,980〔税込〕



舞台のかすみ晴れるころ

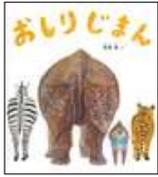
有松遼一 著
ミシマ社

能楽師がコロナ禍に立ち止まり、考えたこととは。ワキ方の能楽師・有松遼一の随筆集。ぽっかり穴が空いた不気味な時間のなか、ささいなことから人生の展望までを綴る。「半蔀」上演詞章、内田樹らの寄稿文も収録。

産経新聞 2022/04/03、日本経済新聞 2022/04/16

2022:3./ 206p,31p
978-4-909394-65-1
¥2,970〔税込〕





おしりじまん(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)

(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)

齋藤 慎 著
福音館書店

動物たちのいろいろおしり。まあるいおしりは、ウサギ。大きなおしりは、ゾウ。カラフルなおしりは、マンドリル。かたいおしりは、アルマジロ。ハートのおしりは、だれのおしり？

産経新聞 2022/04/07

2022:3/ 23p
978-4-8340-8649-2
¥990〔税込〕



キッチンミノルの写真教室

キッチンミノル 著
筑摩書房

ちょっとしたコツを知るだけで、撮りたい写真が撮れるようになる！人気写真家が、知っておきたい写真の基本や技術を、豊富な作品例を使ってわかりやすく解説する。

Q&A も収録。

産経新聞 2022/04/10

2022:3/ 159p
978-4-480-87410-8
¥1,980〔税込〕



愛のぬげがら

エドヴァルド・ムンク 著
幻冬舎

懊悩と官能をつづった画家ムンクが生涯書き続けた創作ノートには、愛と死、人生がむきだしにしたためられていた。「生きること」への恐怖と不安を、鮮烈な輝きに変化させるメッセージを、原田マハの翻訳で収録。

産経新聞 2022/04/10

2022:2/ 243p
978-4-344-03923-0
¥1,870〔税込〕



中国経済の謎～なぜバブルは弾けないのか？～: なぜバブルは弾けないのか？

トーマス・オーリック／藤原 朝子 著
ダイヤモンド社

いま最も優れた資本主義経済の担い手は「中国共産党」である-。中国政府は、世界金融危機や株バブルの崩壊、不動産市場の不安、シャドーバンクの台頭などをどのように乗り越えたのか？ 現代中国の経済史を詳細に解説する。

産経新聞 2022/04/10

2022:3/ 334p
978-4-478-11341-7
¥1,980〔税込〕



コスメの王様

高殿 円 著
小学館

山口の家族を支えるため神戸に出てきた少年・利一。牛より安い値段で花街に売られてきた少女・ハナ。2人の出会いは大ヒット商品誕生へとつながり…。"東洋の化粧品王"と呼ばれた男の一代記。『産経新聞』連載に加筆・改稿。

産経新聞 2022/04/10

2022:3/ 341p
978-4-09-386641-5
¥1,760〔税込〕





フロイトとの対話

ブレット・カー 著
人文書院

フロイト研究の第一人者が、フロイト博士をあの世から呼び出して、コーヒーを飲みながらインタビュー。膨大な未発表資料や関係者への綿密な調査から、フロイトのウィーン時代や精神分析運動史の知られざる歴史的文脈を明かす。

産経新聞 2022/04/10

2022:3./ 428p
978-4-409-34057-8
¥4,950〔税込〕



えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日(日本傑作絵本シリーズ)

(日本傑作絵本シリーズ)

松岡享子、降矢なな 著
福音館書店

えんどうまめばあさんとそらまめじいさんは、とても働き者だが、ひとつだけ困ったことがある。何かをしても、他にやりたいことが見つかると、すぐに始めないと気がすまなくて…。その?末をユーモラスに描く。

産経新聞 2022/04/10

2022:4./ 32p
978-4-8340-8658-4
¥1,320〔税込〕



捨てない生きかた(マガジンハウス新書 001)

(マガジンハウス新書)

五木寛之 著
マガジンハウス

愛着ある“ガラクタ”は人生の宝物。モノが捨てられない、それもまたいいではないか。著者自身の「捨てない生活」から「この国が捨ててきたもの」までを語り、モノを捨てることがブームとなっている現代社会に一石を投じる。

産経新聞 2022/04/10

2022:1./ 197p
978-4-8387-7501-9
¥999〔税込〕



春はまた巡る〜デイヴィッド・ホックニー芸術と人生とこれからを語る〜: デイヴィッド・ホックニー芸術と人生とこれからを語る

デイヴィッド・ホックニー／マーティン・ゲイフォード 著
青幻舎

人はどのように生きるのか。現代アートの巨匠デイヴィッド・ホックニーのノルマンディーからのメッセージ。コロナ禍、美術評論家ゲイフォードに宛てて発信した手紙や SNS のやりとりを収録。関連図版約 140 点も掲載。

産経新聞 2022/04/10

2022:2./ 280p
978-4-86152-869-9
¥3,850〔税込〕





マリア・ジビーラ・メーリアン 蟲愛する女～芸術家|科学者|冒険家～: 芸術家|科学者|冒険家

サラ・B・ポメロイ/ジェヤラニー・カチリザンビー 著
エイアンドエフ

17世紀に生まれた画家であり、博物誌の草分けでもあるマリア・ジビーラ・メーリアン。野心、苦難、忍耐...前人未到の冒険ともいえるその生涯と事績を、豊富なカラー図版とともに丹念に描く。

産経新聞 2022/04/10

2022:3./ 165p
978-4-909355-29-4

¥3,740 [税込]



団地のふたり

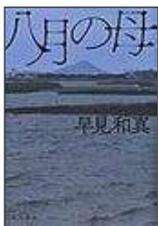
藤野 千夜 著
U-NEXT

フリマアプリで生計を立てるイラストレーター・奈津子と、ストレスを抱える非常勤講師ノエチは50歳、独身、幼なじみ。生家の団地に戻ってきた2人の友情をユーモラスに温かく描く。2022年3月刊行の電子書籍を書籍化。

産経新聞 2022/04/10

2022:3./ 191p
978-4-910207-32-2

¥1,760 [税込]



八月の母

早見 和真 著
KADOKAWA

街から出る機会が訪れるたびに立ち塞がる母。そしてエリカも予期せず娘を授かる。八月。人間の内に秘められた負の感情が一気にむき出しになり...。連綿と続く、女たちの“鎖”の物語。『小説野性時代』連載を書籍化。

産経新聞 2022/04/10、朝日新聞 2022/04/23

2022:4./ 428p
978-4-04-110907-6

¥1,980 [税込]



世界滅亡国家史～消えた48か国で学ぶ世界史～: 消えた48か国で学ぶ世界史

ギデオンのデフォー 著
サンマーク出版

「変人」「間違い」「虚言」「他国」のせいで数奇な命運の末に滅びた48か国を紹介。1つの国家がどのように誕生し、どのように滅びるのか、盛衰の原理をわかりやすく解説する。滅んだ国で世界を読み解く、類のない試み。

産経新聞 2022/04/16

2022:4./ 319p
978-4-7631-3927-6

¥1,650 [税込]



ヒカリ文集

松浦 理英子 著
講談社

学生劇団で男とも女とも恋を重ねたヒカリは何者だったのか。6人の男女が優しく悲しくて、とてつもなく魅力的な“偽物の恋人”を語る新・恋愛小説。『群像』掲載を書籍化。

産経新聞 2022/04/17

2022:2./ 247p
978-4-06-526746-2

¥1,870 [税込]





バレエ王国ロシアへの道

村山久美子 著
垣内出版

世界を虜にする魅力の秘密とは？ロシアがバレエ王国を築くことになったいくつかのターニングポイントとしての振付家たちの芸術を、先行者の影響も論じながら時系列でつなぐ。

産経新聞 2022/04/17

2022:3./ 315p
978-4-7734-2046-3

¥2,860〔税込〕



午前0時の身代金

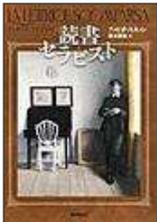
京橋 史織 著
新潮社

新米弁護士・小柳大樹のもとに相談に訪れた学生・本條菜子が、その夜、突如失踪。翌朝、クラウドファンディングで日本中から10億円の身代金を募る、前代未聞の「誘拐プロジェクト」が発覚し…。

産経新聞 2022/04/17

2022:3./ 254p
978-4-10-354471-5

¥1,650〔税込〕



読書セラピスト(海外文学セレクション)

(海外文学セレクション)

ファビオ・スタッシ 著
東京創元社

失踪した読書家の婦人。彼女はどこに消えたのか、本当に夫に殺されたのか…。悩める人々に読むべき本を処方する、読書セラピーをしているヴィンチェは、彼女が残した本のリストから真相を探り出す。ピブリオ・ミステリ。

産経新聞 2022/04/17

2022:2./ 245p
978-4-488-01679-1

¥2,310〔税込〕



言葉の周圏分布考(インターナショナル新書 099)

(インターナショナル新書)

松本 修 著
集英社インターナショナル

全国市町村アンケートから作成した50枚超のカラー方言分布図を掲載し、楽しく深く解説。「源氏物語」の「戻る」の謎を解く壮大な知の旅に誘い、京都を中心に同心円を描く分布図で日本語の「周圏分布」についても論じる。

産経新聞 2022/04/17

2022:4./ 301p
978-4-7976-8099-7

¥1,430〔税込〕





「戦後」が終わるとき～日本は外交の言葉を取りもどせるか～(中公選書

126): 日本は外交の言葉を取りもどせるか

(中公選書)

坂元 一哉 著

中央公論新社

新たな指導者の登場により世界は確実に更新されたが、積み残された課題は多い。米中の狭間で、日本が実力に相応しい地位を保つには。時代のうねりを読み、今こそ必要な「外交の言葉」を探る。『産経新聞』連載コラムを書籍化。

産経新聞 2022/04/17

2022:3./ 260p
978-4-12-110126-6

¥1,870 [税込]



真宗と現代葬儀～「葬儀」と「死」のゆくえ～: 「葬儀」と「死」のゆくえ

蒲池 勢至 著

法蔵館

商品化し消費される葬儀、消滅する儀礼、ホトケですらない死者…。消費者である遺族の要求に従って急速に変化する現代葬儀に、真宗はどう対応するのか。真宗民俗から葬儀と死のゆくえを問う。

産経新聞 2022/04/17

2022:1./ 145p
978-4-8318-6269-3

¥1,430 [税込]



戦後の誕生～テヘラン・ヤルタ・ポツダム会談全議事録～: テヘラン・ヤル

タ・ポツダム会談全議事録

中央公論新社

東西冷戦はどう準備され、日本の無条件降伏はどう導かれたのか。第2次世界大戦中の米英ソ首脳による3回の会談の議事録。ローズヴェルト、チャーチル、スターリンの協調・対立・妥協の全てがわかる国際政治史の基礎資料。

産経新聞 2022/04/23

2022:3./ 13p,654p
978-4-12-005509-6

¥7,480 [税込]



舞踏馬鹿～土方巽の言葉とともに～: 土方巽の言葉とともに

正 朔 著

論創社

舞踏家・土方巽の晩年の言葉に密接に触れ、強く影響を受けた正朔の記した文章をまとめて収録。「舞踏譜」では、土方巽を継承した正朔の舞踏メソッドをわかりやすく伝える。長年舞踏に併走した批評家・國貞陽一との対談も掲載。

産経新聞 2022/04/23

2022:2./ 238p 図版

16p

978-4-8460-2138-2

¥2,420 [税込]



あの図書館の彼女たち

ジャネット・スケスリン・チャールズ 著

東京創元社

1939年パリ。20歳のオディールは、アメリカ図書館の司書に採用された。彼女は熱心に仕事に取り組むが、やがてドイツとの戦争がはじまり…。人々にかけてがえのない本を届け続けた、図書館員たちの勇気と絆を描く。

産経新聞 2022/04/24

2022:4./ 460p
978-4-488-01113-0

¥2,420 [税込]





絶滅危惧種はそこにいる～身近な生物保全の最前線～(角川新書 K-386): 身近な生物保全の最前線
(角川新書)

久保田 潤一 著
KADOKAWA

アマガエル、ゲンゴロウ、メダカ…。絶滅の危機に瀕している身近な生き物たちを守るため、池の水を抜き、草地を増やし、侵略的外来種を駆除し、密放流者と暗闘し…。環境保全の専門家が、保護活動の最前線をレポートする。

産経新聞 2022/04/24

2022:2./ 283p
978-4-04-082274-7
¥1,034〔税込〕



朱色の化身

塩田 武士 著
講談社

父から、失踪したゲームプランナー辻珠緒に会えないかと依頼されたライターの大路亨。行方を追い始めた亨は、彼女の人生に、昭和31年の福井の大火が大きな影響を及ぼしていることに気づき…。『小説現代』掲載を単行本化。

産経新聞 2022/04/24

2022:3./ 313p
978-4-06-524999-4
¥1,925〔税込〕



コーリング・ユー

永原 皓 著
集英社

遙か遠くの世界からやって来た仔シャチのセブン。愛情深く、他の動物とコミュニケーションできる能力があるセブンは、人間たちから託されたミッションを成し遂げることができるのか。種を超えた愛と絆を描くネオファンタジー。

産経新聞 2022/04/24

2022:2./ 243p
978-4-08-771787-7
¥1,760〔税込〕



大衆の狂気～ジェンダー・人種・アイデンティティ～: ジェンダー・人種・アイデンティティ

ダグラス・マレー 著
徳間書店

LGBT、フェミニズム、反レイシズムなどをめぐる同調圧力と矛盾、激化するマイノリティ間の新たな対立。「差別主義者」というレッテル張りで異論を封殺、行き過ぎた「多様性尊重」がもたらした社会分断と憎悪の実態に迫る。

産経新聞 2022/04/24

2022:3./ 500p
978-4-19-865446-7
¥3,080〔税込〕





維新の政治変革と思想～一八六二?一八九五～(明治維新を担った人たち 1):

一八六二?一八九五
(明治維新を担った人たち)

伊藤 之雄 編
ミネルヴァ書房

攘夷運動が拡大した 1862 年から帝国議会が定着していく 1895 年までを対象に、維新改革と立憲国家の形成をもたらしたトップリーダーや有力思想家らの動向と思想を論じる。明治維新・明治国家を総合的に捉え直すシリーズ。

産経新聞 2022/04/24

2022:4./ 10p,384p,7p
978-4-623-09301-4

¥3,850〔税込〕



地球の音楽

山口 裕之、橋本 雄一 編
東京外国語大学出版会

地球上のさまざまな場所で、その土地に固有の音楽が鳴っている。東京外国語大学の世界各地・各ジャンルの 50 人の専門家・研究者らが、地域の音楽と、音楽を通じた多様な文化のあり方を綴る。

産経新聞 2022/04/24

2022:3./ 291p
978-4-904575-97-0

¥1,980〔税込〕



いい人である必要なんてない

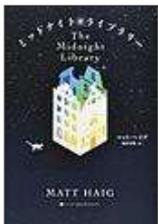
ナダル 著
KADOKAWA

子ども時代のいじめ、誰よりも劣等生だった養成所時代、相方への絶対的な信頼、守るべき家族の存在、そして“お笑い”への情熱と飽くなき探求心…。今最も本音で生きる男、コロコロチキチキベッパーズ・ナダルの人生哲学。

産経新聞 2022/04/30

2022:2./ 206p
978-4-04-605510-1

¥1,540〔税込〕



ミッドナイト・ライブラリー

マット・ヘイグ 著
ハーバーコリンズ・ジャパン

人生のどん底にいたノーラは衝動的に自らの命を絶とうとするが、目覚めたとき、目の前には不思議な図書館があった。書架の一冊一冊には、あの日あの時、違う選択をしていたらありえたかもしれない自分の人生が綴られていて…。

産経新聞 2022/04/30

2022:2./ 438p
978-4-596-31906-7

¥1,980〔税込〕



伊豆の踊子 改版(新潮文庫): 改版

(新潮文庫)

川端 康成 著
新潮社

朝日新聞 2022/04/02

2003:5./ 201 p
978-4-10-100102-9

¥473〔税込〕





婦 (おんな) 系図(新潮文庫)

(新潮文庫)

泉 鏡花 著

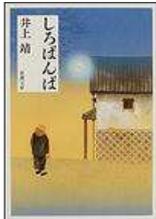
新潮社

朝日新聞 2022/04/02

2000:6./ 428 p

978-4-10-105604-3

¥737〔税込〕



しろばんば 改版(新潮文庫): 改版

(新潮文庫)

井上 靖 著

新潮社

朝日新聞 2022/04/02

2004:5./ 583p

978-4-10-106312-6

¥935〔税込〕



金色夜叉 改版(新潮文庫): 改版

(新潮文庫)

尾崎 紅葉 著

新潮社

朝日新聞 2022/04/02

2004:5./ 583p

978-4-10-107401-6

¥880〔税込〕



対岸の彼女(文春文庫)

(文春文庫)

角田 光代 著

文芸春秋

女社長の葵と専業主婦の小夜子。二人の出会いと友情は、些細なことから亀裂を生じていくが……。孤独から希望へ、感動の傑作長篇

朝日新聞 2022/04/02

2007:10./ 334p

978-4-16-767205-8

¥704〔税込〕



イニシエーション・ラブ(文春文庫)

(文春文庫)

乾 くるみ 著

文芸春秋

僕がマユに出会ったのは代打で出た合コンの席。やがて僕らは恋に落ちて……。 「必ず2回読みたくなる」と評された驚愕のミステリー

朝日新聞 2022/04/02

2007:4./ 271p

978-4-16-773201-1

¥693〔税込〕



日本文学全集<05> 源氏物語(中): 5

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。05は、54帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「玉鬘」から「幻」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

朝日新聞 2022/04/02

2018:11./ 661p

978-4-309-72875-9

¥3,850〔税込〕





日本文学全集<04> 源氏物語(上): 4

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。04 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「桐壺」から「少女」までを、角田光代による完全新訳で収録する。しおり付き。

2017:9./ 689p
978-4-309-72874-2

¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2022/04/02



日本文学全集<06> 源氏物語(下): 6

河出書房新社

池澤夏樹個人編集による日本文学全集。06 は、54 帖から成る世界最古の長篇小説「源氏物語」の「匂宮」から「夢浮橋」までを、角田光代による完全新訳で収録する。解説付き。

2020:2./ 637p
978-4-309-72876-6

¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2022/04/02



歌うサル〜テナガザルにヒトのルーツをみる〜(共立スマートセレクション

37): テナガザルにヒトのルーツをみる

(共立スマートセレクション)

井上 陽一 著

共立出版

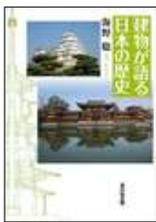
テナガザルの歌の特徴やヒト言語との類似、テナガザルの隣人関係について述べながら、「言語の歌起源説」に迫り、ヒトのルーツを問う。動画を視聴できる URL、QR コード付き。

2022:2./ 10p,145p
978-4-320-00937-0

¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2022/04/02



建物が語る日本の歴史

海野 聡 著

吉川弘文館

社会と建物の関わりに光を当てた日本建築史の入門書。国家の威信をかけて建てられた寺院や城郭、人びとが生活した住居など、原始から近代まで各時代の建物で日本の歴史を読み解く。

2018:7./ 6p,295p 図

版 32p

978-4-642-08336-2

¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2022/04/02



いかれころ(新潮文庫 み-68-1)

(新潮文庫)

三国 美千子 著

新潮社

昭和の終わり、南河内に暮らす一族の娘に縁談が持ち上がる。本人の考えを他所に、結納金や世間体を巡り親戚中の思惑が忙しくぶつかり合う。その喧噪を、分家の少女はじっと見つめていた...

2022:2./ 152p
978-4-10-103661-8

¥506〔税込〕



朝日新聞 2022/04/02



現代日本のエリートの平等観～社会的格差と政治権力～: 社会的格差と政治権力

竹中 佳彦/山本 英弘/濱本 真輔 編

明石書店

なぜ格差は是正されないのか? 1980年に三宅一郎らが実施した「エリートの平等観」調査。あらためて同じ課題に取り組み、「一億総中流社会」から「格差社会」への40年間の変容を実証的に分析する。

朝日新聞 2022/04/02

2021.12./ 13p,278p
978-4-7503-5286-2

¥3,300〔税込〕



父と私の桜尾通り商店街(角川文庫 い100-2)

(角川文庫)

今村 夏子 著

KADOKAWA

桜尾通り商店街のはずれでパン屋を営む父と、娘の「私」。コッペパンをサンドイッチにして並べはじめたことで、予想外の評判を呼んでしまい…。表題作のほか、書籍初収録の「冬の夜」を含む、全7篇の短篇集。

朝日新聞 2022/04/02

2022.1./ 263p

978-4-04-111896-2

¥704〔税込〕



あなたが私を竹槍で突き殺す前に(河出文庫 い46-2)

(河出文庫)

李 龍徳 著

河出書房新社

日本初の“嫌韓”女性総理が誕生し、韓国人街でのヘイトクライムが激化していく近未来の日本で、1人の若者が立ち上がる。彼と6人の仲間たちが画策する、禁断の「反攻」計画とは? 怒りと悲しみの青春群像。

朝日新聞 2022/04/02

2022.3./ 459p

978-4-309-41874-2

¥1,155〔税込〕



飛族(文春文庫 む6-6)

(文春文庫)

村田 喜代子 著

文藝春秋

朝鮮との国境近くの島で、老女が2人だけで暮らしている。ウメ子の母親で92歳のイオと、その海女友達で88歳のソメ子だ。彼女たちの厳しい海辺暮らしと、シンプルに生きようとする姿を描く。桐野夏生の解説付き。

朝日新聞 2022/04/02

2022.1./ 238p

978-4-16-791812-5

¥836〔税込〕





古建築を復元する～過去と現在の架け橋～(歴史文化ライブラリー 444): 過去と現在の架け橋
(歴史文化ライブラリー)

海野 聡 著
吉川弘文館

当時の姿を思い描くことができる、各地の遺跡の復元建物。その設計はどのように行われているのか。発掘遺構や遺物、現存する古代建築、絵画資料など、あらゆるピースを組み合わせる復元の世界の魅力に迫る。

朝日新聞 2022/04/02

2017:3./ 5p,259p
978-4-642-05844-5

¥1,980〔税込〕



大東亜共栄圏のクールジャパン～「協働」する文化工作～(集英社新書 1107): 「協働」する文化工作
(集英社新書)

大塚 英志 著
集英社

満州でのまんが教室、南方支配を正当化した「桃太郎」…。大東亜共栄圏形成のために遂行された官民協働の文化工作の全貌を詳らかにし、戦時中の外地での文化工作から、現在に偏在する国家の「宣伝工作」の起源に迫る。

朝日新聞 2022/04/02

2022:3./ 318p
978-4-08-721207-5

¥1,034〔税込〕



サラ金の歴史～消費者金融と日本社会～(中公新書 2634): 消費者金融と日本社会
(中公新書)

小島 庸平 著
中央公論新社

日本の経済史上、最も浮沈の激しい業界の一つだったサラ金の歴史には、近現代の日本社会が経験したダイナミックな変化が鮮やかに反映している。1960年代に生まれたサラ金の歴史を、その前後の時期も含めてたどる。

朝日新聞 2022/04/02

2021:2./ 6p,344p
978-4-12-102634-7

¥1,078〔税込〕



黄金夜界

橋本 治 著
中央公論新社

一夜にして許婚者と金と家を失い、地べたを這う<金の悪鬼>となった東大生・貫一。壮絶な彷徨はやがて、裏切りの末路と交差する…。尾崎紅葉の「金色夜叉」を現代に蘇らせた橋本治の遺作。『読売新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/02

2019:7./ 371p
978-4-12-005210-1

¥1,870〔税込〕





タラント

角田 光代 著
中央公論新社

周囲の人々が“意義ある仕事”に邁進する中、心に深傷を負い、無気力な中年になったみのりの。不登校の甥の手で、心にふたをした義足の祖父の過去が緋かれるとき、みのりの心は…。『読売新聞』連載に加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2022/04/02

2022:2./ 443p
978-4-12-005501-0

¥1,980〔税込〕



石を黙らせて

李 龍徳 著
講談社

罪とはなにか。その罪に許しはあるのか。名も知らない女性の人生を、尊厳を傷つけた。過去の強姦を告白し、婚約者と家族から断絶された男は、謝罪のために事件を公表し、被害者探しを思い立ち…。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/02

2022:1./ 156p
978-4-06-526679-3

¥1,870〔税込〕



暴落～金融危機は世界をどう変えたのか～<下>: 金融危機は世界をどう変えたのか, 下

アダム・トゥーズ 著
みすず書房

グローバル時代初の金融危機について、全世界にわたる危機前史とその破壊的影響を壮大に描く。下は、ギリシャ経済危機、ソブリン危機の欧州全域への拡大、ウクライナ危機、トランプ大統領の誕生から、2017年までを扱う。

朝日新聞 2022/04/02

2020:3./ p373?757
50p

978-4-622-08875-2

¥4,950〔税込〕



暴落～金融危機は世界をどう変えたのか～<上>: 金融危機は世界をどう変えたのか, 上

アダム・トゥーズ 著
みすず書房

グローバル時代初の金融危機について、全世界にわたる危機前史とその破壊的影響を壮大に描く。上は、サブプライム危機の前史から、リーマンショックをはじめとする金融危機の勃発、オバマ政権による刺激プログラムまでを扱う。

朝日新聞 2022/04/02

2020:3./
10p,370p,46p
978-4-622-08874-5

¥4,950〔税込〕





星の輝き、月の影(ビッグ コミックス)

(ビッグ コミックス)

じんの あい 著

小学館

東北在住作家が描く、震災の地で生きる人々 大学を卒業し、福島県の故郷の村へと戻ってきた聡子は、村で生きる目標とパートナーを見つけた矢先、東日本大震災に遭遇。恋人は行方不明となってしまう…… 汚染された村から避難し、仮設住宅暮らしを余儀なくされながら 恋人を待ち続ける聡子。季節は震災前と同じように巡り、故郷も、思い出の場所も、美しいまま。なのに、村へ戻ることはできない。行き場のない怒りや悲しみを抱えながら、それでも聡子たちは、少しずつ、前へと歩いていく—— “被災地”で暮らし続けようとする人々の想いを、あたたかなタッチで描き出すヒューマンドラマ。 【編集担当からのおすすめ情報】 この作品が初連載となる 著者・じんのあい氏は仙台在住。みずから被災地を訪れて取材を重ね、たくさんの想いを預かってきました。ビッグコミック増刊号の好評連載です。

朝日新聞 2022/04/02

2022:3/ 160p
978-4-09-861276-5

¥1,180〔税込〕



電車は止まらない

芸術新聞社

僕たちは振り落とされないよう、身を寄せ合いながら、未来へと進む旅をしたのだ。高度経済成長期のど真ん中にあるバングラデシュで、「貧困層」と呼ばれる人々とともに、電車の屋根に乗って旅をした、1年半の記録。

朝日新聞 2022/04/02

2022:4/ 110p
978-4-87586-635-0

¥2,530〔税込〕



奈良で学ぶ寺院建築入門(集英社新書 1102)

(集英社新書)

海野 聡 著

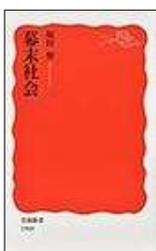
集英社

全国の寺院建築の基礎は、奈良の唐招提寺、薬師寺、興福寺、東大寺にあり。建物の基本骨格や建築の基礎知識、各寺院の具体的な造られ方を、多くの図版や写真でわかりやすく解説する。

朝日新聞 2022/04/02、産経新聞 2022/04/10

2022:2/ 250p
978-4-08-721202-0

¥1,100〔税込〕



幕末社会(岩波新書 新赤版 1909)

(岩波新書 新赤版)

須田 努 著

岩波書店

徳川体制を支えていた仁政と武威の揺らぎ、広がる格差と蔓延する暴力、頻発する天災や疫病…。先の見えない時代に、動き出した百姓、自己主張を始めた若者、新たな生き方を模索した女性に光をあて、その社会像を総合的に描く。

朝日新聞 2022/04/02、東京・中日新聞 2022/04/03

2022:1/ 8p,265p
978-4-00-431909-2

¥1,034〔税込〕





なんでも見つかる夜に、こころだけが見つからない

東畑 開人 著
新潮社

誰とでもつながれる時代なのに、どうしようもなく「ひとりぼっち」だと感じるのはなぜ? 自分のこころがわからなくなるのはどうして? 臨床心理士が読者との<夜の航海>を通じて描く、新感覚の「読むセラピー」。

朝日新聞 2022/04/02、読売新聞 2022/04/03

2022:3./ 281p
978-4-10-354491-3

¥1,760〔税込〕



世界はコロナとどう闘ったのか?〜パンデミック経済危機〜: パンデミック経済危機

アダム・トゥーズ 著
東洋経済新報社

コロナが示した政治・経済システムの脆弱性とは。パンデミックに直面した世界の金融市場の混乱や政府の政策の一部始終をグローバルな視点で詳述し、経済領域での相互作用を明らかにする。

朝日新聞 2022/04/02、日本経済新聞 2022/04/09

2022:1./ 7p,422p,63p
978-4-492-39665-0

¥3,080〔税込〕



ナチス破壊の経済〜1923-1945〜<上>: 1923-1945, 上

アダム・トゥーズ、山形 浩生、森本 正史 著
みすず書房

ナチスの経済政策は、いかに付け焼き刃に過ぎなかったか。雇用創出、アウトバーン建設など、ナチ経済政策につきまとう神話の実像を暴きつつ、戦争遂行に向けた、外貨確保を中心とした金融経済政策や動員体制の確立を詳述する。

朝日新聞 2022/04/02、日本経済新聞 2022/04/09

2019:8./
22p,415p,62p
978-4-622-08812-7

¥5,280〔税込〕



給料はあなたの価値なのか〜賃金と経済にまつわる神話を解く〜: 賃金と経済にまつわる神話を解く

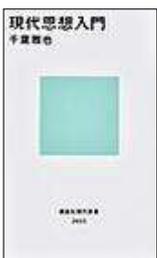
ジェイク・ローゼンフェルド 著
みすず書房

給料の額=市場価値なのか。なぜ年収は増えず、仕事によって収入格差が生まれるのか。様々な企業・業界の実態調査に基き、世にはびこる誤解を正し、公平な賃金制度への道筋を示す。コロナ危機を踏まえた「エピローグ」も収録。

朝日新聞 2022/04/02、日本経済新聞 2022/04/16、東京・中日新聞 2022/04/17

2022:2./ 260p,50p
978-4-622-09055-7

¥3,960〔税込〕



現代思想入門(講談社現代新書 2653)

(講談社現代新書)

千葉 雅也 著
講談社

デリダは「概念の脱構築」、ドゥルーズは「存在の脱構築」、フーコーは「社会の脱構築」。人生を変える現代思想の真髄を、かつてない仕方で書き尽くした、俊英による現代思想の入門書。

朝日新聞 2022/04/02、日本経済新聞 2022/04/23

2022:3./ 245p
978-4-06-527485-9

¥990〔税込〕





6Bの鉛筆で書く

五味太郎 著
ブロンズ新社

小さな文章を書いてみるゆしみというやつは、もしかしたら散歩に似ているのかも知れない。町内ではなく脳内をぶらぶらすることなんだ。絵本界のレジェンド五味太郎によるエッセイ&写真集。

朝日新聞 2022/04/02、毎日新聞 2022/04/09

2022:2./ 159p
978-4-89309-703-3
¥1,760〔税込〕



ファズイーター

深町 秋生 著
幻冬舎

上野署員がナイフで襲われ、品川では元警官が銃弾に倒れる。一方、指定暴力団の印旛会も幹部の事故死や失踪が続く。組織犯罪対策課の八神瑛子は、印旛会傘下・千波組の関与を疑い…。『小説幻冬』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/04/03

2022:3./ 376p
978-4-344-03917-9
¥1,870〔税込〕



ピアニストという蛮族がいる(中公文庫)

(中公文庫)

中村 紘子 著
中央公論新社

ホロヴィッツ、ラフマニノフら、巨匠たちの天才ぶりを軽妙に綴り、幸田延、久野久の悲劇的な半生が感動を呼ぶ、文藝春秋読者賞受賞作。

朝日新聞 2022/04/09

2009:12./ 317p
978-4-12-205242-0
¥838〔税込〕



フルスロットル〜トラブル・イン・マインド (1)〜(文春文庫 テ11-46): ト

ラブル・イン・マインド (1)

(文春文庫)

ジェフリー・ディーヴァー 著
文藝春秋

キャサリン・ダンスの尋問が通用しないテロリスト、リンカーン・ライムの科学捜査を逆手に取る犯人、久々登場のジョン・ペラムが爆走し…。シリーズ看板スターが総出演、息もつかせぬ全6編。

朝日新聞 2022/04/09

2022:4./ 447p
978-4-16-791869-9
¥1,320〔税込〕



デザインってなんだろ?

松田 行正 著
紀伊國屋書店出版部

ブックデザインの世界を駆け抜けてきた著者が、デザインや美的感覚がそもそもどのように形成されていったかを、歴史の糸をときほぐしつつ解説するデザイン論。

『+DESIGNING』等掲載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/09

2017:3./ 326p
978-4-314-01145-7
¥1,980〔税込〕





廃墟の白墨(光文社文庫 と 22-4)

(光文社文庫)

遠田潤子 著

光文社

ミモザの父に、白い線で描かれた薔薇の絵のモノクロ写真が届いた。裏には「四月二十日。零時。王国にて。」とあった。ミモザは指定されたビルに向かう。廃墟と化したビルには3人の男たちが待っていた。

朝日新聞 2022/04/09

2022:3./ 379p
978-4-334-79317-3

¥792〔税込〕



潜入ルポ amazon 帝国

横田 増生 著

小学館

“世界最大の小売企業”アマゾンによって、いまや日本市場は制圧されつつある。果たして、その現場では何が起きているのか。アマゾンのさまざまな現場に忍び込み、「巨大企業の光と影」を明らかにするルポルタージュ。

朝日新聞 2022/04/09

2019:9./ 351p
978-4-09-380110-2

¥1,870〔税込〕



森のうた～山本直純との藝大青春記～(河出文庫 い 47-1): 山本直純との藝大

青春記

(河出文庫)

岩城 宏之 著

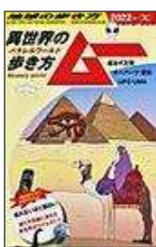
河出書房新社

東京藝大で指揮者修業に奮闘するイワキとナオズミ。師と出逢い、カラヤンの指揮をモグリで観、学生オケで練習を重ね、ケンカと失恋を越えて、いよいよ「森の歌」演奏会の日がやってきた…。天才音楽家たちの音楽青春記。

朝日新聞 2022/04/09

2022:2./ 222p
978-4-309-41873-5

¥990〔税込〕



地球の歩き方ムー～異世界の歩き方～: 異世界の歩き方

地球の歩き方編集室 編

学研

モアイ像、ピラミッド、ナスカの地上絵…。世界を旅するガイドブック「地球の歩き方」が、ミステリーマガジン『ムー』的世界の舞台となった場所を紹介するガイドブック。折り込みマップ付き。データ:2022年1月現在。

朝日新聞 2022/04/09

2022:2./ 416p
978-4-05-801716-6

¥2,420〔税込〕





試練〜護衛艦あおぎり艦長早乙女碧〜(新潮文庫 と-34-2): 護衛艦あおぎり艦長早乙女碧
(新潮文庫)

時武 里帆 著
新潮社

民間人多数を乗せ、瀬戸内海で体験航海を行う護衛艦「あおぎり」に不時着機からの遭難信号が飛びこんできた。同時に急病人が発生。個性豊かな上司と部下の力をひとつに合わせ、早乙女艦長は困難な状況を切り拓いてゆく…。

朝日新聞 2022/04/09

2022:4./ 388p
978-4-10-103842-1

¥781〔税込〕



日本橋に生まれて(本音を申せば)

(本音を申せば)

小林 信彦 著
文藝春秋

東京は日本橋区の和菓子屋の、九代目の長男として生まれた小林信彦は、子供のころから映画を見てきて…。渥美清、野坂昭如、植木等、江戸川乱歩など、忘れがたい喜劇人や作家たちの横顔を綴る。『週刊文春』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/04/09

2022:1./ 275p
978-4-16-391492-3

¥2,420〔税込〕



東大女子という生き方(文春新書 1356)

(文春新書)

秋山 千佳／秋山 千佳／秋山 千佳 著
文藝春秋

孤独、挫折、ハラスメント…。誰もがぶつかる「人生の壁」を東大女子はどう乗り越えたのか。最難関の大学に入った女性たちの歩みを追うことで、女子が高等教育を受ける意義を可視化する。『文藝春秋デジタル』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/04/09

2022:3./ 254p
978-4-16-661356-4

¥1,078〔税込〕



大作曲家の音符たち〜池辺晋一郎の「傑作ア・ラ・カルト」〜: 池辺晋一郎の「傑作ア・ラ・カルト」

池辺 晋一郎 著
音楽之友社

純粋に楽譜の面から歴史的作曲家 24 人をわかりやすく、楽しく解説。作曲家ならではの鋭い分析を展開し、彼らのすごさと素晴らしさを強い説得力で熱く語る。『音楽の友』2018年4月号?2020年3月号の連載を書籍化。

朝日新聞 2022/04/09

2021:10./ 180p
978-4-276-20073-9

¥2,200〔税込〕





女性自衛官～キャリア、自分らしさと任務遂行～(光文社新書 1191): キャリア、自分らしさと任務遂行
(光文社新書)

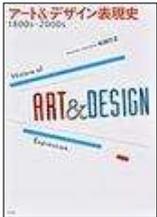
上野友子、武石恵美子 著
光文社

「命を懸けてでもこの国を守る」と誓う傍ら、母親として家族も守る自衛官たちが見出したワークライフバランスとは。女性率わずか 8%未滿の自衛隊で働く女性自衛官たちの語りを通じ、この国で生きる女性のキャリア形成を描く。

朝日新聞 2022/04/09

2022:3./ 261p
978-4-334-04599-9

¥946〔税込〕



アート&デザイン表現史～1800s-2000s～: 1800s-2000s

松田 行正 著
左右社

グラフィック・デザイン、絵画、写真、建築、映画、音楽…。「モダン」が誕生した 19 世紀から現在までのポスト・モダンを含む約 200 年のアートとデザインの動向を、表現法を軸として年代順に読み解く。

朝日新聞 2022/04/09

2022:2./ 439p
978-4-86528-058-6

¥4,950〔税込〕



荘村清志弾いて飲んで酔いしれて～ギターとともに 50 年～: ギターとともに 50 年

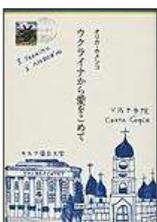
荘村 清志／吉田 純子 著
アルテスパブリッシング

イエペスとの出会い、スペイン武者修行、武満徹の教え、ツアーに明け暮れる日々、そしてかけがえのない友人たち。ギタリスト・荘村清志が、ギターと歩んだ人生を振り返る。巻頭には写真も掲載。

朝日新聞 2022/04/09

2020:12./ 166p,11p
978-4-86559-230-6

¥2,200〔税込〕



ウクライナから愛をこめて

オリガ・ホメンコ 著
群像社

ウクライナの首都キエフに生まれ、チェルノブイリ原発事故の記憶が深く心に刻まれた子供時代を過ごし、日本の大学で学んだ女性が、忘れられない人々の思い出と故郷の街の魅力を日本語でつづったエッセイ。

朝日新聞 2022/04/09

2014:1./ 117p
978-4-903619-44-6

¥1,320〔税込〕





ピエ・ノワール列伝～人物で知るフランス領北アフリカ引揚者たちの歴史～
(世界引揚者列伝 Vol.1): 人物で知るフランス領北アフリカ引揚者たちの歴史
(世界引揚者列伝)

大嶋えり子 著
パブリブ

ピエ・ノワールと呼ばれる、アルジェリア、モロッコ、チュニジアで生まれ、アルジェリア独立戦争後に引き揚げたフランス人のうち、知名度もしくは歴史的重要性の高い111人の足跡を紹介。知られざるフランス現代史に迫る。

朝日新聞 2022/04/09

2018:2./ 287p
978-4-908468-22-3
¥2,530 [税込]



国境を超えたウクライナ人

オリガ・ホメンコ 著
群像社

旅する自由思想家、20世紀のマルコ・ポーロ...。18?20世紀、美術、航空技術、医学、外交などの専門性を生かして異郷の地で活躍した人々と、ウクライナ人に同化してソ連に殺された男、10人の人物誌。

朝日新聞 2022/04/09

2022:2./ 140p
978-4-910100-22-7
¥1,650 [税込]



旧植民地を記憶する～フランス政府による<アルジェリアの記憶>の承認をめぐる政治～
フランス政府による<アルジェリアの記憶>の承認をめぐる政治

大嶋 えり子 著
吉田書店

アルジェリアは1830年からフランスの支配下であり、独立戦争は両国の間に多くの傷を残した。フランスにおけるアルジェリアの植民地支配および独立戦争に関する記憶を、国家としてどう扱っているのか検討する。

朝日新聞 2022/04/09

2022:2./ 4p,259p
978-4-910590-01-1
¥4,400 [税込]



イントゥ・ザ・プラネット～ありえないほど美しく、とてつもなく恐ろしい水中洞窟への旅
ありえないほど美しく、とてつもなく恐ろしい水中洞窟への旅

ジル・ハイナース 著
新潮社

南極の氷山の下、ユカタン半島のシンクホール、ケイマン諸島の小さな泥沼。洞窟ダイバーで水中探検家、作家、写真家、映画監督である著者が綴る、酸素も光も届かず人間の侵入を拒む「暗闇の絶景」への冒険記。

朝日新聞 2022/04/09、読売新聞 2022/04/24

2022:1./ 315p
978-4-10-507251-3
¥2,420 [税込]





奇跡

林 真理子 著

講談社

男は世界的な写真家、女は梨園の妻。「不倫」という言葉を寄せつけないほど正しく高潔な二人。林真理子に託され綴られた、本来であれば、決して世に出ることがなかったはずの、愛の“奇跡の物語”。

朝日新聞 2022/04/09、日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 165p
978-4-06-524305-3

¥1,760〔税込〕



ドンキにはなぜペンギンがいるのか(集英社新書 1104)

(集英社新書)

谷頭 和希 著

集英社

ディスカウントストア「ドン・キホーテ」から見えてきた、現代日本の姿と未来の可能性とは? 街歩きライターがフィールドワークを行い、その歴史や経営戦略を社会学や建築の視点から読み解く。『ゲンロン α』掲載を大幅加筆。

朝日新聞 2022/04/09、日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 231p
978-4-08-721204-4

¥924〔税込〕



「トランプ信者」潜入一年〜私の目の前で「民主主義」が死んだ〜: 私の目の前で「民主主義」が死んだ

横田 増生 著

小学館

潜入ジャーナリストが単身渡米。トランプ陣営の選挙スタッフとなり、「議事堂襲撃」では警官の催涙スプレーまで浴びた。「分断」「狂信」「暴動」をすべて内側から見たルポルタージュ。『フォーサイト』他掲載に加筆修正。

朝日新聞 2022/04/09、毎日新聞 2022/04/09

2022:3./ 463p
978-4-09-388852-3

¥2,200〔税込〕



乳と卵(文春文庫)

(文春文庫)

川上 未映子 著

文芸春秋

娘の緑子連れて大阪から上京した姉の卷子は、豊胸手術に取り憑かれている。2人を東京に迎えた狂おしい3日間。芥川賞受賞作

朝日新聞 2022/04/16

2010:9./ 133 p
978-4-16-779101-8

¥550〔税込〕



オールドレンズの神のもとで(文春文庫 ほ 26-1)

(文春文庫)

堀江 敏幸 著

文芸春秋

色のない世界から色のある世界へ。色と記憶をめぐる「オールドレンズの神のもとで」など、記憶や風景に抱かれたシーンを繊細に描き出した、彩り豊かな18篇を収録する。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3./ 207p
978-4-16-791844-6

¥726〔税込〕





あの胸が岬のように遠かった～河野裕子との青春～: 河野裕子との青春

永田 和宏 著
新潮社

熱く、性急で、誠実でありたくて、傷つけあった。未公開日記と手紙 300 通から初めて明かされる、歌人夫婦・河野裕子と永田和宏の蒼き愛の物語。『波』連載を改題し単行本化。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3/ 312p
978-4-10-332642-7

¥1,870 [税込]



ドライブイン探訪

橋本 倫史 著
筑摩書房

道路沿いにひっそりと佇むドライブイン。クルマ社会、外食産業の激変を受けながら、ドライバーたちに食事を提供し続けた人々の人生と思いに迫る。『月刊ドライブイン』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/04/16

2019:1/ 315p
978-4-480-81850-8

¥1,870 [税込]



水納島再訪

橋本 倫史 著
講談社

沖縄のやんばるにある小さな離島・水納島。開拓から戦争、産業、海洋博、そして現在までを、再訪を重ねてきた気鋭のライターが綴ったノンフィクション・エッセイ。『群像』連載を加筆し書籍化。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2/ 236p
978-4-06-526939-8

¥1,760 [税込]



少女 ABCDEFGHIJKLMNOP (河出文庫 さ 45-2)

(河出文庫)

最果 タヒ 著
河出書房新社

最果タヒが言葉にならない「瞬間の関係」を鮮烈に描いた短編集。女子高校生 2 人による「都市伝説」の検証実験がスタートする「わたしたちは永遠の裸」のほか「きみは透明性」など全 4 編を収録。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3/ 248p
978-4-309-41876-6

¥715 [税込]



犯罪の証明なき有罪判決～23 件の暗黒裁判～: 23 件の暗黒裁判

吉弘 光男／宗岡 嗣郎 編
九州大学出版会

帝銀事件、免田事件、松川事件…。冤罪はなぜ起こるのか。現行憲法・刑事訴訟法の施行最初期から絶えず続発する誤判事件の実態を概観し、裁判官側の誤判原因の解明と冤罪防止策の提言を試みる。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2/ 12p,301p
978-4-7985-0323-3

¥3,520 [税込]





ゲノムに聞け〜最先端のウイルスとワクチンの科学〜(文春新書 1355): 最先端のウイルスとワクチンの科学
(文春新書)

中村 祐輔 著
文藝春秋

変異を繰り返して感染力を増す新型コロナウイルス感染症と戦うためには何が必要なのか。生物やウイルスの設計図である「ゲノム」の視点から、ウイルスとワクチンに関する最先端の知見をわかりやすく解説する。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3./ 252p
978-4-16-661355-7
¥1,078〔税込〕



資本主義の新しい形(シリーズ現代経済の展望)
(シリーズ現代経済の展望)

諸富 徹 著
岩波書店

現代の構造変化の核心である「資本主義の非物質主義的転回」を分析することを通じて、日本企業の産業競争力の低下、経済格差の拡大などの課題を理論的かつ包括的に考察。「社会的投資国家」の将来構想を打ち出す。

朝日新聞 2022/04/16

2020:1./ 18p,251p
978-4-00-028733-3
¥2,860〔税込〕



少女漫画家「家」の履歴書(文春新書 1352)
(文春新書)

週刊文春編 著
文藝春秋

あの名作は、こんな「家」から生まれた! 少女漫画の黄金期である1970年代までにデビューした12人の漫画家が、これまで住んできた家の履歴を通して、半生とともに作品歴を語る。『週刊文春』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2./ 215p
978-4-16-661352-6
¥902〔税込〕



ピノ:PINO

村上たかし 著
双葉社

世界で初のシンギュラリティに到達したAIを搭載した、量産型人型ロボットのピノ。ある貧民街で認知症のおばあさんの介護をしていたピノにコンピューターウイルスが侵入し…。『漫画アクション』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3./ 323p
978-4-575-31708-4
¥1,210〔税込〕





ADHD 大国アメリカつくられた流行病

アラン・シュワルツ 著

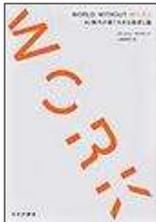
誠信書房

ADHD と診断される子どもの数は米国で急上昇している。それに伴い、投薬を受ける児童数も製薬会社の売り上げも急増した。医療関係者、製薬会社、マスコミ等を丹念に取材し、作られた大流行のからくりを暴き出す。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2./ 4p,328p
978-4-414-42869-8

¥3,850〔税込〕



WORLD WITHOUT WORK~AI時代の新「大きな政府」論~: AI時代の新「大きな政府」論

ダニエル・サスキンド 著

みすず書房

迫り来る驚くべき技術革新によって、人間がする仕事の足りない世界が来たら、その先はどうするのか? イギリスの新進気鋭の経済学者が、21世紀の<所得分配国家><資本分配国家><労働者支援国家>を描き出す。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3./
19p,298p,73p
978-4-622-09070-0

¥4,620〔税込〕



仕事から見た「2020年」~結局、働き方は変わらなかったのか?~: 結局、働き方は変わらなかったのか?

玄田 有史/萩原 牧子 編

慶應義塾大学出版会

地球規模で席卷したコロナ・パンデミックは、人々の暮らしと働き方に大きな影響を与えた。全国調査のデータを用いて働き方の変容などを多角的に分析し、わが国の労働市場にはどんな構造変化が起きたのかを検証する。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3./ 14p,262p
978-4-7664-2806-3

¥1,980〔税込〕



愛の夢とか(講談社文庫 か 112-5)

(講談社文庫)

川上 未映子 著

講談社

あのとき、ふたりが世界のすべてになった…。なにげない日常がゆらいで光を放つ瞬間をとらえた、心ゆさぶるストーリーズ。表題作ほか「アイスクリーム熱」「いちご畑が永遠につづいてゆくのだから」など、全7編収録。

朝日新聞 2022/04/16

2016:4./ 212p
978-4-06-293368-1

¥660〔税込〕





肖像彫刻家(新潮文庫 し-38-11)

(新潮文庫)

篠田 節子 著

新潮社

芸術の道を諦め、八ヶ岳山麓で銅像職人として再出発した正道。しかし彼の作品には、文字通り魂が宿ってしまうのだった。周囲の思惑そっちのけで、銅像たちが語り始めたホンネとは…。珍現象が巻き起こす人間模様を描く。

朝日新聞 2022/04/16

2022:4/ 406p
978-4-10-148422-8

¥781 [税込]



無形資産が経済を支配する～資本のない資本主義の正体～: 資本のない資本主義の正体

ジョナサン・ハスケル/スティアン・ウェストレイク 著

東洋経済新報社

スターバックスの店舗マニュアル、コカ・コーラの製法とブランド、グーグルのアルゴリズム…。無形資産の増大は生産性や格差にどのような影響をもたらすのか? これまで計測できなかった無形資産の全貌を包括的に分析する。

朝日新聞 2022/04/16

2020:1/
10p,359p,29p
978-4-492-31524-8

¥3,080 [税込]



夏物語(文春文庫 か 51-5)

(文春文庫)

川上 未映子 著

文藝春秋

小説家を目指し上京した夏子は、自分の子どもに会いたいと思い、パートナーなしの出産を目指す。そんな中、精子提供で生まれ、父の顔を知らない潤が現れ…。生命の意味をめぐる真摯な問いを切ない詩情と泣き笑いの筆致で描く。

朝日新聞 2022/04/16

2021:8/ 654p
978-4-16-791733-3

¥1,067 [税込]



パンデミック監視社会(ちくま新書 1639)

(ちくま新書)

デイヴィッド・ライアン 著

筑摩書房

監視技術が広範に活用され、監視によるデータ収集や人々の行動追跡・制御がスムーズに受け入れられたパンデミック。「コロナ前」に戻ることは可能か。監視研究の世界的権威が、新型コロナウイルスがもたらした真の脅威に迫る。

朝日新聞 2022/04/16

2022:3/ 249p
978-4-480-07468-3

¥924 [税込]





自省録～マルクス・アウレーリウス～ 改版(岩波文庫 青 610-1): マルクス・アウレーリウス, 改版
(岩波文庫)

マルクス・アウレーリウス 著
岩波書店

あたかも一万年も生きるかのように行動するな。生きているうちに、許されている間に、善き人たれ—ローマ皇帝でストア派の哲人マルクス・アウレーリウス(121—180)。多端な公務に東奔西走しつつ、透徹した目で自らを内省した記録は、古来、数知れぬ人々の心の糧となってきた。神谷美恵子の清冽な訳文に、新たな補注を加えた。

朝日新聞 2022/04/16

2007:2./ 327p
978-4-00-336101-6

¥946〔税込〕



僕はメイクしてみることにした(ワイド KC)
(ワイド KC)

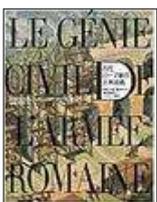
糸井 のぞ 著
講談社

◎38歳の平凡なサラリーマンが飛び込んだメンズ美容の世界。ドキドキの冒険！ 前田一朗、38歳、独身。平凡なサラリーマン。ある日、自分の疲れ切った顔とたるんだ体を見てショックを受けた一朗は一念発起、スキンケアやメイクを始めてみることに！ コスメ大好き女子の“師匠”タマとの出会いや、ノーメイクを選択する同僚の真栄田さんとの交流を通して、一朗は自分を労る事の大切さやメイクの楽しさに目覚めていく。そして、男らしさの呪縛にとられる親友の長谷部と衝突するのだが……。性別も年齢も関係なく、誰でもメイクを楽しんでいいし、メイクをしない自由もある。毎日を心地よく生きるための、セルフケアとしてのメンズ美容。◎ぼる塾・田辺さんおすすめ！ 「メイクは男、女、モテる為、関係ない。自分の機嫌を取る為の物。コスメを買った時のウキウキ、使用した時のトキメキを この漫画は思い出させてくれますよ」 ◎VOCE ウェブ発のマンガ連載、累計 1000 万 PV の大反響！！ 待望の単行本化。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2./ 194p
978-4-06-526796-7

¥1,177〔税込〕



古代ローマ軍の土木技術～街道・水道・運河などの建設事業をイラストで再現
～: 街道・水道・運河などの建設事業をイラストで再現

ジェラルド・クーロン/ジャン＝クロード・ゴルヴァン 著
マール社

戦争のない平和な時、古代ローマの兵士たちはトンネルを掘り、街道をつなげ、橋を作り、水道を引いた。彼らがどのような工法により土木工事を行っていたのか、詳細なイラストで紹介する。

朝日新聞 2022/04/16

2022:2./ 159p
978-4-8373-0919-2

¥3,190〔税込〕





東京の古本屋

橋本倫史 著

本の雑誌社

開発、オリンピック、感染症-。揺れ動く東京で商いを続ける 10 軒の古本屋に 3 日間密着し、その仕事と暮らしを記録するルポルタージュ。WEB『本の雑誌』連載を書籍化。

朝日新聞 2022/04/16

2021:10./ 343p 図版

8 枚

978-4-86011-462-6

¥2,200〔税込〕



よく生きることはよく書くこと～ジャーナリスト千本健一郎の文章教室 1985-2015～: ジャーナリスト千本健一郎の文章教室 1985-2015

千本 健一郎 著

静人舎

私たちは何のために読む力を持ち、書く技を磨こうとしているのか。朝日新聞社編集委員として健筆をふるった千本健一郎が、30年にわたって文章指導を続けた朝日カルチャーセンターの文集に寄せたエッセイをまとめる。

朝日新聞 2022/04/16

2022:4./ 547p

978-4-909299-18-5

¥2,970〔税込〕



ファシズムとロシア

マルレーヌ・ラリュエル 著

東京堂出版

世界各国で反リベラリズムの潮流が湧き起こっている。「ファシズム国家」とのレッテルが貼られるロシアを、幅広い視野から冷静に分析。プーチン体制の構造とロシアの地政学的戦略をわかりやすく読み解く。

朝日新聞 2022/04/16、東京・中日新聞 2022/04/17

2022:2./ 430p

978-4-490-21064-4

¥4,180〔税込〕



侵食される民主主義～内部からの崩壊と専制国家の攻撃～<上>: 内部からの崩壊と専制国家の攻撃, 上

ラリー・ダイヤモンド 著

勁草書房

なぜ民主主義は危機に直面し、権威主義が台頭しているのか? 中国とロシアの「見えない侵略」にさらされ、ポピュリズムで自壊の道をたどる民主主義国の危機の構図を、デモクラシー研究の第一人者が解き明かす。

朝日新聞 2022/04/16、読売新聞 2022/04/24、日本経済新聞 2022/04/30

2022:2./

15p,200p,36p

978-4-326-35183-1

¥3,190〔税込〕



侵食される民主主義～内部からの崩壊と専制国家の攻撃～<下>: 内部からの崩壊と専制国家の攻撃, 下

ラリー・ダイヤモンド 著

勁草書房

専制政治の腐敗構造がもたらす脅威に立ち向かうには何が必要なのか? 中国とロシアの「見えない侵略」にさらされ、ポピュリズムで自壊の道をたどる民主主義国の危機の構図を、デモクラシー研究の第一人者が解き明かす。

朝日新聞 2022/04/16、読売新聞 2022/04/24、日本経済新聞 2022/04/30

2022:2./ 5p,211p,32p

978-4-326-35184-8

¥3,190〔税込〕





江戸の宇宙論(集英社新書 1106)

(集英社新書)

池内 了 著

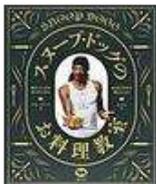
集英社

日本の天文学のルーツは、江戸期の「天才たち」の功績にまで遡る。現代日本を代表する宇宙物理学者が、江戸時代後期の在野の学者らによる破天荒な活躍を追いつつ、当時の宇宙論の先見性を再評価する。

朝日新聞 2022/04/16、毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 318p
978-4-08-721206-8

¥1,034 [税込]



スヌープ・ドッグのお料理教室〜ボス・ドッグのキッチンから60のプラチナ極上レシピ〜: ボス・ドッグのキッチンから60のプラチナ極上レシピ

スヌープ・ドッグ 著

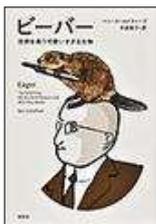
晶文社

超ディーブな南部料理から、ロングビーチの地元で愛される定番料理、そして彼が世界中を旅して覚えてきた料理たち…。ヒップホップ界のスーパースターが極上のレシピを紹介する。

朝日新聞 2022/04/23

2022:2./ 196p
978-4-7949-7290-3

¥3,410 [税込]



ビーバー〜世界を救う可愛いすぎる生物〜: 世界を救う可愛いすぎる生物

ベン・ゴールドファーブ 著

草思社

特殊すぎる生態、意外と深い人類との関わり、そして環境問題解決の最終兵器…。究極にエコな治水システムとして脚光を浴びているビーバーの知られざる側面を余すところなく紹介する。

朝日新聞 2022/04/23

2022:2./ 480p,36p
978-4-7942-2556-6

¥3,630 [税込]



笑うマトリョーシカ

早見 和真 著

文藝春秋

圧倒的な魅力で、官房長官に上り詰めた青年代議士と秘書。彼らに違和感を持った女性記者が、隠された過去を暴くため、取材を重ねるが…。『オール讀物』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2022/04/23

2021:11./ 418p
978-4-16-391150-2

¥1,870 [税込]



核兵器をめぐる5つの神話(RECNA 叢書)

(RECNA 叢書)

ウォード・ウィルソン、黒澤 満、広瀬 訓 著

法律文化社

「原爆こそが日本降伏の理由」「危機を回避する核抑止」「核兵器こそが唯一の切り札」など、核兵器に関する5つの神話を解体し、核兵器が“役に立たない兵器”であることを歴史的事実から論証する。

朝日新聞 2022/04/23

2016:4./ 8p,173p
978-4-589-03775-6

¥2,750 [税込]





ホモ・エコノミクス～「利己的人間」の思想史～(ちくま新書 1637): 「利己的人間」の思想史
(ちくま新書)

重田 園江 著
筑摩書房

富の追求が経済の自明なあり方になったのはどうしてなのだろう? 「金儲け」が道徳的に蔑まれた古代・中世から、「自己利益の追求」が当たり前の価値となった現代までを、思想史の視座から解明する。

朝日新聞 2022/04/23

2022:3./ 317p
978-4-480-07464-5

¥1,034〔税込〕



* 9 7 8 4 4 8 0 7 4 6 4 5 *



きみだからさびしい

大前 粟生 著
文藝春秋

圭吾が想いを告げたあやめは、複数の人とオープンな恋愛関係を持つポリアモリーだった。あやめのことは丸ごと受け入れたい圭吾だったが…。恋の切なさ喜びを凄まじい解像度で描く、新世代の恋愛小説。

朝日新聞 2022/04/23

2022:2./ 199p
978-4-16-391502-9

¥1,650〔税込〕



* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 5 0 2 9 *



イノセント・デイズ(新潮文庫 は-68-1)
(新潮文庫)

早見 和真 著
新潮社

放火によって奪われたのは、元恋人の妻とまだ1歳の双子の命。確定死刑囚・田中幸乃の人生に関わった人々の追想から浮かび上がるあまりにも哀しい真実。幼なじみの弁護士たちが再審を求めて奔走するが…。

朝日新聞 2022/04/23

2017:3./ 467p
978-4-10-120691-2

¥825〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 1 2 0 6 9 1 2 *



ザ・ロイヤルファミリー

早見 和真 著
新潮社

成り上がった男が最後に求めたのは、馬主としての栄光。だが絶対王者が、望みを打ち砕く。誰もが言った。もう無理だ、と。しかし、夢は血とともに子へ継承され…。エンタメ巨編。『小説新潮』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/23

2019:10./ 504p
978-4-10-336152-7

¥2,200〔税込〕



* 9 7 8 4 1 0 3 3 6 1 5 2 7 *



タリバン台頭～混迷のアフガニスタン現代史～(岩波新書 新赤版 1920): 混迷
のアフガニスタン現代史
(岩波新書 新赤版)

青木 健太 著
岩波書店

「テロとの戦い」において「敵」だったはずのタリバンが、再びアフガニスタンで政権を掌握した。なぜタリバンは民衆たちに支持されたのか。恐怖政治で知られたタリバンの多面性に光を当て、現代世界の矛盾を解く。

朝日新聞 2022/04/23

2022:3./ 3p,214p,2p
978-4-00-431920-7

¥924〔税込〕



* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 9 2 0 7 *



核のボタン～新たな核開発競争とトルーマンからトランプまでの大統領権力
～: 新たな核開発競争とトルーマンからトランプまでの大統領権力

ウィリアム・J・ペリー 著
朝日新聞出版

米露中の「新冷戦」といわれる今、核戦争に陥る真の脅威は米国の核政策そのものにある。米国の核の歴史を振り返り、核兵器がもたらす悲劇的結末を避けるために元米国防長官・ペリーらから米政府に向けた警告の書。

朝日新聞 2022/04/23

2020:7./ 304p,26p
978-4-02-251694-7

¥2,530〔税込〕



* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 6 9 4 7 *



お師匠様、出番です!～からぬけ長屋落語人情噺～(ポプラ文庫 や 5-1): からぬ
け長屋落語人情噺
(ポプラ文庫)

柳ヶ瀬 文月 著
ポプラ社

正義感が強く、武芸に長けた堅物娘の伊予の家族は、母を亡くして以来、笑い声を失っていた。ある日、店賃を入れない落語家・烏骨亭邑楽の話を知った伊予は、店賃を納めさせるため、邑楽に弟子入りを決意し…。

朝日新聞 2022/04/23

2022:3./ 302p
978-4-591-17363-3

¥836〔税込〕



* 9 7 8 4 5 9 1 1 7 3 6 3 3 *



**女王ジェーン・グレイは九度死ぬ～時戻りを繰り返す少女と騎士の物語～(二
見サラ文庫 あ 5-2):** 時戻りを繰り返す少女と騎士の物語
(二見サラ文庫)

藍川 竜樹 著
二見書房

九日間女王、ジェーン・グレイは十六歳で断頭台の露と消えた。が、目覚めると九歳の自分に戻っていた。繰り返す人生の中、生きようと足?くジェーン。そんな彼女を助けるべく、騎士ハロルドは毎回違った役割で現れ…。

朝日新聞 2022/04/23

2022:4./ 350p
978-4-576-22036-9

¥858〔税込〕



* 9 7 8 4 5 7 6 2 2 0 3 6 9 *



ドキュメント<アメリカ世>の沖縄(岩波新書 新赤版 1921)

(岩波新書 新赤版)

宮城 修 著

岩波書店

基本的人権が保障されない中で、人々は厚く巨大な壁にどのように立ち向かったのか。『琉球新報』の大型企画「沖縄戦後新聞」を読み解き、日米琉の三者の視点を盛り込みながら「軍事植民地」状態の沖縄の歴史を振り返る。

朝日新聞 2022/04/23

2022:3/
11p,260p,27p
978-4-00-431921-4
¥1,078 [税込]



パンダとわたし

黒柳徹子と仲間たち 著

朝日新聞出版

ジャイアントパンダはなぜカワイイのか? パンダファンにおくる、パンダ愛が深まる、パンダうんちく満載の「パンダ読本」。パンダ歴 75 年の黒柳徹子をはじめ、動物園園長など、様々な分野の人々がパンダについて語る。

朝日新聞 2022/04/23

2022:3/ 265p,6p
978-4-02-251812-5
¥1,760 [税込]



佐久間宣行のずるい仕事術～僕はこうして会社で消耗せずやりたいことをやってきた～: 僕はこうして会社で消耗せずやりたいことをやってきた

佐久間 宣行 著

ダイヤモンド社

話題のヒットメーカーが、誰とも戦わずに抜きん出る仕事術を公開。「[「雑務」こそチャンスに変える」「[「イラついている実力者」と組め]」など、会社にながら消耗せずやりたいことで結果を出す 62 の方法を紹介する。

朝日新聞 2022/04/23

2022:4/ 231p
978-4-478-11479-7
¥1,650 [税込]



まるみちゃんとうさぎくん

大前 粟生 著

ポプラ社

事件のはじまりは、夕日町で一番大きなお祭りの日。その日以降、外に出ると人々の体に変化するようになった。まるみちゃんは体に変化した人たちを羨ましいと思い、転校してきたばかりのうさぎくんは不安がいっぱいで...

朝日新聞 2022/04/23

2022:3/ 167p
978-4-591-17311-4
¥1,540 [税込]



晴明の事件帖～消えた帝と京の闇～(ハルキ文庫 え 6-1): 消えた帝と京の闇 (ハルキ文庫)

遠藤 遼 著

角川春樹事務所

新築した邸が火災に見舞われた藤原実資の前に現れたのは陰陽師・安倍晴明。実資は彼と行動を共にしながら、遭遇した不可思議な事件を日記に綴っていくことを決意する。そんな折、2人と帝に、蘆屋道満の呪が迫ってくる...

朝日新聞 2022/04/23

2022:3/ 271p
978-4-7584-4465-1
¥792 [税込]





**北朝鮮の核兵器～世界を映す鏡～(梅林宏道の仕事の深層 1): 世界を映す鏡
(梅林宏道の仕事の深層)**

梅林宏道 著
高文研

物理学者・評論家の梅林宏道が、北朝鮮の核兵器とミサイル開発についての「事実」を整理・分析し、国際政治の歴史と現状を明らかにしつつ、日本人にとって北朝鮮とは何かを考察する。「日朝平壤宣言」等の資料も収録。

朝日新聞 2022/04/23

2021:9./ 299p
978-4-87498-769-8
¥2,750〔税込〕



**ダニ・マニア～チーズをつくるダニから巨大ダニまで～ 増補改訂版: チーズ
をつくるダニから巨大ダニまで, 増補改訂版**

島野 智之 著
八坂書房

手のひらに乗るもの、森で落葉を食べて暮らしているもの、フランスで“チーズ職人”として働くのろまな平和主義者…。多様性に富んだ魅力あるダニの世界を紹介する。よくあるダニへの誤解 Q&A を追加した増補改訂版。

朝日新聞 2022/04/23

2015:10./ 231p
978-4-89694-188-3
¥2,090〔税込〕



**幻のシロン・チーズを探せ～熟成でダニが活躍するチーズ工房～: 熟成でダニ
が活躍するチーズ工房**

島野智之 著
八坂書房

ヨーロッパの自然に生まれ、悠久の時を経て現代に受け継がれてきたシロン・チーズとは、どんなものなのか。幻のチーズを求めてフランス、ドイツを旅した生物学者が、チーズダニ「シロン」が熟成するチーズの魅力を紹介する。

朝日新聞 2022/04/23

2022:2./ 207p
978-4-89694-295-8
¥1,980〔税込〕



チェルノブイリ～「平和の原子力」の間～: 「平和の原子力」の間

アダム・ヒギンボタム 著
白水社

ソヴィエトで最も安全で進んだ原発と言われたチェルノブイリ。構造的な欠陥をはらんだ誕生から、1986年4月の事故の経緯、未曾有の放射能汚染、人間の心身に残した傷まで、膨大な取材と調査を通じ、災厄の全体像に迫る。

朝日新聞 2022/04/23、読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 465p,154p
図版 16p
978-4-560-09887-5
¥5,720〔税込〕



**精霊の守り人(新潮文庫)
(新潮文庫)**

上橋 菜穂子 著
新潮社
朝日新聞 2022/04/30

2007:3./ 360p
978-4-10-130272-0
¥693〔税込〕





おまえうまそうだな(絵本の時間)

(絵本の時間)

宮西 達也 著

ポプラ社

おなかをすかせた大きな恐竜が、あかちゃん恐竜を見つけてとびかかろうとすると...。お父さんにまちがえられた大きな恐竜と、あかちゃんの愛情の物語。

朝日新聞 2022/04/30

2003.3./ 1冊

978-4-591-07643-9

¥1,320 [税込]



にゃーご(ひまわりえほんシリーズ)

(ひまわりえほんシリーズ)

宮西 達也 著

鈴木出版

三匹のねずみの前にとつぜんあらわれた大きなねこ。「にゃーご!」...ところが、ねずみたちは、「いっしょに、ももを取りに行かない?」と、ねこをさそって...

朝日新聞 2022/04/30

1997.2./ 29p

978-4-7902-6077-6

¥1,430 [税込]



わたぶんぶん~わたしの「料理沖縄物語」~(講談社文庫 よ 24-2): わたしの

「料理沖縄物語」

(講談社文庫)

与那原 恵 著

講談社

ピーフン、jeeまみ豆腐、上海蟹、ごぼう巻...。おなかいっぱい(わたぶんぶん)、料理いっぱい、思い出いっぱい! 沖縄料理と、料理の記憶にまつわるさまざまなひとたちの時間を振り返る。

朝日新聞 2022/04/30

2022.4./ 183p

978-4-06-527648-8

¥682 [税込]



尾木ママと考える!ぼくらの新道徳~学習まんが小学生日記~<2> 友達のこと:

学習まんが小学生日記, 2

テレスコープ/臨床教育研究所「虹」 著

小学館

変化が著しい今の小学生生活をリアルに描きながら、新しい時代に即した道徳を考える。2は、「友達のこと」を取り上げ、まんがと解説記事、尾木ママの豊富な経験に基づくアドバイスを収録する。

朝日新聞 2022/04/30

2020.3./ 159p

978-4-09-296691-8

¥1,100 [税込]





デジタル・ファシズム～日本の資産と主権が消える～(NHK 出版新書 655):

日本の資産と主権が消える

(NHK 出版新書)

堤 未果 著

N H K 出版

行政、金融、教育。日本の心臓部である公共システムが、海外資本から狙われている。気鋭の国際ジャーナリストが緻密な取材と膨大な資料をもとに、「日本デジタル化計画」の裏側を明らかにする。

朝日新聞 2022/04/30

2021:8./ 285p
978-4-14-088655-7

¥968〔税込〕



場所からたどるアメリカと奴隷制の歴史～米国史の真実をめぐるダークツーリズム～:

米国史の真実をめぐるダークツーリズム

クリント・スミス 著

原書房

アメリカの歴史は奴隷制の歴史。建国の父トーマス・ジェファーソンのプランテーションをはじめ、アメリカの奴隷制度にゆかりの深い場所を実際に巡り、米国史の深層を描き出すノンフィクション。

朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 375p,17p
978-4-562-07154-8

¥2,970〔税込〕



池上彰の君と考える戦争のない未来(世界をカエル)

(世界をカエル)

池上 彰 著

理論社

戦争とは何か。世界はどんな戦争を経験したのか。池上彰が戦争の変遷、戦争の種類、武器の歴史、戦争のルールや条約の歴史などを丹念に解説し、戦争をなくすためにはどうしたらいいのかを考える。

朝日新聞 2022/04/30

2021:5./ 318p
978-4-652-20365-1

¥1,540〔税込〕



刑事弁護人

薬丸 岳 著

新潮社

ある事情から刑事弁護に使命感を抱く持月凜子は、女性警察官が起こしたホスト殺害事件の弁護をすることになるが…。現代日本の「罪と罰」に挑んだリーガルミステリ。『小説新潮』連載を大幅に加筆修正。

朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 504p
978-4-10-354451-7

¥2,145〔税込〕





尾木ママと考える!ぼくらの新道徳～学習まんが小学生日記～<1> いじめのこと
と: 学習まんが小学生日記, 1

テレスコープ/臨床教育研究所「虹」 著
小学館

変化が著しい今の小学生生活をリアルに描きながら、新しい時代に即した道徳を考えるシリーズ。1は、「いじめのこと」を取り上げ、まんがと解説記事、尾木ママの豊富な経験に基づくアドバイスを収録する。

朝日新聞 2022/04/30

2020:3./ 143p
978-4-09-296690-1

¥1,100 [税込]



現代ロシアの軍事戦略(ちくま新書 1572)
(ちくま新書)

小泉 悠 著
筑摩書房

ロシアはなぜ世界的な大国であり続けられるのか。ドローン、サイバー攻撃などの最新の戦略を駆使し、ハイブリッドな戦争観を磨き上げて返り咲いたロシアの「新しい戦争」を読み解き、未来の世界情勢を占う。

朝日新聞 2022/04/30

2021:5./ 300p,12p
978-4-480-07395-2

¥1,034 [税込]



戦争と法

長谷部 恭男 著
文藝春秋

戦争の攻撃目標は相手の国家の社会契約、つまり憲法原理である。朝鮮戦争、フォークランド紛争、テロとの戦い等を取り上げ、近現代史における戦争のダイナミックな質的変容を、法の視点から浮き彫りにする。

朝日新聞 2022/04/30

2020:7./ 223p
978-4-16-391238-7

¥1,760 [税込]



国衆～戦国時代のもう一つの主役～(平凡社新書 1003): 戦国時代のもう一つの主役
(平凡社新書)

黒田 基樹 著
平凡社

戦国大名が支配した領国の内部には、小規模ながら重要な役割を果たした「国衆」と呼ばれる存在がいた。時代の動向を左右するほどの影響力を持った「国衆」とは何か。具体的な事例を挙げながら詳細に解説する。

朝日新聞 2022/04/30

2022:4./ 236p
978-4-582-86003-0

¥968 [税込]





童の神(ハルキ文庫 時代小説文庫 い24-7)

(ハルキ文庫 時代小説文庫)

今村翔吾 著

角川春樹事務所

平安時代。鬼、土蜘蛛、山姥などと呼ばれ、京人から蔑まれていた「童」たち。一方、父と故郷を奪った京人に復讐を誓った越後生まれの桜暁丸は、様々な出逢いを経て、童たちと共に朝廷軍に決死の戦いを挑むが...

朝日新聞 2022/04/30

2020:6./ 451p
978-4-7584-4342-5

¥880〔税込〕



ルポ貧困大国アメリカ(岩波新書 新赤版)

(岩波新書 新赤版)

堤 未果 著

岩波書店

貧困層は最貧困層へ、中流の人々も尋常ならざるペースで貧困層へと転落していく。急激に進む社会の二極化の足元で何が起きているのか。この流れに抵抗しようとする人々の「新しい戦略」とは何か。現状を報告する。

朝日新聞 2022/04/30

2008:1./ 3,207p
978-4-00-431112-6

¥858〔税込〕



なぜ、いま思考力が必要なのか?~社会に出るあなたに伝えたい~(講談社+α

新書 6-4C): 社会に出るあなたに伝えたい

(講談社+α 新書)

池上 彰 著

講談社

「思考力」とは「自分がよりよく変わる力」-。悩みを解決したり、自分の生きる道を見つけたり、社会と自分との関係を変えたりするときに役立つ「思考力」について解説。思考力を鍛えるための実践なども紹介する。

朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 230p
978-4-06-524693-1

¥990〔税込〕



塞王の楯

今村 翔吾 著

集英社

決して破られない石垣を造ろうとする石工の匠介。しかし、そこに立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るといふ彦九郎の砲。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。『小説すばる』連載を単行本化。

朝日新聞 2022/04/30

2021:10./ 552p
978-4-08-771731-0

¥2,200〔税込〕





じんかん

今村 翔吾 著

講談社

天正5年のある晩、織田信長のもとへ急報が。信長に忠誠を尽くしていたはずの松永久秀が2度目の謀叛を企てたという。だが、意外にも信長は笑みを浮かべ、語り出したのは…。『小説現代』掲載に加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2022/04/30

2020:5./ 509p
978-4-06-519270-2

¥2,090〔税込〕



日本が売られる(幻冬舎新書 つ-4-1)

(幻冬舎新書)

堤 未果 著

幻冬舎

水や米、森や農地、食の安全、個人情報…。日本が誇る貴重な資産を米国や中国、EUなどのハゲタカどもが買い漁っている！マスコミが報道しない衝撃の舞台裏と反撃の戦略を、気鋭の国際ジャーナリストが暴き出す。

朝日新聞 2022/04/30

2018:10./ 291p
978-4-344-98518-6

¥946〔税込〕



「使い捨てられる教師たち」の知られざる実態～非正規教員の研究～: 非正規教員の研究

佐藤 明彦 著

時事通信出版局

非正規教員が今、増え続けている。仕事も能力も正規教員と変わらないのに「使い捨て」、10年前を境に人数や割合の詳細も「ブラックボックス」…。教師という職業に何が起きているのか、教育ジャーナリストが迫る。

朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 167p
978-4-7887-1805-0

¥1,760〔税込〕



憲法とは何か(岩波新書 新赤版)

(岩波新書 新赤版)

長谷部 恭男 著

岩波書店

憲法は何のためにあるのか。立憲主義とはどういう考えか。ときに憲法は人々の生活や生命をも左右する「危険」な存在になりうる。改憲論議が高まりつつある現在、その本質について冷静な考察をうながす「憲法再入門」。

朝日新聞 2022/04/30

2006:4./ 193p
978-4-00-431002-0

¥880〔税込〕





ストーカーとの七〇〇日戦争(文春文庫 う 39-1)

(文春文庫)

内澤 旬子 著

文藝春秋

ネットで知り合った男性との交際から8カ月。ありふれた別れ話から、恋人はストーカーに豹変した。執拗なメール、ネットでの誹謗中傷…。誰からも守られないストーカー被害者の現実を浮き彫りにするノンフィクション。

朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 429p
978-4-16-791850-7
¥1,023〔税込〕



暁の宇品～陸軍船舶司令官たちのヒロシマ～: 陸軍船舶司令官たちのヒロシマ

堀川 恵子 著

講談社

人類初の原子爆弾は、なぜ「ヒロシマ」に投下されなくてはならなかったか。日本の「海の戦争」を支えた輸送基地=宇品港の3人の司令官と、軍都・広島が背負った「宿命」に迫り、日本軍事史上の最重要問題に光を当てる。

朝日新聞 2022/04/30

2021:7./ 389p
978-4-06-524634-4
¥2,090〔税込〕



戦国日本の軍事革命～鉄炮が一変させた戦場と統治～(中公新書 2688): 鉄炮

が一変させた戦場と統治

(中公新書)

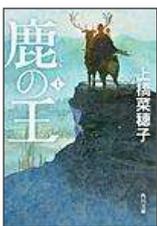
藤田 達生 著

中央公論新社

戦場の光景を一変させた鉄炮の伝来。16世紀の日本にもたらされた軍事革命に着目しながら、それがヨーロッパで誕生した近代国家とは異なった政治思想にもとづく近世国家を生み出したことの、歴史的意義を明らかにする。

朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 7p,222p
978-4-12-102688-0
¥924〔税込〕



鹿の王<1>(角川文庫 う 25-1): 1

(角川文庫)

上橋 菜穂子 著

KADOKAWA

帝国から故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り広げた戦士団の頭ヴァンは岩塩鉱に囚われていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その際に逃げ出したヴァンは幼子を拾い、ユナと名付け、育てるが…。

朝日新聞 2022/04/30

2017:6./ 296p
978-4-04-105489-5
¥704〔税込〕





香君<下> 遙かな道: 下

上橋 菜穂子 著
文藝春秋

オアレ稲に依存してきた帝国に危機が訪れる。次々と災いの連鎖が起きていくなかで、アイシャは、仲間たちとともに、必死に飢餓を回避しようとするのだが…。異郷から風が吹くとき、アイシャたちの運命は大きく動きはじめる。

朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 460p
978-4-16-391516-6
¥1,870〔税込〕



検証安倍政権～保守とリアリズムの政治～(文春新書 1346): 保守とリアリズムの政治
(文春新書)

アジア・パシフィック・イニシアティブ 著
文藝春秋

アベノミクス、憲法改正をめぐる騒動、TPP…。7年8カ月という史上最長政権は何をやろうとし、何を残したのか？ 安倍元首相をはじめ、政権当事者に対する徹底インタビューを軸に、第一線の研究者がその内幕に鋭く迫る。

朝日新聞 2022/04/30

2022:1./ 388p,7p
978-4-16-661346-5
¥1,265〔税込〕



GIGA スクール・マネジメント～「ふつうの先生」が ICT を「当たり前」に使う最先端自治体のやり方ぜんぶ見た。～: 「ふつうの先生」が ICT を「当たり前」に使う最先端自治体のやり方ぜんぶ見た。

佐藤明彦 著
時事通信出版局

全国の公立小中学校の児童生徒 1 人に 1 台の端末環境を導入する「GIGA スクール構想」。先駆的な取り組みで知られる熊本市では、なぜ短期間で ICT 活用が広がったのか。活用促進に向けた教育委員会や現場での実践を紹介。

朝日新聞 2022/04/30

2020:8./ 191p
978-4-7887-1754-1
¥1,760〔税込〕



人間不平等起源論～付「戦争法原理」～(講談社学術文庫 2367): 付「戦争法原理」
(講談社学術文庫)

ジャン=ジャック・ルソー 著
講談社

「人為」で作られされた不平等こそが、人間を惨めで不幸にする。この不平等の起源と根拠を突きとめた上で、不幸を回避する方法はあるのか？ ルソーの名著を清新な日本語で新訳。幻の作品である「戦争法原理」の復元版も併録。

朝日新聞 2022/04/30

2016:6./ 232p
978-4-06-292367-5
¥1,056〔税込〕





香君<上> 西から来た少女: 上

上橋 菜穂子 著

文藝春秋

奇跡の稲、オアレ稲をもたらし、香りで万象を知るという活神<香君>の庇護のもと、帝国は発展を続けてきた。あるとき、オアレ稲に虫害が発生する。人並外れた嗅覚をもつ少女アイシャは、オアレ稲に秘められた謎と向き合い...

朝日新聞 2022/04/30

2022:3/ 435p
978-4-16-391515-9

¥1,870 [税込]



火喰鳥〜羽州ぼろ鳶組〜(祥伝社文庫 い 27-1): 羽州ぼろ鳶組

(祥伝社文庫)

今村 翔吾 著

祥伝社

かつて、江戸随一と呼ばれた武家火消、松永源吾。別名「火喰鳥」。しかし5年前の火事が原因で、今は貧乏浪人暮らし。そんな彼の元に出羽新庄藩から、突然仕官の誘いが...。「ぼろ鳶」と蔑まれる火消集団の一発逆転ストーリー。

朝日新聞 2022/04/30

2017:3/ 444p
978-4-396-34298-2

¥814 [税込]



性的人身取引〜現代奴隷制というビジネスの内側〜(世界人権問題叢書 108):

現代奴隷制というビジネスの内側

(世界人権問題叢書)

シドハース・カーラ 著

明石書店

売春宿、マッサージ店、街角...。世界のあらゆる国の都市や農村に赴いて身の危険を冒しながら現場での潜入調査を試み、またシェルターで何百人もの被害女性たちにインタビューを行い、性的人身取引という巨大産業の実相に迫る。

朝日新聞 2022/04/30

2022:2/ 421p
978-4-7503-5344-9

¥4,400 [税込]



自由なき世界〜フェイクデモクラシーと新たなファシズム〜<下>: フェイクデモクラシーと新たなファシズム, 下

モクラシーと新たなファシズム, 下

池田 年穂 編

ティモシー・スナイダー 著

慶應義塾大学出版会

相次ぐ右派政権の誕生、イギリスのEU離脱、トランプ大統領誕生...。西側を結束させてきた民主主義の価値観は、なぜ動揺し、世界は混乱しているのか。民主主義や法による支配を脅かす、新たなファシズムの台頭に警鐘を鳴らす。

朝日新聞 2022/04/30

2020:3/ 190p,50p
978-4-7664-2666-3

¥2,750 [税込]





天使のナイフ 新装版(講談社文庫 や 61-12): 新装版

(講談社文庫)

薬丸 岳 著

講談社

犯人は、13歳の少年だった。娘の目の前で、松山貴志の妻は殺された。犯人が13歳の少年3人だったため、罪に問われることはなかった。4年後、犯人の1人が殺され、松山が疑われる。「殺してやりたかった。でも俺は殺していない」。法とは、正義とは。デビュー作にして、少年犯罪小説・唯一無二の金字塔。

朝日新聞 2022/04/30

2021:8./ 442p
978-4-06-523766-3

¥924〔税込〕



病いの会話〜ネパールで糖尿病を共に生きる〜: ネパールで糖尿病を共に生きる

中村 友香 著

京都大学学術出版会

阿鼻叫喚とカオスのように見えるネパールの医療現場。そこには身体経験を患者と他者が共有することで不安を解く<不器用な>生活実践があった。二型糖尿病患者たちに焦点を当て、病いの会話とそこにある関係性を明らかにする。

朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 8p,383p
978-4-8140-0394-5

¥4,730〔税込〕



橙が実るまで

田尻久子 著

スイッチ・パブリッシング

幼い頃に拾った猫、大好きだった祖父との思い出、家族の死。熊本「橙書店」店主・田尻久子の自伝的エッセイに、写真家・川内倫子が自身の撮影した写真で応えていく写真集。『SWITCH』連載を加筆修正し単行本化。

朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 253p
978-4-88418-587-9

¥2,970〔税込〕



なぜ人類は戦争で文化破壊を繰り返すのか

ロバート・ベヴァン 著

原書房

ナチスのホロコースト、チベット問題、世界貿易センタービル、パーミヤンの仏像...。人命だけでなく、建築物や文化財も破壊する戦争や内乱。民族や共同体自体を消し去る行為でもある文化破壊の構造を探る。

朝日新聞 2022/04/30、日本経済新聞 2022/04/30

2022:2./ 378p
978-4-562-07146-3

¥2,970〔税込〕



道徳教室〜いい人じゃなきゃダメですか〜: いい人じゃなきゃダメですか

高橋 秀実 著

ポプラ社

小・中学校の正式教科となった「道徳」。いったい何を学ぶの? 独特の視点とユーモラスな文章で日常に光を当てるノンフィクション作家が、「ニッポンの道徳」を考察するエッセイ。『WEB asta*』連載他を書籍化。

朝日新聞 2022/04/30、日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 326p
978-4-591-17326-8

¥1,760〔税込〕





話すことを話す～きちんと声を上げるために～: きちんと声を上げるために

キム・ハナ 著

CCCメディアハウス

間の技術、講演で緊張しない方法、沈黙…。韓国の敏腕コピーライターが、日常の会話や講演、配信、インタビューなどあらゆる場面で人と話して見つけた、小手先のテクニックや話術とはひと味違う「話し方の技術」について綴る。

東京・中日新聞 2022/04/02

2022:3./ 204p
978-4-484-22103-8

¥1,650〔税込〕



幻の小川紳介ノート～1990年トリノ映画祭訪問記と最後の小川プロダクション～: 1990年トリノ映画祭訪問記と最後の小川プロダクション

小川紳介／小川洋子 著

ブレンセンター

ドキュメンタリー映画界の巨匠・小川紳介の、1990年トリノ映画祭訪問記。見た、食った、喋ったの詳細な記録であり、一人の「映画青年」にして映画作家による優れた映画論。小川プロ全作品フィルモグラフィも収録。

東京・中日新聞 2022/04/03

2022:2./ 251p
978-4-8339-0621-0

¥2,200〔税込〕



春のこわいもの

川上 未映子 著

新潮社

ギャラ飲み志願の女、親友をひそかに裏切りつづけた作家、大切な手紙を失くした高校生、寝たきりの老女…。感染症が爆発的流行を起こす直前の、東京の男女6人の体験を描く。オーディオブック『Audible』配信を書籍化。

東京・中日新聞 2022/04/03、朝日新聞 2022/04/16

2022:2./ 201p
978-4-10-325626-7

¥1,760〔税込〕



家族

村井 理子 著

亜紀書房

時代が良ければ、場所が良ければ、もしかしたら今も3人は生きていて、年に一度ぐらいいは集まって、笑い合いながら近況報告ができていたのかもしれない。何度も手痛く裏切られ、それでも愛していた家族の姿を描いた実話。

東京・中日新聞 2022/04/03、毎日新聞 2022/04/09

2022:1./ 189p
978-4-7505-1722-3

¥1,540〔税込〕



奏鳴曲～北里と?外～: 北里と?外

海堂 尊 著

文藝春秋

ドイツ留学を経て、ペスト菌を発見し、“日本の細菌学の父”の異名を持つ北里柴三郎。同時期にドイツで学び、軍医総監にまで上り詰めた森?外。感染症との終わりなき闘いに挑んだ2人の医師の「栄光」と「蹉跌」を描く。

東京・中日新聞 2022/04/10

2022:2./ 453p
978-4-16-391500-5

¥2,200〔税込〕





探訪〜ローカル番組の作り手たち〜: ローカル番組の作り手たち

隈元 信一 著
はる書房

日本列島の津々浦々で面白いラジオ・テレビの番組が作られている。その背景を突き詰めていくと、「時代の方向」が見えてくる。熱き思いに突き動かされている作り手を探して訪ね、話を聞く。『民放』連載他を書籍化。

東京・中日新聞 2022/04/10

2022:2./ 228p
978-4-89984-199-9

¥1,650〔税込〕



生命の罅 川端康成と「特攻」

多胡吉郎 著
現代書館

1945年4月、海軍報道班員として、鹿児島県鹿屋の特攻基地に降り立った川端康成。「美しい日本の私」を語った大作家の、心の内側に抱えた真実を探る。同人誌『火山地帯』連載をもとに書籍化。テキストデータの請求券付き。

東京・中日新聞 2022/04/10、日本経済新聞 2022/04/16

2022:2./ 342p
978-4-7684-5916-4

¥2,970〔税込〕



検証政治改革〜なぜ劣化を招いたのか〜(岩波新書 新赤版 1915): なぜ劣化を招いたのか
(岩波新書 新赤版)

川上 高志 著
岩波書店

「一強」政治ゆえの驕り、進む国会軽視…。平成の政治改革が期待された効果を上げず、かえって政治の劣化を招いたのはなぜか。ファクトにもとづいて検証、その原因を探り、令和の時代にふさわしい新しい政治改革を提言する。

東京・中日新聞 2022/04/10、毎日新聞 2022/04/16

2022:2./ 12p,250p
978-4-00-431915-3

¥990〔税込〕



2030 半導体の地政学〜戦略物資を支配するのは誰か〜: 戦略物資を支配するのは誰か

太田 泰彦 著
日本経済新聞出版社

米中对立の激化に伴い、戦略物資として注目が高まる半導体。その需給が世界経済に影響を及ぼしている。技術覇権をめぐる国家間のゲームを地政学的な視点で読み解き、日本の半導体の将来を展望する。

東京・中日新聞 2022/04/16

2021:11./ 285p
978-4-532-32441-4

¥1,980〔税込〕





エビはすごいカニもすごい～体のしくみ、行動から食文化まで～(中公新書 2677): 体のしくみ、行動から食文化まで
(中公新書)

矢野 勲 著

中央公論新社

なぜエビ・カニは茹でると赤くなるのか。なぜエビは跳びはね、カニは爪先で歩くのか。エビ・カニとシャコやヤドカリとの違いとは。多種多彩なエビ・カニの、体のしくみやすごい生き方を紹介する。

東京・中日新聞 2022/04/17

2021:12./ 4p,264p
978-4-12-102677-4

¥990〔税込〕



人間研究 西城秀樹

塩澤 幸登 著

河出書房新社

全力を尽くして歌い、踊り、演じて、そして生きた西城秀樹。さまざまな分野の人たちの証言を通して彼の仕事ぶり、人となり、考え方を探るとともに、ファンたちが彼から何を感じ、何をメッセージとして受け取っていたかを綴る。

東京・中日新聞 2022/04/17

2022:2./ 575p
978-4-309-92238-6

¥2,970〔税込〕



中央線小説傑作選(中公文庫 な 78-1)
(中公文庫)

南陀楼 綾繁 編

中央公論新社

井伏、太宰をはじめ多くの文士が居を構えた「中央線」沿線。五木寛之「こがね虫たちの夜」、井伏鱒二「阿佐ヶ谷会」、原民喜「心願の国」など、私小説からミステリまで、中央線を舞台に紡がれた多彩な 11 篇を収録する。

東京・中日新聞 2022/04/23、毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 336p
978-4-12-207193-3

¥990〔税込〕



交響する経済学～経済学はどう使うべきか～(ちくま学芸文庫 ナ 31-1): 経済学はどう使うべきか
(ちくま学芸文庫)

中村 達也 著

筑摩書房

経済政策の表舞台に立ったケインズをはじめ、スラッフア、シューマッハーらによって書かれた、様々な問題への処方箋を紹介する。無数に枝分かれした各経済学派の特徴と、その目指すところも解説する。

東京・中日新聞 2022/04/24

2022:2./ 389p
978-4-480-51108-9

¥1,430〔税込〕





明治伏魔殿～開化奇譚集～：開化奇譚集

野口 武彦 著
講談社

文明とは、ある可能性の粉碎であり、開化とは、挫折した夢と怨みの上に咲いた花である。ありえたかもしれない未来と希望のもつれを解きほぐす、ネオフィクション全5編。『群像』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

東京・中日新聞 2022/04/24

2022:2./ 245p
978-4-06-526966-4
¥2,310〔税込〕



五色のメビウス～「外国人」とともにはたらきともにいきる～：「外国人」とともにはたらきともにいきる

信濃毎日新聞社 編
明石書店

外国人技能実習、特定技能、留学生、日系人労働者、外国人花嫁、非正規滞在、入管問題…。新型コロナウイルスの感染が拡大するなかでの外国人労働者問題に切り込んだ『信濃毎日新聞』の連載キャンペーンを書籍化。

東京・中日新聞 2022/04/24

2022:3./ 388p
978-4-7503-5316-6
¥1,980〔税込〕



飛ばないトカゲ～ようこそ!サイエンスの「森」へ～：ようこそ!サイエンスの「森」へ

小林 洋美 著
東京大学出版会

イカはエビが好き? 日常の不思議を最新の心理学や行動学等の研究を紹介しながら読み解いていく面白科学エッセイ第2弾。「続・モアイの白目」も収録。実験動画を見られるQRコードつき。『UP』『眼科ケア』連載を書籍化。

東京・中日新聞 2022/04/24

2022:2./ 12p,208p
978-4-13-013316-6
¥2,750〔税込〕



**太陽の季節 改版(新潮文庫): 改版
(新潮文庫)**

石原 慎太郎 著
新潮社
読売新聞 2022/04/03

2010:12./ 349p
978-4-10-111901-4
¥649〔税込〕



**時が滲む朝(文春文庫 や48-2)
(文春文庫)**

楊 逸 著
文藝春秋

中国の民主化に傾倒する若者を中心として、激動の時代とその後を描いた芥川賞受賞作。日本と中国を舞台に人の生き様を問う傑作

読売新聞 2022/04/03

2011:2./ 164p
978-4-16-778602-1
¥594〔税込〕





忘却の野に春を想う

姜 信子／山内 明美 著

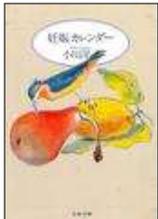
白水社

朝鮮からのコメ難民の一族に生まれた姜信子と、南三陸のコメ農家に生まれた歴史社会学者・山内明美による、近代を問い、命を語る往復書簡。白水社ウェブサイト連載に加筆修正。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 256p
978-4-560-09877-6

¥2,420〔税込〕



妊娠カレンダー(文春文庫)

(文春文庫)

小川 洋子 著

文芸春秋

姉が出産する病院は、神秘的な器具に満ちた不思議の国……妊娠をきっかけにゆるぐ現実を描く芥川賞受賞作。「妊娠カレンダー」「ドミトリイ」「夕暮れの給食室と雨のプール」(松村栄子)

読売新聞 2022/04/03

1994:2./ 202p
978-4-16-755701-0

¥594〔税込〕



ひらいて(新潮文庫 わ-13-1)

(新潮文庫)

綿矢 りさ 著

新潮社

怖れを知らない女子高生が、哀しい目の男子に恋をした。熱い思いは勢いあまり、彼の恋人に向けられて…。自分本位に、あたりをなぎ倒しながら疾走する初めての恋。人間の根源的な愛を問う長篇小説。

読売新聞 2022/04/03

2015:2./ 189p
978-4-10-126651-0

¥539〔税込〕



推し、燃ゆ

宇佐見 りん 著

河出書房新社

ままならない人生を引きずり、祈るようにアイドル上野真幸を推すあかり。ある日、真幸がファンを殴って炎上し…。デビュー作「かか」が三島賞候補になった21歳の第2作。『文藝』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/04/03

2020:9./ 125p
978-4-309-02916-0

¥1,540〔税込〕



限りなく透明に近いブルー(講談社文庫)

(講談社文庫)

村上 龍 著

講談社

デビュー作が待望の新装版として登場！米軍基地近くのハウスを舞台に、麻薬とセックスに明け暮れる若者を描いて話題をさらった著者のデビュー作。群像新人賞、芥川賞を受賞した鮮烈な文学が再び蘇る！

読売新聞 2022/04/03

2009:4./ 164 p
978-4-06-276347-9

¥550〔税込〕





おらおらでひとりいぐも(河出文庫 わ7-1)

(河出文庫)

若竹 千佐子 著

河出書房新社

「この先一人でどやって暮らす。こまったあどうすんべえ」捨てた故郷、疎遠な息子と娘、亡き夫への愛。震えるような悲しみの果てに、74歳の桃子さんが辿り着いた、圧倒的自由と賑やかな孤独とは。

読売新聞 2022/04/03

2020:6./ 191p
978-4-309-41754-7

¥693〔税込〕



蹴りたい背中(河出文庫)

(河出文庫)

綿矢 りさ 著

河出書房新社

ハツトにな川はクラスの余り者同士。ある日ハツは、オリチャンというモデルのファンである彼の部屋に招待されるが……文学史上の事件となった百二十七万部のベストセラー、史上最年少十九歳での芥川賞受賞作。

読売新聞 2022/04/03

2007:4./ 183p
978-4-309-40841-5

¥495〔税込〕



島田雅彦芥川賞落選作全集<上>(河出文庫 し2-3): 上

(河出文庫)

島田 雅彦 著

河出書房新社

デビューからわずか4年で、芥川賞に6回ノミネートされ、6回落選した現・芥川賞選考委員、島田雅彦の華麗なる落選の軌跡にして初期傑作集。上は、デビュー作「優しいサヨクのための嬉遊曲」など全3編を収録。

読売新聞 2022/04/03

2013:6./ 337p
978-4-309-41222-1

¥1,100〔税込〕



客家と毛沢東革命～井冈山闘争に見る「民族」問題の政治学～: 井冈山闘争に見る「民族」問題の政治学

藤野 彰 著

日本評論社

江西・湖南省境の井冈山から始まった毛沢東の農村革命。根拠地の主要な族群(エスニック・グループ)であった客家(ハッカ)と革命の関係性を切り口に、中国共産党に特有の思考径路と政治的論理を明らかにする。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 14p,518p
978-4-535-52591-7

¥6,600〔税込〕





不思議の国ニッポン～海外メディアは見た～(講談社現代新書 2651): 海外メディアは見た
(講談社現代新書)

クーリエ・ジャポン 編
講談社

なぜ日本人は銀メダルでも謝罪するのか? なぜ日本人の自殺率は高いのか? なぜ日本人は義理チョコを贈るのか? 外国人記者たちの疑問を列挙する。海外メディアだから書けた、日本の「いま」、そして「未来」。

読売新聞 2022/04/03

2022:2./ 252p
978-4-06-527484-2

¥990〔税込〕



ないものねだるな

阿川 佐和子 著
中央公論新社

コロナ禍で激変した生活、母亡き後の実家の片づけ、忍び寄る老化現象…。「なんのこれしき!」と奮闘の日々を綴った、アガワ流「あるもので乗り越える」人生のコツ。『婦人公論』連載から 41 編を選んで単行本化。

読売新聞 2022/04/03

2022:2./ 243p
978-4-12-005497-6

¥1,430〔税込〕



コンビニ人間(文春文庫 む 16-1)

(文春文庫)

村田 沙耶香 著
文藝春秋

36 歳未婚女性、古倉恵子。大学卒業後も就職せず、コンビニのバイトは 18 年目。これまで彼氏なし。ある日、婚活目的の新入り男性、白羽がやってくる、そんなコンビニの生き方は恥ずかしいと突きつけられるが…。

読売新聞 2022/04/03

2018:9./ 168p
978-4-16-791130-0

¥660〔税込〕



しりあがり×北斎～ちょっと可笑的なほぼ三十六景～: ちょっと可笑的なほぼ三十六景

しりあがり 寿 著
小学館

しりあがり寿が葛飾北斎の作品を独自に解釈したパロディ作品集。「富嶽三十六景」の<凱風快晴><神奈川冲浪裏>をはじめとする北斎の傑作に大胆なアレンジを加えた、いたずら心あふれる作品を多数収録。英文併記。

読売新聞 2022/04/03

2022:2./ 203p
978-4-09-682378-1

¥2,200〔税込〕





島田雅彦芥川賞落選作全集<下>(河出文庫 し 2-4): 下

(河出文庫)

島田 雅彦 著

河出書房新社

デビューからわずか4年で、芥川賞に6回ノミネートされ、6回落選した現・芥川賞選考委員、島田雅彦の華麗なる落選の軌跡にして初期傑作集。下は、代表作「僕は模造人間」など全3編を収録。綿矢りさとの対談も掲載。

読売新聞 2022/04/03

2013:6./ 370p
978-4-309-41223-8

¥1,100 [税込]



家計・企業の金融行動から見た中国経済～「高貯蓄率」と「過剰債務」のメカニズムの解明～: 「高貯蓄率」と「過剰債務」のメカニズムの解明

唐 成 著

有斐閣

経済構造転換期にある中国経済が、持続的成長を維持するためには。ミクロとマクロ両面のデータを駆使し、少子高齢化やデジタル化が進行する中国における家計・企業・銀行の変貌を読み解き、中国経済の将来を展望する。

読売新聞 2022/04/03

2021:12./ 15p,211p
978-4-641-16591-5

¥4,400 [税込]



帰れない村～福島県浪江町「DASH村」の10年～(集英社文庫 み 54-4): 福島県浪江町「DASH村」の10年

福島県浪江町「DASH村」の10年

(集英社文庫)

三浦 英之 著

集英社

東日本大震災から10年以上経った今でも、住民が1人も帰れない「村」がある。福島県浪江町にある「旧津島村」。気鋭のルポライターが、原発事故で引き裂かれた人々の苦悩を描く。『withnews』連載を加筆・修正。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 245p
978-4-08-744344-8

¥682 [税込]



かわいそうだね?(文春文庫 わ 17-2)

(文春文庫)

綿矢 りさ 著

文藝春秋

彼氏が元カノを居候させだしたり、美人の親友にいつも隣に並べられたり、女ってほんとに厄介-。滑稽でブラックで、でも愛おしい女同士の世界。誰もが心に押しこめていた本音がこぼれる瞬間をとらえた2篇を収録。解説つき。

読売新聞 2022/04/03

2013:12./ 267p
978-4-16-784002-0

¥638 [税込]





将棋記者が迫る棋士の勝負哲学

村瀬信也 著
幻冬舎

藤井聡太、渡辺明、豊島将之、羽生善治…。挫折と敗北を繰り返しながら、彼らはなぜ戦い続けるのか？ トップ棋士 21 人を徹底取材し、将棋指しの知られざる真の姿に迫る。『幻冬舎 plus』連載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 245p 図版 8
枚
978-4-344-79064-3
¥1,650〔税込〕



私の脳で起こったこと〜「レビー小体型認知症」の記録〜(ちくま文庫 ひ

30-1): 「レビー小体型認知症」の記録
(ちくま文庫)

樋口 直美 著
筑摩書房

若天性レビー小体型認知症患者本人による、自己観察と思索の記録。孤独と絶望の中にありながら、幻覚(幻視、幻聴など)、嗅覚障害、自律神経症状など自分に起きたことを日記形式で淡々と観察し、卓越した文章力で表現する。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 299p
978-4-480-43789-1
¥880〔税込〕



出身成分(角川文庫 ま 26-752)

(角川文庫)

松岡 圭祐 著
KADOKAWA

11 年前の殺人・強姦事件の再捜査を命じられた、平壤郊外の保安署員クム・ヨンイル。謎の男の存在に辿り着くが、自国の体制に疑問を抱き始め…。鉄壁な国家が作り出す恐怖と個人の尊厳を緻密に描き出す、社会派ミステリ長編。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 334p
978-4-04-112295-2
¥770〔税込〕



英語が出来ません

刀祢館 正明 著
KADOKAWA

なんでこうなの、ニッポンの英語。自らも辛酸をなめてきた一記者が、学生から自動翻訳の研究者まで、様々な人々や業界を 30 年近くにわたり取材。英語に翻弄され続ける日本人の姿を追う。『朝日新聞』等連載を大幅に加筆修正。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 268p
978-4-04-400549-8
¥1,870〔税込〕





旧皇族の宗家・伏見宮家に生まれて～伏見博明オーラルヒストリー～：伏見博明
 明オーラルヒストリー

古川 江里子／小宮 京 編

伏見 博明 著

中央公論新社

皇族と民間人の二つの人生を歩んだ、旧伏見宮家第二十四代当主、伏見博明。祖父・博恭王の思い出、現上皇との日光疎開、皇籍離脱などについて語る。2019年12月から2021年9月に行われた聞き取り調査をもとに書籍化。

読売新聞 2022/04/03

2022:1./ 9p,198p
 978-4-12-005495-2

¥2,640〔税込〕



悪い言語哲学入門(ちくま新書 1634)

(ちくま新書)

和泉 悠 著

筑摩書房

「あんたバカあ?」「だって女/男の子だもん」...。何気なく使う言葉にも、悪い言葉がたくさん潜んでいる。その言葉はどこが悪いのか? 言葉の善悪の問題を哲学、言語学の観点から解き明かす。『フィルカル』連載を加筆修正。

読売新聞 2022/04/03

2022:2./ 247p

978-4-480-07455-3

¥924〔税込〕



日蝕・一月物語(新潮文庫) 397p 2011

(新潮文庫)

平野 啓一郎 著

新潮社

錬金術の秘蹟、金色に輝く両性具有者(アンドロギュノス)、崩れゆく中世キリスト教世界を貫く異界の光.....。華麗な筆致と壮大な文学的探求で、芥川賞を当時最年少受賞した衝撃のデビュー作「日蝕」。明治三十年の奈良十津川村。蛇毒を逃れ、運命の女に魅入られた青年詩人の胡蝶の夢の如き一瞬を、典雅な文体で描く「一月物語」。閉塞する現代文学を揺るがした二作品を収録し、平成の文学的事件を刻む。

読売新聞 2022/04/03

2011:1./ 397p

978-4-10-129040-9

¥737〔税込〕



司書になった本の虫

早坂 信子 著

郵研社

昔、図書館にあった目録カード、押印背ラベル。近世文化史研究に取り組む中で出会った江戸時代の図書館。稿本という夢の形...。司書ひとすじの「本の虫」が、図書館や本について綴る。レファレンスに関するコラムも掲載。

読売新聞 2022/04/03

2021:11./ 238p 図版

8 枚

978-4-907126-46-9

¥2,420〔税込〕



つゆのあとさき 改版(岩波文庫): 改版

(岩波文庫)

永井 荷風 著

岩波書店

読売新聞 2022/04/10

1987:3./ 157p

978-4-00-310414-9

¥528〔税込〕





文字世界で読む文明論～比較人類史七つの視点～(講談社現代新書 2578): 比較人類史七つの視点
(講談社現代新書)

鈴木 董 著
講談社

科挙はなぜ中国内部の凝集力を高めたのか? 古代ローマと現代アメリカに共通する限界とは? 洋装はいかに非西欧世界に受容されたか? 古今東西の出来事を題材に、碩学が描く新しい文明史。

読売新聞 2022/04/10

2020.7./ 252p
978-4-06-520147-3
¥1,034〔税込〕



献灯使(講談社文庫 た 74-4)
(講談社文庫)

多和田 葉子 著
講談社

大災厄に見舞われた後、鎖国状態の日本。死を奪われた世代の老人・義郎には、体が弱い曾孫・無名をめぐる心配事が尽きない。やがて無名は「献灯使」として海外へ旅立つ運命に…。全5編を収録。

読売新聞 2022/04/10

2017.8./ 268p
978-4-06-293728-3
¥715〔税込〕



鼻行類～新しく発見された哺乳類の構造と生活～(平凡社ライブラリー): 新しく発見された哺乳類の構造と生活
(平凡社ライブラリー)

H. シュテュンプケ、日高 敏隆、羽田 節子 著
平凡社

1941年に発見されたハイアイアイ群島。そこでは鼻で歩く一群の哺乳類=鼻行類が独自の進化を遂げていた。多くの動物学者に衝撃を与えた驚くべき鼻行類の観察記録。1995年博品社刊の再刊。

読売新聞 2022/04/10

1999.5./ 152p
978-4-582-76289-1
¥880〔税込〕



無名亭の夜

宮下 遼 著
講談社

東京の場末の「店」で、「彼」は店主の従弟が語る不思議な物語に耳を傾ける。それは、遙か遠いオスマン帝国の時代の物語だった-。表題作と「ハキルファキル」の全2編を収録。『群像』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/04/10

2015.8./ 218p
978-4-06-219516-4
¥1,870〔税込〕





エリートと教養～ポストコロナの日本考～(中公新書ラクレ 753): ポストコ
ロナの日本考
(中公新書ラクレ)

村上 陽一郎 著
中央公論新社

政治家は「言葉の力」で人々の共感を醸成できるのか。専門家は学知を社会にどのよ
うに届けるべきか。政治、日本語、音楽、生命など多角的な切り口から、リベラル・
アーツとは異なる「教養」の本質をあぶり出す。

読売新聞 2022/04/10

2022:2./ 254p
978-4-12-150753-2
¥946〔税込〕



わたしの名は赤<上> 新訳版(ハヤカワ e p i 文庫 66 ハ 2-1) : 上, 新訳版
(ハヤカワ e p i 文庫)

オルハン・パムク 著
早川書房

1591年冬。オスマン帝国の首都イスタンブルで細密画師が殺された。カラは、秘密裡
に製作されている装飾写本の作業を監督する叔父の手助けをしているうちに、美貌の
従妹シェキュレへの恋心を募らせていくが...

読売新聞 2022/04/10

2012:1./ 431p
978-4-15-120066-3
¥1,100〔税込〕



**対テロ工作員になった私～「ごく普通の女子学生」が CIA にスカウトされて
～: 「ごく普通の女子学生」が CIA にスカウトされて**

トレイシー・ワルダー／ジェシカ・アニャ・ブラウ 著
原書房

教師志望の私は就職フェアで CIA にスカウトされ、何も分からぬまま対テロ工作員と
して中東など世界各地でスパイ活動に従事することになり...。情報の最前線を経験し
た「普通の女子学生」によるスリリングな手記。

読売新聞 2022/04/10

2022:2./ 308p
978-4-562-07153-1
¥2,640〔税込〕



ビール職人の秘密と推理(創元推理文庫 M ア 19-3)
(創元推理文庫)

エリー・アレグザンダー 著
東京創元社

ビールで有名なアメリカの小さな町で、選挙を控えた市議会議員が殺された。彼はこ
ともあろうに禁酒政策を推し進めようとしていた。容疑者とされた人物から頼まれ
て、ビール職人のわたしは聞き込みを進めていくが...

読売新聞 2022/04/10

2022:3./ 342p
978-4-488-11709-2
¥1,210〔税込〕





コロナ危機と欧州・フランス～医療制度・不平等体制・税制の改革へ向けて～
～: 医療制度・不平等体制・税制の改革へ向けて

尾上 修悟 著

明石書店

コロナ流行の一大震源地になったフランスを中心対象として、政治、経済、社会すべての複合的危機を生んだ欧州のメカニズムを分析。西洋・グローバリゼーションモデルに対する、今後のポストコロナの世界を展望する。

読売新聞 2022/04/10

2022:2./ 346p
978-4-7503-5342-5

¥3,080〔税込〕



世界をつくった6つの革命の物語～新・人類進化史～: 新・人類進化史

スティーブン・ジョンソン 著

朝日新聞出版

ガリレオは祭壇ランプに何を見たか?古代洞窟に歌は響いたか?イヌイットの瞬間冷凍とは?「ガラス」「冷たさ」「音」「清潔」「時間」「光」という、文明を変えた6つの大発明を切り口に、人類進化の歴史をひもとく。

読売新聞 2022/04/10

2016:8./ 339p
978-4-02-331530-3

¥2,090〔税込〕



歌舞伎座の怪紳士(徳間文庫 こ 35-6)

(徳間文庫)

近藤史恵 著

徳間書店

家事手伝いの岩居久澄が、祖母に頼まれた観劇代行のアルバイト。久澄は徐々に芝居の世界にのめり込んでいく。けれど、一つ疑問があった。劇場でいつも会う親切な老紳士。あの人はいったい何者...? 劇場型ミステリー。

読売新聞 2022/04/10

2022:3./ 313p
978-4-19-894726-2

¥781〔税込〕



いわしバターを自分で(文春文庫 ひ 20-13)

(文春文庫)

平松 洋子 著

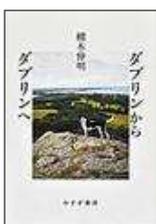
文藝春秋

緊急事態宣言? それならばと余った牛乳を大量に煮詰め、日本版チーズ「蘇」に挑戦。巣ごもりの気晴らしには「ふきのとうの春巻き」を作ってみる-。コロナ禍の食意地に効く美味エッセイ。『週刊文春』連載を文庫化。

読売新聞 2022/04/10

2022:3./ 271p
978-4-16-791847-7

¥737〔税込〕



ダブリンからダブリンへ

栩木伸明 著

みすず書房

核心にあるのは「ことば」と「ひとびと」への熱い思い-。紀行文の名手が綴った過去20年間の探訪記や見聞録、ひとやモノ、詩や映画との出会いをめぐる文章などをまとめる。『日本経済新聞』『図書』ほか掲載を書籍化。

読売新聞 2022/04/10

2022:1./ 355p
978-4-622-08893-6

¥4,400〔税込〕





人間晩年図巻<2008-11年3月11日>: 2008-11年3月11日

関川 夏央 著
岩波書店

あの人はどんな晩年を送ったのか。彼らが世を去ったのはいかなる時代だったのか。2000年代を舞台に、世界的スターから市井の人まで、同時代人たちの晩年を描き出す。2008-11年は、忌野清志郎、飯島愛らを収録。

読売新聞 2022/04/10

2021:12./ 8p,248p
978-4-00-061507-5

¥2,090〔税込〕



昭和・東京・食べある記(朝日新書 853)

(朝日新書)

森まゆみ 著

朝日新聞出版

昭和のなつかしき漂う名飲食店があちこちにある東京。「安くてうまい料理」と、その裏にある、作る人・食べる人が織りなす「おいしい物語」を地域誌『谷中・根津・千駄木』創刊者の作家が食べ、かつ聞き歩いた食エッセー。

読売新聞 2022/04/10

2022:2./ 317p
978-4-02-295164-9

¥979〔税込〕



絡まり合う生命～人間を超えた人類学～: 人間を超えた人類学

奥野 克巳 著

亜紀書房

ボルネオの闇夜の森で微睡む人類学者は、自分がアリの世界の一員となったと感じて…。「この世界は人間だけのものではない」という深い実感から出発し、動物、死者、そして生命そのものへと向かう全く新しい人類学の探求。

読売新聞 2022/04/10

2021:12./ 370p
978-4-7505-1724-7

¥2,200〔税込〕



人間晩年図巻<2004-07年>: 2004-07年

関川 夏央 著
岩波書店

あの人はどんな晩年を送ったのか。彼らが世を去ったのはいかなる時代だったのか。2000年代を舞台に、世界的スターから市井の人まで、同時代人たちの晩年を描き出す。2004-07年は、青島幸男、初代貴ノ花らを収録。

読売新聞 2022/04/10

2021:11./ 7p,254p
978-4-00-061506-8

¥2,090〔税込〕



物語イスタンブールの歴史～「世界帝都」の1600年～(中公新書 2663): 「世

界帝都」の1600年

(中公新書)

宮下 遼 著

中央公論新社

城壁に囲まれた旧市街、西欧化の象徴である新市街、東の玄関口アジア岸、そして近代のメガシティ。ビザンツとオスマン、2つの帝国支配の舞台となったイスタンブールの案内記。東洋と西洋が交わり紡いだ都市の物語を綴る。

読売新聞 2022/04/10

2021:9./ 5p,284p
978-4-12-102663-7

¥1,012〔税込〕





それいけ!方言探偵団(平凡社新書 993)

(平凡社新書)

篠崎 晃一 著

平凡社

おがる、ねろねろ、ちんぷりかえる、よんにゅ...。北は北海道から南は沖縄まで、いざ、魅力溢れる方言の世界へ! 方言学が専門のシノザキ先生が集めに集め、書きに書いた『読売新聞』の連載から選りすぐりの212語を収録。

読売新聞 2022/04/10

2021.12./ 277p
978-4-582-85993-5

¥924〔税込〕



人間晩年図巻<2000-03年>: 2000-03年

関川 夏央 著

岩波書店

あの人はどんな晩年を送ったのか。彼らが世を去ったのはいかなる時代だったのか。2000年代を舞台に、世界的スターから市井の人まで、同時代人たちの晩年を描き出す。2000-03年は、山田風太郎、ナンシー関らを収録。

読売新聞 2022/04/10

2021.10./ 7p,250p
978-4-00-061496-2

¥2,090〔税込〕



ペスト大流行～ヨーロッパ中世の崩壊～(岩波新書 黄版 225) : ヨーロッパ

中世の崩壊

(岩波新書)

村上 陽一郎 著

岩波書店

十四世紀中葉、黒死病とよばれたペストの大流行によって、ヨーロッパでは三千万近くの人びとが死に、中世封建社会は根底からゆり動かされることになった。記録に残された古代いらいのペスト禍をたどり、ペスト流行のおそろべき実態、人心の動揺とそれが生み出すパニック、また病因をめぐる神学上・医学上の論争を克明に描く。

読売新聞 2022/04/10

1983.3./ 192p
978-4-00-420225-7

¥836〔税込〕



プロ野球元審判は知っている(ワニブックス|PLUS|新書 351)

(ワニブックス|PLUS|新書)

佐々木 昌信 著

ワニブックス

外国人選手の悪口に猛反撃、“ビッグボス”新庄の外野守備は一級品、星野監督の意外な一言...。通算2414試合出場のプロ野球元審判が、マスク越しに見てきた超一流選手たちのプレーとその舞台裏を惜しみなく語る。

読売新聞 2022/04/10

2022.3./ 221p
978-4-8470-6671-9

¥990〔税込〕





戦時改描図論考～偽装された地形図～: 偽装された地形図

山田 誠 著

海青社

兵営等の表示を削除し、表現内容の一部を改ざんした戦時改描図。調査研究の手順や時代的背景などを解説し、近畿地方・京都近傍・東京近傍・北海道・日本統治期の台湾の地形図の改描の事例を考察。戦時改描図の実態を解明する。

読売新聞 2022/04/10

2021.12./ 268p
978-4-86099-388-7

¥4,620〔税込〕



生まれつき翻訳～世界文学時代の現代小説～: 世界文学時代の現代小説

レベッカ・L・ウォルコウィッツ/レベッカ・L・ウォルコウィッツ 著

松籟社

文学の翻訳と流通の規模が拡大した今日、多くの小説は当初から翻訳を見越して書かれ、また、翻訳をその内部にあらかじめ組み入れている。翻訳という営みから考究する、画期的な世界文学論。日本語版特別寄稿も収録。

読売新聞 2022/04/10

2021.12./ 453p
978-4-87984-417-0

¥4,400〔税込〕



柳田國男先生随日記

今野 圓輔 著

河出書房新社

太平洋戦争開戦1か月前。東京から九州まで、柳田國男の九州講演旅行に同行した著者による、17日間の鉄道紀行。辛辣かつユーモラスな、柳田國男の素の姿が伝わる貴重な記録。「随行後記」「先生との対話抄」も収録。

読売新聞 2022/04/10、毎日新聞 2022/04/23

2022.3./ 211p
978-4-309-03031-9

¥2,475〔税込〕



日本文学大全集～1901→1925～: 1901→1925

指田菜穂子 著

アートダイバー

芸術家・指田菜穂子の作品集。明治34年から大正14年までに発表された小説25篇を選び、小説が発表された「年」を主題に、小説の内容、その年に起こった事件や話題となった人物、商品などを絵画化する。

読売新聞 2022/04/10、毎日新聞 2022/04/30

2022.2./ 151p
978-4-908122-16-3

¥2,750〔税込〕



夢みごころ 新版: 新版

フジモトマサル 著

平凡社

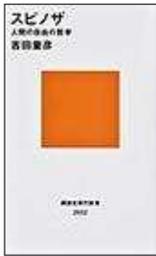
反転し続けるふたりの記憶。夢から現へ、現から夢へ。ループする終わりなき悪夢の果ては? フジモトマサルが描く、ディストピア・コミック。村上春樹の解説を加えた新版。

読売新聞 2022/04/17

2022.3./ 157p
978-4-582-28738-7

¥1,870〔税込〕





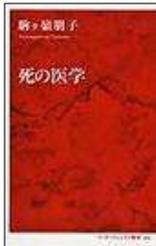
スピノザ～人間の自由の哲学～(講談社現代新書 2652): 人間の自由の哲学
(講談社現代新書)

吉田 量彦 著
講談社

政治的閉塞に被われた現代社会に風穴を開けるもっともラディカルな思想。スピノザの生涯と思想について、バランスよく、平易な文体で綴った、まったく新しいスピノザ哲学の入門書。

読売新聞 2022/04/17

2022:2./ 409p
978-4-06-527324-1
¥1,320 [税込]



死の医学(インターナショナル新書 092)
(インターナショナル新書)

駒ヶ嶺 朋子 著
集英社インターナショナル

従来は「オカルト現象」などとして扱われてきた幽体離脱や金縛り、憑依の仕組みを最新の脳科学は着々と解き明かしている。詩人にして脳神経内科医の著者が、「心と魂」の秘密を語る。

読売新聞 2022/04/17

2022:2./ 246p,8p
978-4-7976-8092-8
¥968 [税込]



国境を越えたスクラム～ラグビー日本代表になった外国人選手たち～: ラグビー
ー日本代表になった外国人選手たち

山川 徹 著
中央公論新社

リーチマイケル、ホラニ龍コリニアシ、アンドリュー・マコーミック…。なぜ彼らは桜のジャージを選んだのか。ラグビー日本代表となった海外出身選手たちを訪ね、その思いと足跡を追う。

読売新聞 2022/04/17

2019:8./ 284p
978-4-12-005222-4
¥1,980 [税込]



堀江栞 声よりも近い位置

堀江 栞/堀江 栞 著
小学館

動物、石、人形、そして人を、天然素材由来の岩絵具と顔料、和紙、膠だけで絵を描いてきた堀江栞の初画集。第6回東山魁夷記念日経日本画大賞展入選作品「さまよう」など90点余りを収載。

読売新聞 2022/04/17

2022:3./ 143p
978-4-09-682389-7
¥3,300 [税込]



モチベーションの科学～知識創造性の高め方～: 知識創造性の高め方

金間 大介 著
創成社

理論解説と物語、コラムで知識創造性を高めるモチベーションを紹介。主に2要因理論、自己決定理論、学習性無力感、期待理論などを取り上げ、産学連携のモチベーション・メソッドも収録する。

読売新聞 2022/04/17

2015:4./ 12p,258p
978-4-7944-2452-5
¥2,750 [税込]





最期の声～ドキュメント災害関連死～: ドキュメント災害関連死

山川 徹 著
KADOKAWA

東日本大震災、熊本地震、新潟県中越地震など、阪神大震災以降の災害で「災害関連死」とされた人の数は5000人以上。死者たちの残した声なき声をきき、災害支援の道を照らすノンフィクション。

2022:2./ 365p
978-4-04-400630-3

¥1,870〔税込〕



読売新聞 2022/04/17



神学・政治論<下>(光文社古典新訳文庫 KB ス 1-2): 下

(光文社古典新訳文庫)

スピノザ、吉田 量彦 著
光文社

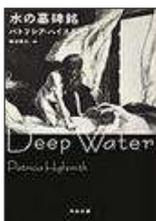
神学者による聖書解釈を批判、哲学と神学を分離し、宗教と国家、個人の自由について根源的に考察したスピノザの主著。読みやすい訳文に豊富な訳注、詳細な解説を付す。下は、第10章?第20章を収録。

2014:5./ 406p
978-4-334-75290-3

¥1,320〔税込〕



読売新聞 2022/04/17



水の墓碑銘(河出文庫 ハ 2-19)

(河出文庫)

パトリシア・ハイスミス 著
河出書房新社

ヴィクの奔放な妻メリンダは次々と愛人と関係を持つ。その1人が殺害されたとき、ヴィクは自分が殺したとデマを流し…。ベン・アフレック主演で映画化された、巨匠パトリシア・ハイスミスの長編・改訳版。

2022:3./ 443p
978-4-309-46750-4

¥1,210〔税込〕



読売新聞 2022/04/17



神学・政治論<上>(光文社古典新訳文庫 KB ス 1-1): 上

(光文社古典新訳文庫)

スピノザ、吉田 量彦 著
光文社

神学者による聖書解釈を批判、哲学と神学を分離し、宗教と国家、個人の自由について根源的に考察したスピノザの主著。読みやすい訳文に豊富な訳注、詳細な解説を付す。上は、序章、第1章?第9章を収録。

2014:5./ 454p
978-4-334-75289-7

¥1,430〔税込〕



読売新聞 2022/04/17



月下上海(文春文庫 や 53-3)

(文春文庫)

山口 恵以子 著

文藝春秋

スキャンダルを逆手にとり人気画家にのしあがった財閥令嬢・八島多江子は、戦時統制下の日本を離れ、上海に渡った。謀略渦巻く魔都・上海で、多江子が出会う4人の男たち。いま、運命の歯車が回り始める。

読売新聞 2022/04/17

2015.6./ 319p
978-4-16-790382-4

¥770〔税込〕



防災アプリ特務機関 NERV～最強の災害情報インフラをつくったホワイトハッカーの10年～: 最強の災害情報インフラをつくったホワイトハッカーの10年

川口 穰 著

平凡社

3.11への思いを礎に進化し、今や社会インフラとなった最強の防災アプリ「特務機関NERV」。創設者・石森大貴の技術力と経験に裏打ちされた信念が結実するまでの、情報と防災にかけた10年を追った。

読売新聞 2022/04/17

2022.2./ 287p
978-4-582-82493-3

¥1,760〔税込〕



先生、どうか皆の前でほめないで下さい～いい子症候群の若者たち～: いい子症候群の若者たち

金間 大介 著

東洋経済新報社

ほめられたくない、目立ちたくない、埋もれていたい。若者に起きている重大異変を、イノベーションとモチベーションの研究家が分析。一見不可解な彼らの気質を「いい子症候群」とし、その心理を解読していく。

読売新聞 2022/04/17

2022.3./ 259p
978-4-492-22402-1

¥1,650〔税込〕



北海道を味わう～四季折々の「食の王国」～(中公新書 2690): 四季折々の

「食の王国」

(中公新書)

小泉 武夫 著

中央公論新社

豊饒の海と豊穡の大地、銀鱗煌めく清流と湖。四季それぞれに異なる食材や料理がはっきりと区別できる北海道。無類の食いしん坊を自認する発酵学の第一人者が、備忘録やメモをもとに、北の大地の食随想を四季別に綴る。

読売新聞 2022/04/17

2022.3./ 8p,260p
978-4-12-102690-3

¥990〔税込〕





科学と人生(角川ソフィア文庫 L130-2)

(角川ソフィア文庫)

中谷 宇吉郎 著

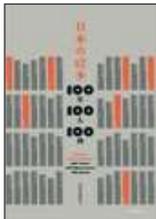
KADOKAWA

世界で初めて人工雪の製作に成功した物理学の権威・中谷宇吉郎は、恩師・寺田寅彦の影響で随筆を数多く残している。「科学と人生」をはじめ、「科学と政治」「科学のいらない話」「寺田研究室の思い出」など自選 11 編を収録。

読売新聞 2022/04/17

2022:2./ 240p
978-4-04-400688-4

¥880〔税込〕



日本の絵本 100 年 100 人 100 冊

広松 由希子 著

玉川大学出版部

絵本の評論や展示企画などを手がける広松由希子が所蔵する絵本のなかから、日本の絵本画家/イラストレーターの作品に限り、大正から平成までの約 100 年の間に出版された絵本 100 作品を紹介。表紙・本文の図版も多数掲載。

読売新聞 2022/04/17

2021:12./ 223p
978-4-472-12014-5

¥7,700〔税込〕



プロレス社会学のススメ～コロナ時代を読み解くヒント～: コロナ時代を読み解くヒント

斎藤 文彦/プチ鹿島 著

ホーム社

プロレスを語ることは、今の時代を語ること。無試合観客、組織論、男女平等、マイノリティ…。プロレスライターと時事芸人が、「社会と自分とプロレス」について語り合う。『KAMINOGE』連載を書籍化。

読売新聞 2022/04/17

2021:12./ 428p
978-4-8342-5353-5

¥2,090〔税込〕



梅は匂ひよ桜は花よ人は心よ

笠井 賢一 編

野村 幻雪 著

藤原書店

狂言の家から能楽に転じて芸の道を追求、2021 年に伝統ある「雪」号を授与されるも、惜しくも急逝した著者が、晩年に書き残した「能とは何か」「わが生涯」をめぐる珠玉の随筆集。中村時蔵、野村万作ほかとの対談も収録。

読売新聞 2022/04/17

2022:2./ 331p 図版

16p
978-4-86578-337-7

¥3,520〔税込〕





わたしが先生の「ロリータ」だったころ～愛に見せかけた支配について～: 愛
に見せかけた支配について

アリソン・ウッド、服部 理佳 著
左右社

26歳の英文学教師は、17歳のわたしにナボコフの名作を重ね合わせた。数々の作品で描かれてきた「大人の男と少女の恋愛」という図式の不健全さを暴き、少女が自らの知性でそこから逃れるまでを綴ったノンフィクション。

読売新聞 2022/04/17、朝日新聞 2022/04/23

2022:2./ 333p
978-4-86528-068-5

¥2,420〔税込〕



明治・大正・昭和不良少女伝～莫連女と少女ギャング団～(ちくま文庫 ひ
29-1): 莫連女と少女ギャング団
(ちくま文庫)

平山 亜佐子 著
筑摩書房

墮落書生を成敗する銀杏返し組、春をひさぐ丸ビルハート団…。明治、大正、昭和初期の不良少女の事件記事を集めた事件簿。めくるめくような価値転換をせまられた時代を、果敢に泳いだ彼女たちの軌跡を追う。

読売新聞 2022/04/17、朝日新聞 2022/04/30

2022:3./ 248p
978-4-480-43783-9

¥990〔税込〕



青が散る<下>(文春文庫): 下
(文春文庫)

宮本 輝 著
文芸春秋

読売新聞 2022/04/24

2007:5./ 322p
978-4-16-734823-6

¥704〔税込〕



青が散る<上>(文春文庫): 上
(文春文庫)

宮本 輝 著
文芸春秋

新設大学でテニス部を創部しようとする椎名燎平と仲間たち。青春のひたむきさと悩み、淡い恋、宮本文学の代表作が新装版で登場

読売新聞 2022/04/24

2007:5./ 318p
978-4-16-734822-9

¥704〔税込〕



武士道シックスティーン(文春文庫)
(文春文庫)

誉田 哲也 著
文芸春秋

日舞から剣道に飛び込んだ柔の早苗と剣道エリートの剛の香織。青春を剣道にかける傑作エンターテインメント。この春映画化決定！

読売新聞 2022/04/24

2010:2./ 414p
978-4-16-778001-2

¥814〔税込〕





ようこそ、心理学部へ(ちくまプリマー新書 397)

(ちくまプリマー新書)

同志社大学心理学部 著

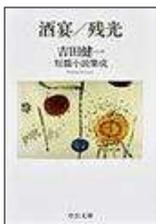
筑摩書房

犯罪から食欲、記憶から感情までを扱い、生理的仕組みを解明し日常的な行動の改良を目指す心理学。具体的なテーマや興味深いトピックで、心理学の多様な世界を講義形式で体験する入門書。

読売新聞 2022/04/24

2022:3./ 204p
978-4-480-68421-9

¥902〔税込〕



酒宴/残光～吉田健一短篇小説集成～(中公文庫 よ 5-13): 吉田健一短篇小説集成

(中公文庫)

吉田 健一 著

中央公論新社

翻訳から批評へ、随筆から小説へと自在に横断し、独自の文学世界を築き上げた文士・吉田健一。その誕生を告げる第1短篇集「酒宴」と第2短篇集「残光」の全17篇を収める初期短篇小説集成。

読売新聞 2022/04/24

2022:3./ 394p
978-4-12-207194-0

¥1,430〔税込〕



掃除婦のための手引き書～ルシア・ベルリン作品集～(講談社文庫 へ 11-1):

ルシア・ベルリン作品集

(講談社文庫)

ルシア・ベルリン 著

講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から10年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24篇をよりすぐって収録する。

読売新聞 2022/04/24

2022:3./ 367p
978-4-06-527307-4

¥990〔税込〕



屋上のウインドノーツ(文春文庫 め 2-1)

(文春文庫)

額賀 滯 著

文藝春秋

友達がひとりもない県立高校へ入学した、引っ込み思案の少女・給前志音は、ワケありの部長・日向寺大志に誘われ、吹奏楽部に入部する。やがて厳しい練習の日々が始まって…。爽やかな風を感じる熱血部活小説。

読売新聞 2022/04/24

2017:6./ 365p
978-4-16-790868-3

¥814〔税込〕





アンラーン～人生 100 年時代の新しい「学び」～: 人生 100 年時代の新しい「学び」

柳川 範之／為末 大 著

日経 B P 社

これまで身につけた思考のクセを取り除く「アンラーン」の技術と、それを人生とキャリアの武器にする方法を紹介。足元の状況や価値観がどれだけ変化しても、ビジネス・勉強で活躍&自己実現し続けるための一冊。

読売新聞 2022/04/24

2022:1./ 254p
978-4-296-00053-1

¥1,760〔税込〕



100 均グッズ改造ヒーロー大集合～切ってつないでトンデモ変身!～: 切ってつないでトンデモ変身!

安居 智博 著

平凡社

タレピンで作った「大?軍」、門松で作った「キンガーネンガー」、電気コードで作った「コンセントロン」...。日用品で作った人形と、そのメイキング写真を多数掲載。関節可動の仕組み「ヤスイ締め」も紹介する。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 125p
978-4-582-53227-2

¥1,980〔税込〕



爆弾

呉 勝浩 著

講談社

都民 1400 万人を人質にとる無差別爆破テロ。爆弾の在り処の手がかりは、容疑者と思しき中年男が出す“クイズ”のみ。狭小な取調室の中で、正体不明の容疑者と警察の戦いが始まる。『小説現代』掲載を単行本化。

読売新聞 2022/04/24

2022:4./ 425p
978-4-06-527347-0

¥1,980〔税込〕



ザ・コーポレーション～キューバ・マフィア全史～<上>: キューバ・マフィア全史, 上

T・J・イングリッシュ 著

早川書房

キューバの汚職警官だったホセ・ミゲル・バトルは、アメリカで賭博事業に成功し...。キューバ系親子が冷戦下のアメリカに築いた犯罪帝国「ザ・コーポレーション」の全貌を描く犯罪ノンフィクション。死体写真あり。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 399p
978-4-15-210086-3

¥3,300〔税込〕





涼宮ハルヒの憂鬱(角川文庫)

(角川文庫)

谷川 流 著

角川書店

校内一の変人・涼宮ハルヒが結成したSOS団（世界を大いに盛り上げるための涼宮ハルヒの団）。ただ者でない団員を従えた彼女には、本人も知らない重大な秘密があった!? 第8回スニーカー大賞〈大賞〉受賞作登場

読売新聞 2022/04/24

2003:6./ 307 p

978-4-04-429201-0

¥726〔税込〕



人生おろおろ〜比呂美の万事 OK〜(光文社文庫 い48-3): 比呂美の万事 OK

(光文社文庫)

伊藤比呂美 著

光文社

浮気、恋愛、DV、セックスレス、介護...生きている限りつきまとうさまざまな悩み事。著者が回答者を務める「人生相談」に寄せられた中から、示唆に富んだ問答を収録。『西日本新聞』『東京新聞』連載を加筆・修正。

読売新聞 2022/04/24

2022:3./ 266p

978-4-334-79323-4

¥682〔税込〕



ブロードキャスト(角川文庫 み42-2)

(角川文庫)

湊 かなえ 著

KADOKAWA

陸上の名門・青海学院高校に入学した圭祐だが、交通事故に遭い入部を断念する。正也に声の良さを買われ放送部に入部した圭祐は、陸上への未練を感じつつも、その面白さに目覚めていき…。番外編「ラジオドラマ」も収録。

読売新聞 2022/04/24

2021:1./ 391p

978-4-04-109556-0

¥726〔税込〕



さぶ(新潮文庫 や-2-10): 改版

(新潮文庫 や-2-10)

山本 周五郎 著

新潮社

江戸下町の表具店で働くさぶと栄二は深い友情で結ばれていた。ある日、盗みの罪を着せられた栄二は怒りのあまり自暴自棄になり、人足寄場に流れ着く。人間すべてに不信感を持つ栄二を、さぶは忍耐強く励まし、支える…。

読売新聞 2022/04/24

2018:10./ 384p

978-4-10-113410-9

¥693〔税込〕





バカロレアの哲学～「思考の型」で自ら考え、書く～: 「思考の型」で自ら考え、書く

坂本 尚志 著
日本実業出版社

さまざまな問題を分析し、解答するための「思考の型」とはどのようなものか。どのように身に付け、使いこなすことができるのか。フランス・バカロレア哲学試験の3つの問題の解き方を詳しく解説することで明らかにする。

読売新聞 2022/04/24

2022:1./ 246p
978-4-534-05903-1
¥1,870〔税込〕



くちびるに歌を(小学館文庫 な 20-1)

(小学館文庫)

中田 永一 著
小学館

中学合唱部顧問の松山先生は産休に入るため、元神童の美しすぎる臨時教員・柏木に期限付きで指導を依頼。すると、柏木目当て男子が多数入部する。ほどなくして、練習に打ち込まない男子部員と女子部員の対立が激化して…。

読売新聞 2022/04/24

2013:12./ 316p
978-4-09-408881-6
¥770〔税込〕



ザ・コーポレーション～キューバ・マフィア全史～<下>: キューバ・マフィア全史, 下

T・J・イングリッシュ 著
早川書房

賭博事業を息子のミゲリートに譲渡したホセ・ミゲル・バトルは、麻薬売買へと触手を広げ…。キューバ系親子が冷戦下のアメリカに築いた犯罪帝国「ザ・コーポレーション」の全貌を描く犯罪ノンフィクション。死体写真あり。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 409p
978-4-15-210087-0
¥3,300〔税込〕



ラスト・ワルツ～胸躍る中国文学とともに～: 胸躍る中国文学とともに

井波 律子、井波 陵一 編
井波 律子／井波 陵一 著
岩波書店

孔子と弟子たち、「世説新語」や「水滸伝」の面々…。胸躍るような中国古典文学の世界と、生涯聴き続けた<ザ・バンド>。中国文学者・井波律子が躍動感あふれる言葉でその魅力を語る。絶筆となった「わたしの水滸伝」も収録。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 7p,257p
978-4-00-025507-3
¥2,090〔税込〕





室町は今日もハードボイルド～日本中世のアナーキーな世界～: 日本中世のアナーキーな世界

清水 克行 著
新潮社

僧侶は武士を呪い殺し、農民は合戦を繰り広げ、浮気された妻は相手の女を襲撃-。中世の日本人は実は凶暴でアナーキーだった! 自力救済、信仰等を主題に、中世人の衝撃的な逸話の数々を紹介。『小説新潮』連載を加筆・修正。

読売新聞 2022/04/24

2021:6./ 253p
978-4-10-354161-5

¥1,540〔税込〕



『ニューヨーク・タイムズ』のドナルド・キーン

ドナルド・キーン 著
中央公論新社

同時代のカワバタ、ミシマの話、日本文学者であることの悩み、戦後日本の社会時評、美味しい魚料理の店の紹介…。ドナルド・キーンが1955年から87年にかけて『ニューヨーク・タイムズ』に寄稿したエッセイ27本を翻訳。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 228p
978-4-12-005498-3

¥2,420〔税込〕



人類と神々の4万年史<上>: 上

ニール・マクレガー 著
河出書房新社

古来、神のもとに人は集い、共同体を繁栄させた。しかし、神の存在すら問われる現代、宗教を超える物語を見つけられるのか-。世界中の博物館の収蔵品や建築、場所を通じて、宗教と信仰の歴史をたどる。カラー図版も多数収録。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 250p
978-4-309-22846-4

¥4,180〔税込〕



人類と神々の4万年史<下>: 下

ニール・マクレガー 著
河出書房新社

古来、神のもとに人は集い、共同体を繁栄させた。しかし、神の存在すら問われる現代、宗教を超える物語を見つけられるのか-。世界中の博物館の収蔵品や建築、場所を通じて、宗教と信仰の歴史をたどる。カラー図版も多数収録。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 261p
978-4-309-22847-1

¥4,180〔税込〕



「廃炉」という幻想～福島第一原発、本当の物語～(光文社新書 1181): 福島第一原発、本当の物語 (光文社新書)

吉野実 著
光文社

増え続ける処理水、不可能に近いデブリ取り出し、行く先のない事故炉の廃棄物…。なぜ国や東電は福島第一原発の廃炉が「できる」という幻想を広め続けるのか。長年取材してきた記者が幻想とその背景、廃炉の本当の未来に迫る。

読売新聞 2022/04/24

2022:2./ 269p
978-4-334-04589-0

¥1,210〔税込〕





南風(みなみ)吹く(光文社文庫 も 23-2)

(光文社文庫)

森谷明子 著

光文社

瀬戸内海に浮かぶ島の高校に通う航太は、ひょんなことから俳句甲子園出場を目指す日向子のメンバー探しを手伝うことになる。必要な人数の5人が揃い、動き始めたある日、航太の祖母が倒れてしまい…。青春エンタテインメント。

読売新聞 2022/04/24

2020:7./ 460p
978-4-334-79051-6

¥880〔税込〕



氷菓(角川文庫)

(角川文庫)

米澤 穂信 著

角川書店

何事にも積極的に関わらないことをモットーとする奉太郎は、高校入学と同時に、姉の命令で古典部に入部させられる。さらに、そこで出会った好奇心少女・えるの一言で、彼女の伯父が関わったという三十三年前の事件の真相を推理することになり――。米澤穂信、清冽なデビュー作！

読売新聞 2022/04/24

2001:11./ 217p

978-4-04-427101-5

¥572〔税込〕



一瞬の風になれ<第1部> イチニツイテ(講談社文庫): 第1部

(講談社文庫)

佐藤 多佳子 著

講談社

春野台高校陸上部、1年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感……ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走りを俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説、第1部、スタート！ 2006年本の雑誌が選ぶノンジャンルベスト10 第1位。(講談社文庫) 春野台高校陸上部、1年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感……ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走りを俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説、第一部、スタート！

読売新聞 2022/04/24

2009:7./ 254p

978-4-06-276406-3

¥660〔税込〕



図書館の神様

瀬尾 まいこ 著

マガジンハウス

アクシデントで夢をあきらめ、傷ついた心を抱え、国語教師としてある高校に赴任したヒロイン清(きよ)。彼女が学校の図書館で出会ったひとりの男の子、垣内君。どこからでも海の見える明るい高校で、瑞々しい物語が始まる…。

読売新聞 2022/04/24

2003:12./ 165 p

978-4-8387-1446-9

¥1,320〔税込〕





マフィア帝国ハバナの夜〜ランスキー・カストロ・ケネディの時代〜: ランスキー・カストロ・ケネディの時代

T.J.イングリッシュ、伊藤 孝 著
さくら舎

頭脳派マフィアが築いた悪徳の帝国! 享楽の都キューバ・ハバナを舞台に、アメリカマフィアの野望と抗争を描く、映画「ゴッドファーザーⅡ」の裏側ともいえる衝撃の犯罪ノンフィクション。死体写真あり。

読売新聞 2022/04/24

2016:6./ 362p
978-4-86581-054-7

¥1,980 [税込]



残像に口紅を(中公文庫)

(中公文庫)

筒井 康隆 著

中央公論新社

日本経済新聞 2022/04/02

1995:4./ 337p

978-4-12-202287-4

¥817 [税込]



和辻哲郎 建築と風土(ちくま新書 1643)

(ちくま新書)

三嶋 輝夫 著

筑摩書房

これまで哲学研究者らに顧みられることがなかった和辻哲郎の建築論を、「古寺巡礼」など4つの著作と桂離宮論のうちに探る。知られざる和辻の射程を、その広がり と深さにおいて示す試み。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:3./ 254p

978-4-480-07469-0

¥924 [税込]



ソニーヤ、ゾルゲが愛した工作員〜愛人、母親、戦士にしてスパイ〜: 愛人、母親、戦士にしてスパイ

ベン・マッキンタイアー 著

中央公論新社

上海でゾルゲにスカウトされソ連側工作員となったドイツ人女性が、20年にわたり各国で暗躍。3人の子を持つ「普通の主婦」を隠れ蓑に、英米の原爆開発計画をモスクワに伝えた凄腕スパイの半生を描く。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:2./ 511p

978-4-12-005506-5

¥3,190 [税込]



全体主義の起原<1> 新版 反ユダヤ主義: 1, 新版

ハンナ・アーレント 著

みすず書房

国家や法という伝統、さらには人間の本質まで破壊した全体主義への道筋とシステムを描いた20世紀の記念碑的大著。最新の研究を反映させた新版。原著初版刊行時の著者の「初版まえがき」を新たに収録。

日本経済新聞 2022/04/02

2017:8./

31p,295p,27p

978-4-622-08625-3

¥4,950 [税込]





アメリカのデモクラシー<第1巻上>(ワイド版岩波文庫 382): 第1巻上
(ワイド版岩波文庫)

トクヴィル 著
岩波書店

フランスの政治思想家トクヴィルが、アメリカ社会全般の透徹した分析を通して、広い視野で近代デモクラシーを論じた古典的名著。第1巻上は、北アメリカの地形、人民主権原理、連邦憲法などを取り上げる。

日本経済新聞 2022/04/02

2015:1./ 364p
978-4-00-007382-0

¥1,540 [税込]



誤解しないための日韓関係講義(PHP新書 1297)
(PHP新書)

木村 幹 著
PHP研究所

「日本は韓国を植民地支配していない」は本当か。日韓間では、なぜ今も歴史認識問題が起きているのか。精緻な論述と豊富なデータで日韓関係を明快に論じ、韓国が抱える不動産問題などについても解説する。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:3./ 195p
978-4-569-85140-2

¥990 [税込]



水を光に変えた男〜動く経営者、福沢桃介〜: 動く経営者、福沢桃介

荻野 進介 著
日本経済新聞出版社

福沢諭吉の娘婿となった福沢桃介は、幾つもの挫折を経て電力事業に目覚め、木曾川に東洋一のダムを築いた。桃介の稀代の事業家、イノベーターとしての機略縦横の活躍ぶりにスポットをあて、その生涯を描く。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:1./ 469p
978-4-532-17717-1

¥2,420 [税込]



災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て〜河田恵昭自叙伝〜: 河田恵昭自叙伝

河田 恵昭 著
ミネルヴァ書房

若手研究者としての奮闘、途上国への災害支援、東日本大震災の衝撃…。世界の防災研究の第一人者が「災害文明」と「災害文化」の両輪で災害問題を解決するべく、走り続けた研究生活 46 年間の軌跡を振り返る。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:2./
19p,485p,10p
978-4-623-09295-6

¥4,400 [税込]



全体主義の起原<2> 新版 帝国主義: 2, 新版

ハンナ・アーレント 著
みすず書房

国家や法という伝統、さらには人間の本質まで破壊した全体主義への道筋とシステムを描いた 20 世紀の記念碑的大著。民族主義の台頭、資本家とモップの同盟…。国民国家崩壊の物語。最新の研究を反映させた新版。

日本経済新聞 2022/04/02

2017:8./
15p,376p,26p
978-4-622-08626-0

¥5,280 [税込]





刀伊の入寇～平安時代、最大の対外危機～(中公新書 2655): 平安時代、最大の対外危機
(中公新書)

関 幸彦 著
中央公論新社

11世紀初頭、中国の女真族(刀伊)が対馬・壱岐と北九州沿岸に来襲し、甚大な被害をもたらした。当時の軍制もふまえて、平安時代最大の対外危機「刀伊の入寇」を検証し、武士台頭以前の戦闘の実態を明らかにする。

日本経済新聞 2022/04/02

2021:8./ 4p,189p
978-4-12-102655-2

¥880〔税込〕



* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 5 5 2 *



全体主義の起原<3> 新版 全体主義: 3, 新版

ハンナ・アーレント 著
みすず書房

国家や法という伝統、さらには人間の本質まで破壊した全体主義への道筋とシステムを描いた20世紀の記念碑的大著。先例のない統治形式である全体主義の本質に迫る。最新の研究を反映させた新版。新たな解説も収録。

日本経済新聞 2022/04/02

2017:8./
34p,440p,27p
978-4-622-08627-7

¥5,280〔税込〕



* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 6 2 7 7 *



世界は縮まれり～西村天囚『欧米遊覧記』を読む～: 西村天囚『欧米遊覧記』を読む

湯浅 邦弘 著
KADOKAWA

現代社会の礎を作った日本人たちによる明治43年の世界一周旅行。それは諸外国の文化を学び日本の良さにも気づく感動の旅だった! 新聞記者・西村天囚の「欧米遊覧記」を新資料で読み解き、その全貌を明らかにする。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:2./ 507p
978-4-04-400690-7

¥2,970〔税込〕



* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 6 9 0 7 *



日本でわたしも考えた～インド人ジャーナリストが体感した禅とトイレと温泉と～: インド人ジャーナリストが体感した禅とトイレと温泉と

パーラヴィ・アイヤール 著
白水社

4年に及ぶ東京暮らしのなかで、インド人作家が驚愕と新発見の日常を描くユーモアあふれる日本滞在記。生活習慣の違いから日本語習得の難しさ、伝統文化、政治・社会問題まで、鋭い洞察に母親としての視点を交え綴る。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:3./ 246p,13p
978-4-560-09891-2

¥2,530〔税込〕



* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 8 9 1 2 *



AI 監獄ウイグル

ジェフリー・ケイン 著
新潮社

顔と声を記録する「健康検査」、DNA 採取、移動・購入履歴ハッキング、密告アプリ、そして AI が「信用できない人物」を選ぶ…。少女の危険な逃避行を軸に、「デジタルの牢獄」と化したウイグルの恐るべき実態を描き出す。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:1./ 333p
978-4-10-507261-2
¥2,420〔税込〕



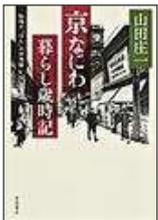
タモリ学〜タモリにとって「タモリ」とは何か?〜(文庫ぎんが堂 と 5-1): タモリにとって「タモリ」とは何か?
(文庫ぎんが堂)

戸部田誠 (てれびのスキマ) 著
イースト・プレス

タモリの魅力とは何なのか。デビュー時から現在までの、テレビ、ラジオ、書籍、インタビューでの発言やエピソードを抽出し分析。言葉・他者・仕事などの様々なテーマから、一視聴者の立場でタモリの哲学を浮かび上がらせる。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:2./ 366p
978-4-7816-7207-6
¥990〔税込〕



京なわ暮らし歳時記〜船場の「ぼん」の回想録〜: 船場の「ぼん」の回想録

山田 庄一 著
岩波書店

大阪船場の旧家に生まれた「船場のぼん」が、幼少期からの記憶をたどり、四季折々の行事や上方芸能の話題も織り込みながら、戦前の船場商家の暮らしぶりを明らかにする。食文化や冠婚葬祭、船場ことばにまつわる思い出も収録。

日本経済新聞 2022/04/02

2021:12./ 8p,166p
978-4-00-061508-2
¥2,420〔税込〕



頭手心〜偏った能力主義への挑戦と必要不可欠な仕事の未来〜: 偏った能力主義への挑戦と必要不可欠な仕事の未来

デイヴィッド・グッドハート 著
実業之日本社

手(肉体労働や手仕事)と心(ケア労働)が、頭(認知能力を生かした仕事)に奪われてきた名声と恩恵を取り戻す方法はある。地位の偏った配分をテーマに社会が抱える問題を分析。「頭と手と心」のアンバランス解消を提唱する。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:1./ 463p
978-4-408-33977-1
¥3,080〔税込〕





ホワイトハウス・フェロー～世界最高峰のリーダーシップ養成プログラムで学んだこと～：世界最高峰のリーダーシップ養成プログラムで学んだこと

チャールズ・P. ガルシア、池村 千秋 著
ダイヤモンド社

1年間、アメリカ政府の最高レベルで働きながらリーダーシップを学ぶ特別プログラム「ホワイトハウス・フェロー」。“リーダーシップの博士課程”とも呼ばれるプログラムの全貌を、元フェロー200人への取材で明らかにする。

日本経済新聞 2022/04/02

2010:5./ 286p
978-4-478-01186-7

¥1,980〔税込〕



悪いがん治療～誤った政策とエビデンスがどのようにがん患者を痛めつけるか～：誤った政策とエビデンスがどのようにがん患者を痛めつけるか

ヴィナイヤク・プラサード 著
晶文社

人びとのがん治療のとらえ方を歪めさせ、<悪いがん治療>に導いてしまう要因とは何か？患者にとっての真の利益とは何か？現役の腫瘍内科医が医薬品開発・医薬品行政の根本的な問題を明らかにし、がん医療の未来を考える。

日本経済新聞 2022/04/02

2022:1./ 399p,25p,5p
978-4-7949-7293-4

¥3,520〔税込〕



一九八四年 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 53): 新訳版
(ハヤカワ epi 文庫)

ジョージ・オーウェル 著
早川書房

<ビッグ・ブラザー>率いる党が支配する超全体主義的近未来。ウィンストン・スミスは真理省記録局に勤務する党员で、歴史の改竄が仕事だった。しかし彼は、以前より完璧な屈従を強いる体制に不満を抱いていた。ある時、奔放な美女ジュリアと出会ったことを契機に、伝説的な裏切り者が組織したと噂される反政府地下活動に惹かれるようになるが.....。

日本経済新聞 2022/04/02

2009:6./ 511p
978-4-15-120053-3

¥946〔税込〕



水中考古学～地球最後のフロンティア～：地球最後のフロンティア

佐々木ランディ 著
エクスナレッジ

坂本龍馬のいろは丸は銃を積んでいなかった？カリブの海賊の港町は一夜で沈んだ？湖に沈む一隻の釣り舟はキリストの舟だった？水中考古学の魅力や、水中考古学で解き明かされた歴史の真実を公開する。

日本経済新聞 2022/04/02、朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 334p
978-4-7678-2927-2

¥2,420〔税込〕





メタバース～さよならアトムの時代～: さよならアトムの時代

加藤 直人 著
集英社

人類を物質(アトム)の束縛から解放放つメタバース。その可能性と歴史、人類史における意義から、今後社会にもたらす大きな変化まで、気鋭のメタバース起業家が網羅的に解説する。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:4./ 272p
978-4-08-788075-5
¥1,650〔税込〕



VRは脳をどう変えるか?～仮想現実の心理学～: 仮想現実の心理学

ジェレミー・ベイレンソン 著
文藝春秋

VRはエンタテインメントだけでなく、医療、教育、スポーツの世界を一変させ、私たちの日常を全く新しい未来へと導く。VR研究のトップが数々の心理学実験で解明した、驚愕の実力を紹介する。

日本経済新聞 2022/04/09

2018:8./ 364p
978-4-16-390884-7
¥2,420〔税込〕



なぜ漱石は終わらないのか(河出文庫 い38-3)

(河出文庫)

石原 千秋/小森 陽一 著
河出書房新社

漱石研究をリードしてきた2人が、難解とされる「文学論」を明快に解きほぐす。また「吾輩は猫である」から「明暗」まで、小説14作品を取り上げ対談形式で解説する。漱石略年表なども収録。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:3./ 421p
978-4-309-41877-3
¥1,342〔税込〕



新選組血風録(角川文庫)

(角川文庫)

司馬 遼太郎 著
角川書店

勤王佐幕の血なまぐさい抗争に明け暮れる維新前夜の京洛に、その治安維持を任務として組織された新選組。騒乱の世を、それぞれの夢と野心を抱いて白刃とともに生きた男たちを鮮烈に描く。司馬文学の代表作。

日本経済新聞 2022/04/09

2003:11./ 635p
978-4-04-129007-1
¥968〔税込〕



米中対立の先に待つもの～グレート・リセットに備えよ～: グレート・リセットに備えよ

津上 俊哉 著
日本経済新聞出版社

中国の膨張主義は永続きしない。中国は今後、どういう要因によって、どう変わるのか。1930年代に類似する世界秩序大変動の可能性を見据え、中国で起こっている変化、米中新冷戦の未来を大胆に読み解く。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 331p
978-4-532-17718-8
¥1,980〔税込〕





まだ間に合う～元駐米大使の置き土産～(講談社現代新書 2650): 元駐米大使の置き土産
(講談社現代新書)

藤崎 一郎 著
講談社

「まず自分の将来を考えなさい」「いま話題のことだけでなく社会の枠組みに関する勉強をするといい」「いまからやれば間に合うよ」...。元駐米大使が次世代へ向けて本音で綴った、学生時代・社会人・国際人の心得。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 265p
978-4-06-527293-0

¥990〔税込〕



ナチス破壊の経済～1923-1945～<下>: 1923-1945, 下

アダム・トゥーズ、山形 浩生、森本 正史 著
みすず書房

ナチスの経済政策は、いかに付け焼き刃に過ぎなかったか。ホロコーストの経済的側面の全貌、シュペーアによる軍備の奇跡の実態など、西部戦線の開戦から敗戦まで、破壊に向かって突き進む総動員経済の終幕を描く。

日本経済新聞 2022/04/09

2019:8./ p417?783
79p

978-4-622-08813-4

¥5,280〔税込〕



スノウ・クラッシュ<下> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2355): 下, 新版
(ハヤカワ文庫 SF)

ニール・スティーヴンスン 著
早川書房

「スノウ・クラッシュ」を使用したアヴァターは制御不能となり、現実世界の実体までもが意識不明に陥った。調査に乗り出したヒロは、ライブラリアン AI の導きで自意識や言語の発生源へと古代シュメール史を遡行し...

日本経済新聞 2022/04/09

2022:1./ 462p

978-4-15-012355-0

¥1,188〔税込〕



テルマエと浮世風呂～古代ローマと大江戸日本の比較史～(NHK 出版新書 671): 古代ローマと大江戸日本の比較史
(NHK 出版新書)

本村 凌二 著
NHK出版

古代ローマと江戸日本にはどのような相似や相違が生まれたのか。アッピヤ街道と東海道から権力のあり方を考え、ワインと日本酒から民衆の暮らしに思いを馳せる、新感覚の歴史エッセイ。『テンミニッツ TV』配信を書籍化。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 216p

978-4-14-088671-7

¥913〔税込〕





異常

エルヴェ・ル・テリエ 著

早川書房

殺し屋、弁護士、売れない作家、歌手、がんを告知された男…。なんのつながりもない人びとが、ある飛行機に同乗したことで、運命を共にする。飛行機は未曾有の巨大乱気流に遭遇し、乗客は奇跡的に生還したかに見えたが…。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 417p
978-4-15-210079-5
¥2,970〔税込〕



万物創生をはじめよう～私のVR事始～: 私的VR事始

ジャロン・ラニアー 著

みすず書房

VRは人間の主観に軸足を置くテクノロジー。第1次VRブームの立役者が、VRの来歴と次世代への展望、人間とVRの関係の本質、先駆者ならではの思索、80年代?90年代初頭のシリコンバレーの情景などを書き尽くす。

日本経済新聞 2022/04/09

2020:6./
4p,424p,50,6p
978-4-622-08907-0
¥3,960〔税込〕



スノウ・クラッシュ<上> 新版(ハヤカワ文庫 SF 2354): 上, 新版 (ハヤカワ文庫 SF)

ニール・スティーヴンソン 著

早川書房

オンライン上に仮想世界「メタヴァース」が築かれた近未来のアメリカ。アバター技術を開発した凄腕ハッカーにしてピザの配達人であるヒロは、ある日、メタヴァースで「スノウ・クラッシュ」なる謎のドラッグを手渡され…。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:1./ 438p
978-4-15-012354-3
¥1,188〔税込〕



メタバース進化論～仮想現実の荒野に芽吹く「解放」と「創造」の新世界～:

仮想現実の荒野に芽吹く「解放」と「創造」の新世界

バーチャル美少女ねむ 著

技術評論社

仮想現実における人類の新たな生活空間「メタバース」としてソーシャルVRが注目されている。その生活実態や文化など、実際にメタバースに生きる原住民ならではのリアルティ溢れる内容を、データの裏付けとともに紹介する。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:3./ 318p
978-4-297-12755-8
¥1,980〔税込〕



これは、アレだな

高橋 源一郎 著

毎日新聞出版

故きを温ねて、新しきを知れば、世界が違って見えてくる! 著者が読んだり、見たりしたものの中から、似たものやそっくりなものを思い起こし、新旧・話題作の「ツボ」を探るエッセイ集。『サンデー毎日』連載を加筆し書籍化。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 239p
978-4-620-32727-3
¥1,650〔税込〕





燃えよ剣<下> 改版(新潮文庫 し 9-9): 下, 改版

(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著

新潮社

元治元年六月の池田屋事件以来、京都に血の雨が降るところ、必ず土方歳三の振るう大業物和泉守兼定があった。新選組のもっとも得意な日々であった。やがて鳥羽伏見の戦いが始まり、薩長の大砲に白刃でいどんだ新選組は無残に破れ、朝敵となって江戸へ逃げのびる。しかし、剣に憑かれた歳三は、剣に導かれるように会津若松へ、函館五稜郭へと戊辰の戦場を血で染めてゆく。

日本経済新聞 2022/04/09

2007:1./ 553p
978-4-10-115209-7

¥935〔税込〕



燃えよ剣<上> 改版(新潮文庫 し 9-8): 上, 改版

(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著

新潮社

幕末の動乱期を新選組副長として剣に生き剣に死んだ男、土方歳三の華麗なまでに頑な生涯を描く。武州石田村の百姓の子“バラガキのトシ”は、生来の喧嘩好きと組織作りの天性によって、浪人や百姓上りの寄せ集めにすぎなかった新選組を、当時最強の人間集団へと作りあげ、己れも思い及ばなかった波紋を日本の歴史に投じてゆく。「竜馬がゆく」と並び、“幕末もの”の頂点をなす長編。

日本経済新聞 2022/04/09

1972:5./ 576p
978-4-10-115208-0

¥935〔税込〕



攻殻機動隊<1>(ヤングマガジンKCDX): 1

(ヤングマガジンKCDX)

士郎 正宗 著

講談社

西暦2029年。より複雑化していく犯罪に対抗すべく結成された特殊部隊.....公安9課に所属するその組織の名は、攻殻機動隊と呼ばれた。西暦2029年。通信ネットワークに覆われ、膨大な情報が世界を駆け巡っている超高度情報化社会。しかし国家や民族、そして犯罪は依然として存在していた。より複雑化していく犯罪に対抗すべく結成された特殊部隊.....公安9課に所属するその組織の名は、攻殻機動隊と呼ばれた。

日本経済新聞 2022/04/09

1991:10./ 346 p

978-4-06-313248-9

¥1,650〔税込〕



化学者たちの京都学派～喜多源逸と日本の化学～: 喜多源逸と日本の化学

古川 安 著

京都大学学術出版会

喜多源逸と京都学派の形成とその展開の様相を、おおよそ1910年代から1960年代までたどり、京都大学工学部を舞台に織りなされた化学者たちの群像を描く。科学史の興味深いサブテーマも満載。

日本経済新聞 2022/04/09

2017:12./ 3p,334p

978-4-8140-0122-4

¥3,960〔税込〕





ルーズな文化とタイトな文化～なぜ<彼ら>と<私たち>はこれほど違うのか～:

なぜ<彼ら>と<私たち>はこれほど違うのか

ミシェル・ゲルファンド 著

白揚社

世界には、ルールに厳しい<タイトな文化>とそうでない<ルーズな文化>が存在し、それが国々の差異を生みだしている。<タイト/ルーズ>のロジックを使い、現代の多様な問題や、さまざまな社会集団の分断と差異を読み解く。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:3./ 390p
978-4-8269-0236-6

¥3,080〔税込〕



日本のもじ鉄～鉄道サインと書体の図鑑～: 鉄道サインと書体の図鑑

石川祐基 著

三オブックス

通勤路線から貨物鉄道やケーブルカーまで、全国 201 路線を網羅し、駅名標の文字をすべて採集。のりば、出口案内はもちろん、東京 2020 オリンピック仕様のサインなど、鉄道のあらゆる書体とデザインを掲載する。

日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 447p
978-4-86673-201-5

¥2,860〔税込〕



人権と国家～理念の力と国際政治の現実～(岩波新書 新赤版 1912): 理念の力と国際政治の現実

(岩波新書 新赤版)

筒井 清輝 著

岩波書店

今や政府・企業・組織・個人のどのレベルでも求められる「人権力」とは。人権の普遍化の歩みをたどり、内政干渉を嫌う国家が自らの権力を縛る人権システムの発展を許した 20 世紀の国際政治の逆説を解説する。

日本経済新聞 2022/04/09、朝日新聞 2022/04/16、読売新聞 2022/04/17

2022:2./ 13p,230p,6p
978-4-00-431912-2

¥946〔税込〕



EXTRA LIFE～なぜ 100 年間で寿命が 54 年も延びたのか～: なぜ 100 年間で寿命が 54 年も延びたのか

スティーブン・ジョンソン 著

朝日新聞出版

寿命を縮める「災禍のリスト」をどれだけつぶしていけるか。市井の人々が見つない、一見地味な「死なない」ためのイノベーションの連鎖。その功罪から、この先も人類が寿命を延ばすヒントを提供する。

日本経済新聞 2022/04/09、読売新聞 2022/04/10

2022:2./ 353p
978-4-02-331993-6

¥2,970〔税込〕





津田梅子～科学への道、大学の夢～：科学への道、大学の夢

古川 安 著
東京大学出版会

優れた生物学研究者だった津田梅子。一次史料にもとづいて、科学史の視点からこれまでの伝記とは異なる津田梅子像を描出し、梅子と科学の関わりを、当時の日本の科学・教育・社会の文脈から分析。その意味を考察する。

日本経済新聞 2022/04/09、毎日新聞 2022/04/16

2022:1./ 2p,198p,12p
978-4-13-023078-0

¥3,080〔税込〕



破軍の星(集英社文庫)

(集英社文庫)

北方 謙三 著
集英社

日本経済新聞 2022/04/16

1993:11./ 485 p

978-4-08-748094-8

¥990〔税込〕



おいしいごはんが食べられますように

高瀬 隼子 著
講談社

職場でそこそこうまくやっている二谷、皆が守りたくなるような存在で料理上手な芦川、仕事ができてがんばり屋の押尾。心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。『群像』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:3./ 152p

978-4-06-527409-5

¥1,540〔税込〕



悪党の裔(すえ)<上> 改版新装版(中公文庫 き 17-12): 上, 改版新装版

(中公文庫)

北方 謙三 著
中央公論新社

おのが手で天下を決したい。軍資金を蓄え兵を鍛えて時を待ち、遂に兵を挙げた。目指すは京。倒幕を掲げた播磨の義軍は一路六波羅へと攻め上る。建武騒乱の行方を決した赤松円心則村の生涯を通じ人の生き方を問う。

日本経済新聞 2022/04/16

2021:10./ 341p

978-4-12-207124-7

¥770〔税込〕



新しい世界の資源地図～エネルギー・気候変動・国家の衝突～：エネルギー・

気候変動・国家の衝突

ダニエル・ヤーギン 著
東洋経済新報社

地政学とエネルギー分野の劇的な変化によって、どのような世界地図が形作られようとしているのか。エネルギー問題の世界的権威が、エネルギー革命と気候変動との闘い、環境問題をめぐる各国の動きを鋭く分析する。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:1./ 9p,536p,51p

978-4-492-44466-5

¥3,520〔税込〕





世界を変えた12の時計～時間と人間の1万年史～: 時間と人間の1万年史

デイヴィッド・ルーニー 著

河出書房新社

より精密で正確な時を安定的に刻むための技術が生まれるたびに、時計が刻む「時間」は人間の暮らしをどう変えてきたのか。時計が登場して以来の文明の歴史の一端を、日時計から原子時計まで、12の時計を中心に語る。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:2./ 294p,31p
978-4-309-22844-0

¥2,970〔税込〕



いま中国人は中国をこう見る(日経プレミアシリーズ 470)

(日経プレミアシリーズ)

中島 恵 著

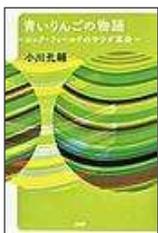
日本経済新聞出版社

日本やアメリカへの「上から目線」、政治的不自由への不安、格差への不満と共同富裕への喝采…。そんな母国に、中国人はどんな思いを抱くのか。匿名を条件に中国人に取材し、日本に住む中国人の実像を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:3./ 233p
978-4-532-26470-3

¥990〔税込〕



青いりんごの物語～ロック・フィールドのサラダ革命～: ロック・フィールドのサラダ革命

小川 孔輔 著

PHP研究所

デパ地下を一変させたデリカテッセン、ロック・フィールド。創業者・岩田弘三の半生を綴るとともに、そのビジネスモデルの構築の歴史を、岩田弘三をはじめとした多くの関係者から深く聞き出し詳しく分析して紹介する。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:2./ 343p
978-4-569-85093-1

¥2,090〔税込〕



日本の戦死塚(角川ソフィア文庫 I163-1)

(角川ソフィア文庫)

室井 康成 著

KADOKAWA

過去の戦争の記憶を語り伝えてきた大切な遺産である、首塚・胴塚・千人塚。大化の改新から西南戦争に至るまで、戦死者の亡骸を埋葬したとされる塚の伝承を論じる。全国 1686 例の戦死塚一覧、現地写真 125 点も収録。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:1./ 526p
978-4-04-400658-7

¥1,694〔税込〕





アジアの脱植民地化と体制変動～民主制と独裁の歴史的起源～：民主制と独裁の歴史的起源

粕谷 祐子 著
白水社

アジア 17 カ国の政治体制の多様性をその「起源」、すなわち 1940?50 年代の「脱植民地化」を果たした時点に遡って分析。なぜ一部の国では民主制となり、他の国ではさまざまなタイプの独裁になったのかを解明する。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:3./ 487p,22p
978-4-560-09886-8

¥4,180〔税込〕



生きがいについて(神谷美恵子コレクション)
(神谷美恵子コレクション)

神谷 美恵子 著
みすず書房

ひとたび生きがいを失ったらどう生きるか。ハンセン病患者との出会いから生まれた永遠のテーマ「生きがい」を考える。病や愛する人の死など苦難に見舞われた人の生きる喜びとは?66 年初版の名著に執筆当時の日記を付す。

日本経済新聞 2022/04/16

2004:10./ 353p,16p
978-4-622-08181-4

¥1,760〔税込〕



「無理しない」観光～価値と多様性の再発見～：価値と多様性の再発見

福井 一喜 著
ミネルヴァ書房

無理な町おこしやオーバーツーリズム、いきすぎた観光投資…。観光の問題は、現代社会そのものの矛盾と結びついている。社会を広くとらえる視点から、「無理しない」をテーマに、地域を守る新しい観光のあり方を提言する。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:2./ 9p,367p
978-4-623-09232-1

¥3,080〔税込〕



遠き落日<上>(講談社文庫 わ 1-53): 上
(講談社文庫)

渡辺 淳一 著
講談社

自墮落にして借金魔。しかし、その一方で、寝食を忘れるほど研究に没頭し、貧農の倅という出自の壁、幼少期の火傷によって負った左手のハンディ、日本人に対する蔑視を撥ね除けた。人間・野口英世の実像に迫る傑作伝記長編。

日本経済新聞 2022/04/16

2013:12./ 369p
978-4-06-277695-0

¥957〔税込〕





悪党の裔(すえ)<下> 改版新装版(中公文庫 き 17-13): 下, 改版新装版
(中公文庫)

北方 謙三 著
中央公論新社

倒幕はなった。だが建武の新政に明日があるとは思えなかった。播磨に帰った円心
は、悪党の誇りを胸にじっと待つ。そして再び、おのが手で天下を決する時。足利尊
氏を追って播磨に殺到する大軍を、わずかな手勢でくい止め...

日本経済新聞 2022/04/16

2021:10./ 286p
978-4-12-207125-4

¥748 [税込]



<洗う>文化史〜「きれい」とは何か〜: 「きれい」とは何か

国立歴史民俗博物館／花王株式会社 編
吉川弘文館

私たちはなぜ「洗う」のか。古代?現代の様々な事例を取り上げ、文献・絵画・民俗資
料から分析。日本人にとって「きれい」とは何かを考え、現代の清潔志向の根源を探
る。国立歴史民俗博物館と花王株式会社の共同研究の成果。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:2./ 8p,211p
978-4-642-08406-2

¥2,420 [税込]



遠き落日<下>(講談社文庫 わ 1-54): 下
(講談社文庫)

渡辺 淳一 著
講談社

日本では将来が望めず、無鉄砲にも単身渡米した英世。やがて新進気鋭の学者として
世界中の注目を浴び、日本へ凱旋。だが提唱した理論が揺らぎ、黄熱病の研究で再証
明を試みるが...。野口英世の栄光と最期を描いた傑作伝記長編。

日本経済新聞 2022/04/16

2013:12./ 367p
978-4-06-277696-7

¥957 [税込]



**ネットで故人の声を聴け〜死にゆく人々の本音〜(光文社新書 1190): 死にゆ
く人々の本音**
(光文社新書)

古田雄介 著
光文社

恐怖、後悔、家族への思い...。故人が生前残したブログや HP 等からは死に際しての本
音が見え隠れする。故人がインターネットに残した足跡とどう向き合うべきかを 15 の
事例から探る。『東洋経済オンライン』連載を基に書籍化。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:3./ 428p
978-4-334-04598-2

¥1,232 [税込]





ルース・ベイダー・ギンズバーグ アメリカを変えた女性

ルース・ベイダー・ギンズバーグ／アマンダ・L・タイラー 著
晶文社

アメリカ連邦最高裁史上2人目の女性裁判官で、2020年に87歳で亡くなるまでその任を務めたルース・ベイダー・ギンズバーグ。国中の尊敬と支持を集め、ポップ・カルチャーのアイコンとまでなったその生涯と業績をたどる。

日本経済新聞 2022/04/16

2022:1./ 425p
978-4-7949-7291-0

¥2,750〔税込〕



空の神様けむいので〜ラスト・プリンセス徳恵翁主の真実〜: ラスト・プリンセス徳恵翁主の真実

多胡 吉郎 著
影書房

日本留学、日本人伯爵との政略結婚の果てに、心の病を得て「もの言わぬ人」となった朝鮮王朝最後の王女、徳恵翁主。彼女には「詩の天才」と呼ばれた少女時代があった。その「言葉」を追い、新発掘の資料から描破する評伝。

日本経済新聞 2022/04/16

2021:9./ 334p
978-4-87714-489-0

¥2,530〔税込〕



エリック・ホッファー自伝〜構想された真実〜: 構想された真実

E.ホッファー、中本 義彦 著
作品社

失明、孤独、自殺未遂、10年の放浪、そして波止場へ…。常に社会の最底辺に身を置き、働きながら読書と思索を続け、独学によって思想を築きあげた「沖仲士の哲学者」ホッファーの自伝。

日本経済新聞 2022/04/16

2002:6./ 189p
978-4-87893-473-5

¥2,420〔税込〕



言葉を離れる(講談社文庫 よ5-4) (講談社文庫)

横尾 忠則 著
講談社

小説と画家宣言、少年文学の生と死、映画の手がかり…。観念ではなく肉体や感覚の力を信じ続けてきた画家・横尾忠則が、言葉の世界との間で揺れ動きながら、自伝的記憶も交えて思考を紡ぎ出す。

日本経済新聞 2022/04/23

2020:12./ 247p
978-4-06-521909-6

¥704〔税込〕



サイバー空間を支配する者〜21世紀の国家、組織、個人の戦略〜: 21世紀の国家、組織、個人の戦略

持永 大、村野 正泰、土屋 大洋 著
日本経済新聞出版社

データが支配する経済、サイバー攻撃、個人情報利用・保護問題…。恩恵と共に脅威が入り混じるサイバー空間の実態、全体像を理解するための枠組みを提示し、周回遅れの日本の課題も明らかにする。

日本経済新聞 2022/04/23

2018:8./ 356p
978-4-532-35786-3

¥2,530〔税込〕





伊藤整日記<1> 一九五二-一九五四年: 1

伊藤 礼 編
伊藤 整 著
平凡社

詩人、小説家、評論家、翻訳家、裁判被告にして大学教授-。戦後文壇代表者、伊藤整の日記。1は、「日本文壇史」が始まり、伊藤整ブームがやって来た1952?1954年を収録。英文日記も掲載。

日本経済新聞 2022/04/23

2021:3./ 355p
978-4-582-36531-3

¥4,620〔税込〕



駆ける〜少年騎馬遊撃隊〜: 少年騎馬遊撃隊

稲田 幸久 著
角川春樹事務所

吉川元春に拾われ馬術を見出された少年・小六。尼子再興を願う猛将・山中幸盛(鹿之助)。ともに戦火で愛する人を失った2人の譲れぬ思いが、戦場でぶつかる。勝つのは無垢なる魂か、それとも復讐の刃か-!?

日本経済新聞 2022/04/23

2021:10./ 333p
978-4-7584-1393-0

¥1,980〔税込〕



動物園を考える〜日本と世界の違いを超えて〜: 日本と世界の違いを超えて

佐渡友 陽一 著
東京大学出版会

動物園の現場、市役所の行政事務、大学教員として動物園を見つめてきた著者が、アニマルウェルフェアなどの新しい潮流にスポットをあて、世界の最先端の動物園と比較しながら、日本の動物園のあり方を考察する。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:3./ 6p,165p
978-4-13-062232-5

¥2,970〔税込〕



ぶるうらんど〜横尾忠則幻想小説集〜(中公文庫 よ48-1): 横尾忠則幻想小説集

横尾 忠則 著
中央公論新社

長年連れ添った夫婦の何気ない会話から始まる、誰も見たことがない、永遠の愛の物語-。短編連作「ぶるうらんど」をはじめ、異国(スペイン、アマゾン、カシミール)を旅する極彩色の幻想奇譚を収めた幻想小説集。

日本経済新聞 2022/04/23

2013:8./ 418p
978-4-12-205793-7

¥1,257〔税込〕



原郷の森

横尾 忠則 著
文藝春秋

原郷とは、人間の魂の古里みたいな場所であり、時間。そこでは、なんでも起こりうる-。ダ・ビンチ、ピカソ、北斎、三島、黒澤ら、芸術家たちが時空を超えて語り合う、異色の芸術小説。『文藝界』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:3./ 512p
978-4-16-391520-3

¥4,180〔税込〕





800 日間銀座一周(文春文庫 も 35-1)

(文春文庫)

森岡 督行 著

文藝春秋

あんぱんを買い、一杯の酒を飲み、一着のスーツを作る。森岡書店代表が、銀座の街を現在から過去、そして未来へと旅をする。味のあるイラストと写真とともに描きだすエッセイ。資生堂ウェブ『花椿』連載を文庫化。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:4./ 205p
978-4-16-791867-5

¥726〔税込〕



移動力と接続性~文明3.0の地政学~<上>: 文明3.0の地政学, 上

パラグ・カンナ 著

原書房

政治的混乱、経済危機、既存市場の破壊、気候変動、人口不均衡...。様々な相互作用が世界の最適な「移動」を促していく。2050年、人々はどこにいるのか。データと世界各地の見聞をもとに地理的な未来を予測する。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:1./ 238p
978-4-562-07141-8

¥2,420〔税込〕



地経学とは何か(文春新書 1251)

(文春新書)

船橋 洋一 著

文藝春秋

地政学的な目的のために経済を武器として使う地経学。米中の覇権争いを筆頭に、世界ではジオエコノミクスの闘いが繰り広げられている。世界のルールと秩序を巡る新たな主戦場について解説。『文藝春秋』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/04/23

2020:2./ 310p
978-4-16-661251-2

¥990〔税込〕



サン=テグジュペリの世界~<永遠の子ども>の生涯と思想~(講談社選書メチエ 760): <永遠の子ども>の生涯と思想

(講談社選書メチエ)

武藤 剛史 著

講談社

<目に見えないたいせつなこと>とは何か。文明の復興と人間の復活のために、子ども時代の世界のヴィジョンを練り上げた作家サン=テグジュペリの波乱の生涯をたどり、彼の苦悩に寄り添い深い思索の跡に光を当てる評伝。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:3./ 394p
978-4-06-527133-9

¥2,365〔税込〕





横尾忠則創作の秘宝日記

横尾 忠則 著
文藝春秋

アートは肉体だ! 84歳にして旺盛な創作を行う「全身芸術家」横尾忠則の濃密な日常。大病、自粛、飼い猫…。夢と現実のあわいを往還する 2016年5月?2020年6月の日記を収録。『週刊読書人』連載を単行本化。

日本経済新聞 2022/04/23

2020:9./ 693p
978-4-16-391256-1

¥2,970〔税込〕



地球の限界～温暖化と地球の危機を解決する方法～: 温暖化と地球の危機を解決する方法

ヨハン・ロックストローム/オーウェン・ガフニー 著
河出書房新社

地球の生命維持システムと、人間という種が地球の限界を揺るがそうとしていること、地球が緊急事態にあることを解説。そしてプラネタリー・スチュワードシップ(責任ある地球管理)に向けた人類の道のりについて述べる。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 347p
978-4-309-25442-5

¥3,135〔税込〕



移動力と接続性～文明3.0の地政学～<下>: 文明3.0の地政学, 下

パラグ・カンナ 著
原書房

政治的混乱、経済危機、既存市場の破壊、気候変動、人口不均衡…。様々な相互作用が世界の最適な「移動」を促していく。文明3.0を人々は受け入れられるのか。データと世界各地の見聞をもとに地理的な未来を予測する。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:1./ 241p
978-4-562-07142-5

¥2,420〔税込〕



「アキラさん」は音楽を楽しむ天才

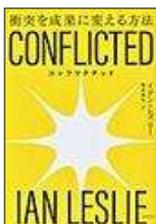
宮川 彬良 著
NHK出版

NHKEテレ「クインテット」の音楽やヒット曲「マツケンサンバⅡ」等を手がけた作曲家・宮川彬良。数々の名曲誕生の舞台裏、偉大な父・泰との思い出など、音楽に感じ、もがき、悦びに満ちた日々を綴った初エッセイ集。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:3./ 239p
978-4-14-005722-3

¥1,650〔税込〕



CONFLICTED～衝突を成果に変える方法～: 衝突を成果に変える方法

イアン・レズリー 著
光文社

職場で、家庭で、ソーシャルメディアで、ささいな行き違いが激しい言い争いへと発展してしまうケースは少なくない。人生や社会において不可避な、「衝突/対立」状態を解消し、そこから大きく前進するための秘訣を明かす。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 349p
978-4-334-96253-1

¥2,200〔税込〕





医療は救われるか〜医師の墮落〜: 医師の墮落

シェイマス・オウマハニー 著

国書刊行会

このままでは医療の未来に希望はない。長年イギリスの保健サービスに勤務し、現在は故郷アイルランドで医療に従事する著者が、現代医学の欺瞞と誤謬、混迷を明らかにしつつ医療崩壊への歩みを即刻停止すべきと主張する。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 277p
978-4-336-07196-5

¥3,300〔税込〕



アダム・スミス共感の経済学

ジェシー・ノーマン 著

早川書房

近代経済学の父として知られるアダム・スミスの本格的評伝。彼の思想の成り立ちをその生涯から解き明かすとともに、経済学から政治学、心理学にまで広がる思想的影響を俯瞰。様々な課題に直面する現代へのヒントを提示する。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 458p
978-4-15-210085-6

¥3,960〔税込〕



狙われた身体〜病いと妖怪とジェンダー〜: 病いと妖怪とジェンダー

安井 眞奈美 著

平凡社

日本の民間説話等に現れる妖怪や怪異現象は、病気や身体への侵襲などの形で人間を襲う「敵」として描かれたものが多い。弱いものとみなされていた女性の身体、痛みや苦しみを受ける人々の姿を民俗学とジェンダーから読み解く。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 271p
978-4-582-83892-3

¥3,080〔税込〕



フツーに方丈記

大原 扁理 著

百万年書房

コロナ禍と親の介護で崩壊した、これまでのハッピー隠居ライフ。いつもフツーに傍らにあったのは方丈記だった。コロナ禍に方丈記を読みながら考えたこと、人間らしさ、人生などを語る。方丈記原文、著者監訳の方丈記も収録。

日本経済新聞 2022/04/23

2022:2./ 247p
978-4-910053-26-4

¥1,760〔税込〕



ミッション・エコノミー〜国×企業で「新しい資本主義」をつくる時代がやってきた〜: 国×企業で「新しい資本主義」をつくる時代がやってきた

マリアナ・マツカート 著

ニューズピックス

暮らしの中心に経済があるのではない。経済の中心に暮らしがあるのだ。各国首脳のブレインとして経済政策に携わる経済学者マリアナ・マツカートが、国と企業が力を合わせてつくる「新しい資本主義」を提唱する。

日本経済新聞 2022/04/23

2021:12./ 285p
978-4-910063-19-5

¥2,310〔税込〕





流木記～ある美術館主の80年～: ある美術館主の80年

窪島 誠一郎 著

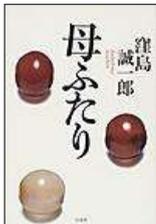
白水社

戦没画学生作品展示で知られる「無言館」開館25年。満身創痍で傘寿を迎えた館主が、波乱に満ち溢れた自分探しの半世紀を振り返る。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 258p
978-4-560-09894-3

¥2,640〔税込〕



母ふたり

窪島 誠一郎 著

白水社

自分を捨てた父・水上勉と、奇妙なバランスで成立した親子関係。一方で決して許せなかった実母と養母…。戦没画学生慰霊美術館「無言館」館主が描く、壮絶な家族物語。

日本経済新聞 2022/04/30

2013:12./ 326p
978-4-560-08340-6

¥2,860〔税込〕



株式会社規範のコペルニクス的転回～脱・株主ファーストの生存戦略～: 脱・株主ファーストの生存戦略

コリン・メイヤー 著

東洋経済新報社

株主利益最大化が企業と地球を破壊する! 世界トップクラスのビジネススクール教授が、格差、倫理、信頼、社会、環境にやさしい、分断をなくすための革命的な株式会社の作り方を論じる。

日本経済新聞 2022/04/30

2021:4./
32p,457p,13p
978-4-492-53434-2

¥5,500〔税込〕



インビジブル

坂上 泉 著

文藝春秋

成り上がり政治家の関係者が次々と殺された。背景は汚職か怨恨か。刑事の矜持を胸に、中卒と帝大卒のパディが戦後大阪の闇に挑む! 実在した「大阪市警視庁」を舞台に描く、戦後史×警察サスペンス。

日本経済新聞 2022/04/30

2020:8./ 349p
978-4-16-391245-5

¥1,980〔税込〕



古典の中の地球儀～海外から見た日本文学～(人文知の復興 4): 海外から見た

日本文学

(人文知の復興)

荒木浩 著

NTT出版

日本の古典と近代、さらには未来へ、という時間軸の往還を捉えながら、海外という視界や実践の場から、個別・具体的な古典世界を提示し読解。古典文化の魅力を再開発し、新しいパースペクティブを拓く。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 273p
978-4-7571-4360-9

¥2,860〔税込〕





平家物語～全訳注～<1> 新版(講談社学術文庫 2420): 全訳注, 1, 新版
(講談社学術文庫)

講談社

十二世紀末葉、権力の座についた平家は権勢を永く維持することができず、源氏勢によって滅ぼされた。疾風怒濤の歴史過程を、平家一門の栄華と滅亡を軸に物語る。1は、平家が栄華を極めた巻第三までを収録。

日本経済新聞 2022/04/30

2017:4./ 694p
978-4-06-292420-7
¥2,068 [税込]



弱くても勝てます～開成高校野球部のセオリー～(新潮文庫 た-86-5): 開成高校野球部のセオリー
(新潮文庫)

高橋 秀実 著

新潮社

練習時間、グラウンド、施設、すべてが足りない! 超進学校・開成高校野球部が考えた常識破りの方法とは? 部員に密着し、弱くても勝つための大胆な発想と戦略を探る。桑田真澄の解説インタビューも収録。

日本経済新聞 2022/04/30

2014:3./ 241p
978-4-10-133555-1
¥539 [税込]



対話で読み解くサステナビリティ・ESGの法務

関本 正樹 著

中央経済社

サステナビリティ・ESGと法務のつながりを、会話形式でわかりやすく解説。コーポレート・ガバナンス、サプライチェーン、独占禁止法といったトピックをもとに、具体例や関連する条文を交えながら説明する。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 1p,5p,169p
978-4-502-41401-5
¥2,750 [税込]



渚の螢火

坂上 泉 著

双葉社

沖縄本土復帰直前に起きた100万ドル強奪事件。その裏に隠された日米の間で翻弄され続ける残酷な島の現実。様々な思いを抱えながら、琉球警察の捜査員たちは事件解決を目指す。ノンストップサスペンス。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:4./ 305p
978-4-575-24509-7
¥1,870 [税込]



会社法は誰のためにあるのか～人間復興の会社法理～: 人間復興の会社法理

上村 達男 著

岩波書店

「会社は株主のもの」「株主価値の最大化こそ経営の目的」といった命題を自明視し、巨大ファンドが市場に君臨することに何の疑念も抱かない会社法学の通説は誤っている。「株式会社とは何か」を根本から問い直す。

日本経済新聞 2022/04/30

2021:12./ 13p,262p
978-4-00-061509-9
¥3,190 [税込]





君が異端だった頃

島田 雅彦 著
集英社

3月生まれの幼年期から、めくるめく修業時代を経て、鮮烈なデビューへ。文豪たちとの愛憎劇と、妻がある身の最低男の、華麗なる遍歴と、不埒な煩悶と。島田雅彦による自伝的青春私小説。『すばる』掲載を単行本化。

日本経済新聞 2022/04/30

2019:8./ 298p
978-4-08-771190-5

¥2,035〔税込〕



オーウェル『一九八四年』～ディストピアを生き抜くために～(世界を読み解く一冊の本)

川端 康雄 著
慶應義塾大学出版会

全体主義国家によって分割統治された近未来世界を描いた、世界的ベストセラー「一九八四年」。その成立と世界に与えたインパクトを確認し、主要人物たちの「愛」の関係など重要なトピックを取り上げて、小説を読解する。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:4./ 4p,249p
978-4-7664-2557-4

¥2,420〔税込〕



徒然草への途～中世びとの心とことば～: 中世びとの心とことば

荒木 浩 著
勉誠出版

心に思うままを書く草子、「徒然草」は如何にして出来たのか。中世びとの「心」をめぐる意識を和歌や仏教の世界にたどり、「源氏物語」「枕草子」などの古典散文との照応から、<やまとことば>による表現史を描きだす。

日本経済新聞 2022/04/30

2016:6./ 9p,409p,19p
978-4-585-29123-7

¥7,700〔税込〕



ルポ・収容所列島～ニッポンの精神医療を問う～: ニッポンの精神医療を問う

風間 直樹/辻 麻梨子/風間 直樹/井艸 恵美/井艸 恵美/辻 麻梨子 著
東洋経済新報社

長期強制入院、精神科移送、身体拘束、薬漬け…。閉鎖病棟からの退院を望む患者の手紙をきっかけに取材。当事者の切実な声に耳を澄まし、日本の精神医療が抱える深い闇を明らかにする。『東洋経済オンライン』連載を書籍化。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 319p
978-4-492-22404-5

¥1,760〔税込〕



パンとサーカス

島田 雅彦 著
講談社

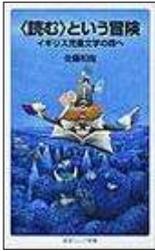
不正隠蔽の犠牲となった父親の復讐を果たすため、CIA エージェントになった男は、日・米両政府を巧みに欺き、日本国民の仇をとる。諦めの横溢する日本で、サーカスの幕が上がる! 『北海道新聞』など各紙連載を加筆・修正。

日本経済新聞 2022/04/30

2022:3./ 557p
978-4-06-526874-2

¥2,750〔税込〕





<読む>という冒険～イギリス児童文学の森へ～(岩波ジュニア新書 947): イギリス児童文学の森へ
(岩波ジュニア新書)

佐藤 和哉 著
岩波書店

「ロビンソン・クルーソー」「不思議の国のアリス」「クマのプーさん」など、イギリス児童文学の名作たちは、本当は何を語っているのか? “作者の意図を突きとめる”のとは少し異なる読みかたを提案する。

2022:2./ 15p,238p
978-4-00-500947-3

¥990〔税込〕



毎日新聞 2022/04/02



ほっきょくでうしをうつ(闇は光の母 4)

(闇は光の母)

角幡 唯介 著
岩崎書店

北極の氷の世界を旅する男。腹が減り、獲物になる動物を探していると、ジャコウウシの群れに出会う。鉄砲に弾をこめ、見つからないように近づいて、引き金を引き...。探検家・角幡唯介の実体験を阿部海太が絵本化。

2022:1./ 1冊(ページ付なし)

978-4-265-08954-3
¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2022/04/02



シベリアの俳句

ユルガ・ヴィレ 著
花伝社

1940年代、シベリアの強制収容所。ソ連軍によって占領地から強制移送された少年は、短く美しい日本の「詩」に出会う。極寒の流刑地で、少年は何を見たか? 実話を元に描かれたリトアニア発のグラフィックノベル。

2022:2./ 237p
978-4-7634-0996-6

¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2022/04/02



まいごのモリーとわにのかばん(童心社のおはなしえほん)

(童心社のおはなしえほん)

こまつ のぶひさ 著
童心社

ひつじのモリーは、おでかけするのがだいすき。どこへでもひとりでおでかけできますが、だいたいまいごになるのです。でも、だいじょうぶ! モリーはわにのかばんをもって、まちへでかけますが...。ゆかいな冒険のお話。

2022:2./ 34p
978-4-494-01641-9

¥1,430〔税込〕



毎日新聞 2022/04/02



おっさんの掟〜「大阪のおばちゃん」が見た日本ラグビー協会「失敗の本質」
 ～(小学館新書 417): 「大阪のおばちゃん」が見た日本ラグビー協会「失敗の本質」

(小学館新書)

谷口 真由美 著

小学館

そこで目にしたのは、男性中心主義、時代遅れな序列主義など、ダメな日本社会の縮図だった…。日本ラグビー協会の理事を務めた谷口真由美が、突如としてラグビー界を追われた理由を明らかにする。川淵三郎との対談も収録。

毎日新聞 2022/04/02

2022:2./ 189p
 978-4-09-825417-0
 ¥946〔税込〕



私の親鸞〜孤独に寄りそうひと〜(新潮選書): 孤独に寄りそうひと
 (新潮選書)

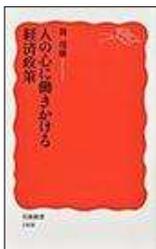
五木 寛之 著

新潮社

なぜ私は「ああ、この人は自分のことを分かってくれる」と思えたのか。「聖人」ではない「生身」の姿を追い続けて半世紀、89歳の五木寛之がわが心の内の親鸞を語る。新潮講座で語りおろした話に、その他の文章を追加。

毎日新聞 2022/04/02

2021:10./ 196p
 978-4-10-603874-7
 ¥1,485〔税込〕



人の心に働きかける経済政策(岩波新書 新赤版 1908)
 (岩波新書 新赤版)

翁 邦雄 著

岩波書店

感染抑止のため行動変容を促す国民の心への働きかけと、デフレ脱却を目的とした人びとの期待への働きかけは、背景とする人間観・経済学が違う。銀行取引、バブル、貿易摩擦、異次元緩和などを「働きかけ」の視点から分析する。

毎日新聞 2022/04/02

2022:1./
 13p,191p,35p
 978-4-00-431908-5
 ¥946〔税込〕



ビデオランド〜レンタルビデオともうひとつのアメリカ映画史〜: レンタルビデオともうひとつのアメリカ映画史

ダニエル・ハーバート 著

作品社

銀幕を包んだ闇を抜け出し、映画の新たな「配給網」となったレンタルビデオ店。その創世から終幕、そして「配信」の現在へとつづく「もうひとつのアメリカ映画史」を、映画産業についての専門的な知見なども織り交ぜて綴る。

毎日新聞 2022/04/02

2021:12./ 381p
 978-4-86182-875-1
 ¥3,740〔税込〕





抵抗と適応のポリナリテ～ナチス占領下のフランス音楽～(叢書ビブリオムジカ): ナチス占領下のフランス音楽
(叢書ビブリオムジカ)

田崎 直美 著

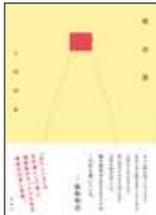
アルテスパブリッシング

レジスタンスか対独協力か。脱出、潜伏、あるいは転向か。ナチス占領下のフランスで、様々な生き方を選択した音楽家たち。占領期フランスの音楽史を、当時の文化政策と音楽家ごとのケース・スタディの両面から明らかにする。

毎日新聞 2022/04/02

2022:2./ 276p,69p
978-4-86559-248-1

¥3,080 [税込]



成分表

上田信治 著

素粒社

妻の友人、栄光の記憶、正義とフィクション…。漫画「あたしんち」の共作者にして俳人、漫画家のオットでもある著者が綴った日常と思索。俳句同人誌『里』連載にウェブマガジン『週刊俳句』掲載を加えて単行本化。

毎日新聞 2022/04/02

2022:1./ 220p
978-4-910413-04-4

¥1,760 [税込]



ウィトゲンシュタイン『哲学探究』という戦い

野矢 茂樹 著

岩波書店

断片的な考察を連ねているように見える特異なスタイルのため、難解で知られるウィトゲンシュタインの主著「哲学探究」。長年の研究を踏まえ、現代哲学に巨大な影響を与えた著作の全貌を解き明かす。

毎日新聞 2022/04/02、読売新聞 2022/04/03

2022:2./ 15p,342p,8p
978-4-00-024063-5

¥2,860 [税込]



ブックセラーの歴史～知識と発見を伝える出版・書店・流通の2000年～: 知識と発見を伝える出版・書店・流通の2000年

ジャン=イヴ・モリエ 著

原書房

知識や情報の集積であり、思考と記憶を深めるツールとして、時代や地域を超えて伝わってきた書籍は、どのように人から人へと受け渡され、交換、販売されてきたのか。書籍販売業の長い歴史を、多数の事例とともにたどる。

毎日新聞 2022/04/02、日本経済新聞 2022/04/09

2022:2./ 357p
978-4-562-05976-8

¥4,620 [税込]



シカの顔、わかります～個性の生態学～: 個性の生態学

南 正人 著

東京大学出版会

1989年から宮城県の金華山で生活する150頭のシカ全部に名前をつけて、行動観察を始めてから33年。行動の観察や出産、生死の確認を続け、約1000頭分の家系図ができ…。貴重なフィールドワークの記録。

毎日新聞 2022/04/09

2022:2./ 9p,232p,9p
978-4-13-063954-5

¥3,960 [税込]





流星ひとつ(新潮文庫 さ-7-22)

(新潮文庫)

沢木 耕太郎 著

新潮社

1979年秋。歌を捨てる決意をした美しき歌姫・藤圭子に沢木耕太郎がインタビューを試みた。その肉声は、聞き手と語り手の「会話」だけで紡がれる…。流星のように消え去った藤圭子の「真実」を描くノンフィクション。

毎日新聞 2022/04/09

2016:8./ 422p
978-4-10-123522-6

¥781〔税込〕



商業美術家の逆襲～もうひとつの日本美術史～(NHK 出版新書 666): もうひとつの日本美術史

(NHK 出版新書)

山下 裕二 著

N H K 出版

商業美術こそが、日本美術の伝統を継承し、次の時代の表現を生み出す原動力となってきた。従来の日本美術史の枠をはみ出した商業美術家たちの作品をカラーで紹介するとともに、彼らが近年注目を集める理由を明らかにする。

毎日新聞 2022/04/09

2021:12./ 222p
978-4-14-088666-3

¥1,210〔税込〕



占領期ラジオ放送と「マイクの開放」～支配を生む声、人間を生む肉声～: 支配を生む声、人間を生む肉声

太田 奈名子 著

慶應義塾大学出版会

GHQ 指導のもと制作されたラジオ番組を分析。ラジオからの声を、GHQ による支配構造を強化するための<声>と民衆間の共鳴を喚起した<肉声>として捉え直すことで、

占領政策や天皇の戦争責任、戦後日本の民主化を論じる。

毎日新聞 2022/04/09

2022:2./ 506p,25p
978-4-7664-2802-5

¥4,620〔税込〕



創造力は眠っているだけだ～人生を充実させる「8つのレッスン」～: 人生を充実させる「8つのレッスン」

ヤロン・ヘルマン 著

プレジデント社

成功を収めるのは最も才能に恵まれた人ではなく、筋道に沿ってコツコツと努力する人。16歳からピアノを習い、世界屈指のジャズピアニストになった著者が、「創造力」を磨くためのメソッドを紹介する。

毎日新聞 2022/04/09

2022:3./ 342p
978-4-8334-2434-9

¥1,980〔税込〕





ゆっくりの美学～太田省吾の劇宇宙～: 太田省吾の劇宇宙

西堂行人 著
作品社

“沈黙劇”と呼ばれる独自の舞台を生み出し、今も、世界で高く評価される太田省吾。その劇宇宙の全貌と可能性を、近年の動向を踏まえつつ、より幅広い視点から検証する。生前の本人との対談も収録。

毎日新聞 2022/04/09

2022:1./ 352p
978-4-86182-871-3

¥3,080〔税込〕



愛書狂の本棚～異能と夢が生んだ奇書・偽書・稀覯書～(NATIONAL GEOGRAPHIC): 異能と夢が生んだ奇書・偽書・稀覯書 (NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編
エドワード・ブルック・ヒッチング 著

日経ナショナルジオグラフィック社
ヴォイニッチ手稿、スウィフトの預言書、でっち上げの航海記、極めて美しい?の魚類図鑑…。世に名高い偽書や奇書、歴史に埋もれた珍本や手稿を渉猟し、奇書の由来やその本がもたらした騒動を、美しい図版とともに語る。

毎日新聞 2022/04/09

2022:3./ 255p
978-4-86313-489-8

¥2,970〔税込〕



あなたを陰謀論者にする言葉(Forest 2545 Shinsyo 145) (Forest 2545 Shinsyo)

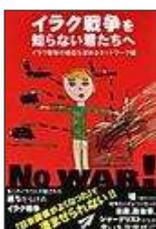
雨宮 純 著
フォレスト出版

自然派、スピリチュアル、ヨガ…。一見「いいこと」を言っているように思えるものも、悪徳商法や疑似科学? 日常に潜む陰謀論への意外な入り口を紹介し、その危険性を説く。オーディオブックを入手できる QR コード付き。

毎日新聞 2022/04/09

2021:10./ 381p
978-4-86680-813-0

¥1,320〔税込〕



イラク戦争を知らない君たちへ

イラク戦争の検証を求めるネットワーク 編
あけび書房

過ちだらけのイラク戦争とは。2021年3月のイベント「イラク戦争を知らないキミたちへ」で語られた20人のイラク戦争にまつわる個人的体験とともに、テーマに関連した寄稿文や日本の若者の対談録などをまとめる。

毎日新聞 2022/04/09

2022:3./ 225p
978-4-87154-207-4

¥1,760〔税込〕





月の光がクジラの背中を洗うとき〜48カ国108名の詩人によるパンデミック時代の連歌〜: 48カ国108名の詩人によるパンデミック時代の連歌

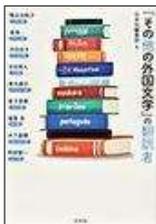
イオアナ・モルプルゴ 編
クオン

新型コロナが人と人を隔てた時、世界各国の詩人100名が短い詩をEメールでリレーして1篇の長詩を完成させ、韓国の詩人8名が返歌でそれに答えた。孤独の壁を貫く言葉を収めた詩集。企画者モルプルゴとの一問一答も掲載。

毎日新聞 2022/04/09

2022:2./ 101p
978-4-910214-31-3

¥2,750〔税込〕



『その他の外国文学』の翻訳者

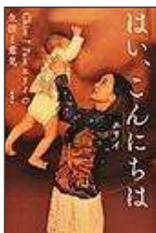
白水社編集部 編
白水社

ヘブライ語、ベンガル語、マヤ語、ノルウェー語…。日本ではなじみが薄い外国文学を熱意をもって紹介してきた9人の翻訳者が、その言語との出会いや翻訳の工夫、文学観などを語る。『webふらんす』連載に加筆修正。

毎日新聞 2022/04/09、朝日新聞 2022/04/30

2022:2./ 227p
978-4-560-09888-2

¥2,090〔税込〕



はい、こんにちは〜Chim↑Pom エリーの生活と意見〜: Chim↑Pom エリーの生活と意見

エリー 著
新潮社

赤ん坊は、ごきげんにとびっきり笑う。アートシーンの最前線を疾走するChim↑Pomのメンバー・エリーが、全力で母への道を駆け抜けた鮮烈なドキュメント。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2022/04/16

2022:1./ 174p
978-4-10-354391-6

¥1,980〔税込〕



STREETS ARE MINE

石川 直樹 著
大和書房

COVID-19、緊急事態宣言、東京オリンピック、再開発…。変貌を続ける渋谷という街の、非日常の路上から、パンデミック下を生きる人々と跳梁するネズミたちを捉えた写真集。本体は背表紙なし糸綴じ。

毎日新聞 2022/04/16

2022:2./ 285p
978-4-479-39364-1

¥6,600〔税込〕



リジェネレーション<再生>〜気候危機を今の世代で終わらせる〜: 気候危機を今の世代で終わらせる

ポール・ホーケン、江守 正多、五頭 美知 著
山と溪谷社

気候危機を防ぐために個人・団体ができる行動(アクション)とは? IPCCが2018年に出版した特別報告書「1.5°Cの地球温暖化」にまとめられた目標を達成するための道筋を描く。「ドローダウン」の完結編。

毎日新聞 2022/04/16

2022:3./ 415p
978-4-635-31045-1

¥3,080〔税込〕





**フォンターネ～山小屋の生活～(CREST BOOKS): 山小屋の生活
(CREST BOOKS)**

パオロ・コニェッティ 著
新潮社

30 歳になり、ミラノでの生活に疲れ、本だけを携えてアルプス山麓の山小屋に籠った作家は、孤独と出会いの中で、書くべき本当の物語を見つけ…。山麓の四季の美、出会った人々との会話を綴った、深い思索に満ちた体験録。

毎日新聞 2022/04/16

2022:2./ 171p
978-4-10-590179-0
¥1,980〔税込〕



**ミャンマー金融道～ゼロから「信用」をつくった日本人銀行員の 3105 日～
(河出新書 044): ゼロから「信用」をつくった日本人銀行員の 3105 日
(河出新書)**

泉 賢一 著
河出書房新社

英語もミャンマー語も話せないままミャンマーに赴任した 47 歳の日本人銀行員。「ミャンマーの発展のため」という強い信念を胸に、信用保証制度をつくり、ミャンマー地場銀行の COO を務めた一銀行員の 3105 日間の記録。

毎日新聞 2022/04/16

2021:12./ 222p
978-4-309-63146-2
¥935〔税込〕



協同組合と農業経済～共生システムの経済理論～: 共生システムの経済理論

鈴木 宣弘 著
東京大学出版会

農林水産業における協同組合の重要性を経済理論により解明。従来の「私」「公」に協同組合の「共」を組み込んだ新しい共生システムが社会全体の利益を高めることを示し、共生システムの開発途上国への応用についても言及する。

毎日新聞 2022/04/16

2022:1./ 5p,181p
978-4-13-040305-4
¥4,400〔税込〕



告発と呼ばれるものの周辺で

小川 たまか 著
亜紀書房

日本では、レイプに遭っても法律が被害者を守ってはくれない。おかしいと声を上げてきた人たちの声はかき消されてきた。性犯罪、性暴力への偏見や誤解をほぐし、やさしい社会を築くための、女性、男性、支援者たちの声の記録。

毎日新聞 2022/04/16

2022:2./ 277p
978-4-7505-1732-2
¥1,980〔税込〕



横しぐれ(講談社文芸文庫)

(講談社文芸文庫)

丸谷 才一 著

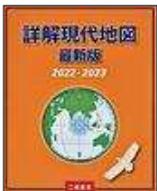
講談社

父と、黒川先生とが、あの日道後の茶店で行き会った、酒飲みの乞食坊主は、山頭火だったのではなからうか。横しぐれ、たった1つのその言葉に感嘆して、不意に雨中に出て行ったその男を追跡しているうちに、父の、家族の、「わたし」の、思いがけない過去の姿が立ち現れてくる。小説的趣向を存分にこらした名篇「横しぐれ」ほか、丸谷才一独特の世界を展開した短篇3作を収録。

毎日新聞 2022/04/16

1990:1/ 312p
978-4-06-196065-7

¥1,760〔税込〕



詳解現代地図～最新版～<2022-2023>: 最新版, 2022-2023

二宮書店編集部 編

二宮書店

一般図と充実した主題図を織り混ぜた構成の地図帳。主題図は分野別・地域別の両方の側面から立体的に知識を得ることができ、世界の諸問題を理解する上で役立つ。統計資料、地質年代表なども収録。

毎日新聞 2022/04/16

2022:3/ 182p
978-4-8176-0473-6

¥1,870〔税込〕



古典の効能

寺田 真理子 著

雷鳥社

遙か昔の人たちは、恋や人間関係に悩んだとき、どのように心を整え、乗り越えたのか。「万葉集」「枕草子」「古事記」を紐解き、柔軟で強い生き方を紹介する。心理カウンセラーの立場で綴った、今の生活に役立つヒントも掲載。

毎日新聞 2022/04/16

2021:12/ 191p
978-4-8441-3782-5

¥1,870〔税込〕



中国の歴史～ビジュアル大図鑑～: ビジュアル大図鑑

DK社 編

東京書籍

中国とはいったい何なのか? 5000年前の伝説上の帝王から清朝最後の皇帝溥儀に至るまで、中国の壮大な歴史を美しい図版でたどり、その文化と社会を独自の視点で解説する。歴代王朝の秘宝も多数掲載。

毎日新聞 2022/04/23

2022:3/ 400p
978-4-487-81441-1

¥6,930〔税込〕





第二次世界大戦秘史～周辺国から解く独ソ英仏の知られざる暗闘～(朝日新書 851): 周辺国から解く独ソ英仏の知られざる暗闘
(朝日新書)

山崎雅弘 著
朝日新聞出版

人類史上かつてない広大な地域で戦闘が行われた第二次世界大戦の欧州大戦。その舞台となった 20 の周辺国に着目し、各国が直面した政治的・軍事的状況を通して、第二次世界大戦史をより多面的・複眼的に検証する。

毎日新聞 2022/04/23

2022:2./ 442p
978-4-02-295161-8
¥1,078 [税込]



生皮～あるセクシャルハラスメントの光景～: あるセクシャルハラスメントの光景

井上荒野 著
朝日新聞出版

小説講座の人気講師がセクハラで告発された。家族たちは事件をいかに受け止めるのか？ 被害者の傷は癒えることがあるのか？ ハラスメントが醸成される空気を重層的に活写する。『小説トリッパー』連載を単行本化。

毎日新聞 2022/04/23

2022:4./ 293p
978-4-02-251816-3
¥1,980 [税込]



中国哲学史～諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで～(中公新書 2686): 諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで
(中公新書)

中島 隆博 著
中央公論新社

春秋戦国時代に現れた孔子や老子ら諸子百家に始まり、朱子学と陽明学に結実したのち、西洋近代と対峙するなかで現代の儒教復興に至る中国哲学。西洋を含めた世界史の視座から、中国 3000 年の叡智を丹念に読み解く。

毎日新聞 2022/04/23

2022:2./ 3p,363p
978-4-12-102686-6
¥1,155 [税込]



不揃いな身体でアフリカを生きる～障害と物乞いの都市エスノグラフィ～: 障害と物乞いの都市エスノグラフィ

仲尾 友貴恵 著
世界思想社

福祉制度が実動しないタンザニアで、「ふつう」に働けない障害者たちは、いかに生計を立ててきたのか。障害学、都市下層研究、地域研究の枠組みを越え、植民地期から現在までの彼らの姿を追ったフィールドワークの精華。

毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 26p,363p
978-4-7907-1769-0
¥3,960 [税込]





包帯クラブ〜ルック・アット・ミー!〜: ルック・アット・ミー!

天童 荒太 著
筑摩書房

関東のはずれの町に住む6人の高校生は、自分自身の大切なものを守るため「包帯クラブ」を結成した。しかし無理解や反発を受け、自粛を余儀なくされる。ひっそりと集まりバンド活動を始めた彼らは、さまざまな人と出会い...

毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 332p
978-4-480-80507-2
¥1,760〔税込〕



火葬場で働く僕の日常〜最期の火を灯すもの〜(BAMBOO ESSAY SELECTION): 最期の火を灯すもの (BAMBOO ESSAY SELECTION)

竹書房
0

毎日新聞 2022/04/23

2021:9./ 124p
978-4-8019-2795-7
¥1,210〔税込〕



古地図で楽しむ首里・那覇(爽 BOOKS)

(爽 BOOKS)

安里進/外間政明 著
風媒社

人口増大と都市化によって変貌していった首里・那覇の都市風景。当時の町の絵師たちが描いたパノラマ図などを比較分析し、文献資料だけではわからなかった近世琉球社会の姿を明らかにする。

毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 147p
978-4-8331-4297-7
¥1,870〔税込〕



小さな生きものたちの不思議なくらし

甲斐信枝 著
福音館書店

自然への扉をたたいてみよう?。40年にわたって自然と向き合い、植物や虫たちの不思議なくらしを描きつけてきた著者が、豊かさ、優しさ、厳しさにあふれる自然の世界へいざなう。

毎日新聞 2022/04/23

2009:9./ 159p
978-4-8340-2467-8
¥1,540〔税込〕



生き直す〜免田栄という軌跡〜: 免田栄という軌跡

高峰 武 著
弦書房

1983年、確定死刑囚から日本初の再審無罪となった免田栄。冤罪による34年間の獄中を生き抜いた彼が、再審無罪判決後の37年間の人生を、なぜ「生き直す」ことができたのか。稀有な人生を歩んだ、95年の生涯をたどる。

毎日新聞 2022/04/23

2022:1./ 268p
978-4-86329-238-3
¥2,200〔税込〕





カムイの生命～鼓動する野生～: 鼓動する野生

山本 純一 著
北海道新聞社

悠久の時を超えて北の大地に躍動する野生の生き物たちの生命力と魂。神々の恵みを受けて生きる鳥や動物たちの息吹を独自のアングルで切り取った写真集。

毎日新聞 2022/04/23

2022:3./ 1冊(ページ
付なし)
978-4-86721-055-0
¥3,300〔税込〕



装飾古墳ガイドブック～九州の装飾古墳～: 九州の装飾古墳

柳沢 一男 著
新泉社

鮮やかな色彩や不思議なデザインは、何のために施され、何を表現しているのか。九州の主要な装飾古墳をとり上げ、装飾図文の概要、図文の表現手法の変化や多様性を、カラー写真や図版とともに解説する。

毎日新聞 2022/04/30

2022:2./ 155p
978-4-7877-2113-6
¥2,750〔税込〕



スパルタを夢見た第三帝国～二〇世紀ドイツの人文主義～(講談社選書メチエ757): 二〇世紀ドイツの人文主義 (講談社選書メチエ)

曾田 長人 著
講談社

古代スパルタを理想に掲げたヒトラー。その悪夢はいかに実現され、人文主義者たちはどう対峙したのか。イエーガー、ハルダー、フリッツの3人の人文主義者の生き方を通して、人文主義とナチズム、学問と国家の関係を問う。

毎日新聞 2022/04/30

2021:12./ 277p
978-4-06-526541-3
¥1,980〔税込〕



私語と

尾崎 世界観 著
河出書房新社

メジャーデビュー10周年を迎えた「クリーブハイプ」尾崎世界観の初歌詞集。インディーズ時代から「夜にしがみついて、朝で溶かして」までの中から、「言葉」を中心に厳選した75曲の歌詞を収録。帯などに書き下ろし作品。

毎日新聞 2022/04/30

2022:4./ 259p
978-4-309-03033-3
¥1,870〔税込〕



経営リーダーのための社会システム論～構造的問題と僕らの未来～(至善館講義シリーズ): 構造的問題と僕らの未来 (至善館講義シリーズ)

宮台真司/野田智義 著
光文社

便利で暮らしやすい社会なのに、人々はなぜ孤独で誰もが入り替え可能なことに悩むのか。世界中の人々が?がれる時代に、なぜ分断が加速するのか。現代と未来の社会を見通す社会システム論。大学院大学至善館の講義を書籍化。

毎日新聞 2022/04/30

2022:2./ 305p
978-4-334-95293-8
¥2,750〔税込〕





「ぴえん」という病～SNS 世代の消費と承認～(扶桑社新書 420): SNS 世代の消費と承認
(扶桑社新書)

佐々木チワワ 著
扶桑社

歌舞伎町に足を運び、ホストやアイドルといった存在を「推す」Z世代のカルチャーと価値観を社会的アプローチとして、「ぴえん」という言葉を基軸に記述する。漫画家・真鍋昌平との対談も収録。『SPA!』連載を書籍化。

毎日新聞 2022/04/30

2021:12./ 191p
978-4-594-09026-5

¥902〔税込〕



台湾同性婚法の誕生～アジア LGBTQ+ 燈台への歷程～: アジア LGBTQ+ 燈台への歷程

鈴木 賢 著
日本評論社

台湾の婚姻平等は、総統や国会議員の選挙、司法判断、国民投票のすべての手続を使い切って実現した。同性婚を認める法律が成立するまでの LGBT 運動、政治過程、法の内容を分析、法施行後の台湾社会の変化と課題を考察する。

毎日新聞 2022/04/30

2022:3./ 11p,354p
978-4-535-52633-4

¥4,070〔税込〕



駅舎国鉄時代 1980's～オールカラー2062 駅舎～(イカロス MOOK): オールカラー2062 駅舎
(イカロス MOOK)

橋本 正三 著
イカロス出版

明治、大正、昭和の駅舎が混在した国鉄最後の 10 年。門司港から北見枝幸まで、いまでも残る駅舎もあれば、廃線で姿を消した駅舎もある。1980 年代の国鉄駅舎をオールカラーで収録。

毎日新聞 2022/04/30

2022:3./ 262p
978-4-8022-1125-3

¥3,979〔税込〕



俳句の臨界～石川九楊作品集～: 石川九楊作品集

石川 九楊、河東 碧梧桐 著
左右社

季語からも音数律からも自由な近代的短詩を夢想し、芭蕉の手から俳句を取り戻そうとした河東碧梧桐。その忘れられた挑戦の生涯をたどる 109 句を書家・石川九楊が選び、語り、書くことで、書家でもあった碧梧桐と対峙する。

毎日新聞 2022/04/30

2022:2./ 238p
978-4-86528-069-2

¥3,850〔税込〕





満洲国グランドホテル

平山周吉 著

芸術新聞社

ニキミスケ(東条英機、星野直樹、松岡洋右、岸信介、鮎川義介)だけで満洲は語れない。
-。既存の満洲国イメージを覆す、満洲の土を踏んだ日本人の奇妙にして、真剣なる
「昭和史」物語。芸術新聞社ウェブサイト連載を書籍化。

毎日新聞 2022/04/30

2022:4./ 565p
978-4-87586-639-8

¥3,850〔税込〕



* 9 7 8 4 8 7 5 8 6 6 3 9 8 *



たたかう講談師～二代目松林伯円の幕末・明治～: 二代目松林伯円の幕末・明治

目時 美穂 著

文学通信

どうして講談師を志し、何を願って芸を磨き、死の数年前まで高座に上がりつづけたのか。幕末、明治を生きた名人、二代目松林伯円の生涯をひとつづきの物語として追った評伝。

毎日新聞 2022/04/30

2021:11./ 399p
978-4-909658-66-1

¥2,750〔税込〕



* 9 7 8 4 9 0 9 6 5 8 6 6 1 *